

歯科衛生士国家試験 全国総合模擬試験

D e n t a l H y g i e n i s t

解答・解説・
要点集(臨床系)

352

「歯科衛生士国家試験 全国総合模擬試験」について

歯科衛生士国家試験は資格試験であり、歯科衛生士として具有すべき知識と技能について、一定の水準にあるかを問うものです。全体としての合格率は低くありませんが、受験者すべてが合格するわけではなく、毎年少数ではあります。合格を逃す受験者がいることに注目しなければなりません。次回の合格を確実に掴み取るためには、できるだけ早い時期から十分な知識の確認と整理を行っていくことが重要です。

日本医歯薬研修協会は、本番の国家試験と同様に歯科衛生士国家試験出題基準に完全準拠し、さらに直近の国家試験の出題形式、出題傾向を研究、分析した良質な模擬試験問題を提供いたします。

受験生の皆様の本番前に国家試験を擬似体験できる、日本医歯薬研修協会「歯科衛生士国家試験 全国総合模擬試験」を活用することで、全国での自分の位置、学習成果をチェックして、最新傾向の国家試験にあわせた無理のない学習で合格の栄冠を勝ち取ることを切望してやみません。

日本医歯薬研修協会

令和4年版出題基準による出題科目一覧

問題番号	科目
午前問題	
1	一、人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	二、歯・口腔の構造と機能
12	
13	
14	
15	
16	三、疾病の成り立ち及び回復過程の促進
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	四、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	五、歯科衛生士概論
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	六、臨床歯科医学
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	七、歯科予防処置論
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	
72	
73	

問題番号	科目
74	七、歯科予防処置論
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	八、歯科保健指導論
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	九、歯科診療補助論
95	
96	
97	
98	
99	
100	
101	
102	
103	
104	
105	
106	
107	
108	
109	
110	
午後問題	
1	一、人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	二、歯・口腔の構造と機能
12	
13	
14	
15	
16	三、疾病の成り立ち及び回復過程の促進
17	
18	
19	
20	
21	
22	
23	
24	
25	
26	四、歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み
27	
28	
29	
30	
31	
32	
33	
34	
35	
36	五、歯科衛生士概論
37	
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	六、臨床歯科医学
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	

問題番号	科目
37	六、臨床歯科医学
38	
39	
40	
41	
42	
43	
44	
45	
46	
47	
48	
49	
50	
51	
52	
53	
54	
55	
56	
57	
58	
59	
60	
61	
62	
63	七、歯科予防処置論
64	
65	
66	
67	
68	
69	
70	
71	
72	
73	
74	
75	
76	
77	
78	
79	
80	
81	
82	
83	
84	八、歯科保健指導論
85	
86	
87	
88	
89	
90	
91	
92	
93	
94	
95	
96	
97	
98	
99	
100	九、歯科診療補助論
101	
102	
103	
104	
105	
106	
107	
108	
109	
110	

解答一覧表

午前問題			
問題	正解	問題	正解
1	b	56	a
2	a	57	a, c
3	c	58	d
4	c	59	b, c
5	a	60	c
6	a	61	c, d
7	a	62	d
8	c	63	b, d
9	b	64	a, d
10	d	65	b, c
11	b	66	a, b
12	c	67	a, d
13	c	68	c
14	a	69	b
15	d	70	b, d
16	b	71	b, c
17	a, c	72	d
18	a	73	b
19	c	74	b, d
20	c, d	75	d
21	a, d	76	c, d
22	b	77	b, c
23	a, c	78	a
24	c	79	a, b
25	d	80	c
26	b	81	a
27	a, d	82	c
28	d	83	d
29	c, d	84	a, b
30	a, d	85	b, d
31	b, d	86	c, d
32	b	87	a, b
33	d	88	a, c
34	a	89	b, c
35	a, d	90	b
36	a, b	91	a
37	c, d	92	a
38	c, d	93	b, d
39	d	94	a, d
40	d	95	b
41	a, d	96	c, d
42	b	97	d
43	d	98	b, c
44	a, b	99	a, d
45	a	100	a
46	b	101	a, d
47	d	102	a
48	b, d	103	c, d
49	b	104	d
50	b	105	a, d
51	a, d	106	b
52	c, d	107	a, c
53	d	108	a
54	d	109	a, b
55	a, c	110	a, d

午後問題			
問題	正解	問題	正解
1	a	56	d
2	a	57	d
3	b	58	c, d
4	b	59	b, d
5	b	60	d
6	c	61	b
7	c	62	b, c
8	a	63	b, c
9	d	64	d
10	d	65	b, c
11	c	66	c
12	d	67	a, c
13	c	68	a, d
14	b	69	c, d
15	d	70	c, d
16	d	71	a, b
17	c, d	72	c
18	b, c	73	d
19	b, d	74	b
20	d	75	a, d
21	a	76	a, c
22	c	77	a, d
23	c	78	c
24	c	79	b, c
25	c	80	c, d
26	d	81	d
27	c, d	82	a, b
28	c, d	83	b, c
29	a, b	84	d
30	d	85	c, d
31	d	86	b, d
32	b	87	a, d
33	b	88	d
34	b, d	89	a
35	d	90	d
36	a	91	a
37	c	92	b, c
38	c, d	93	c
39	c, d	94	d
40	a, c	95	c
41	d	96	c
42	a	97	a
43	c, d	98	a
44	d	99	b, d
45	c	100	d
46	c	101	a, c
47	c	102	b
48	c	103	d
49	d	104	a, c
50	b	105	b
51	a, b	106	a
52	a, d	107	b
53	a	108	d
54	b	109	a, c
55	d	110	b, c

歯科衛生士国家試験について

◆ 歯科衛生士国家試験問題

(1) 出題方法等

出題総数については現行の数を維持し、領域ごとに出題数を規定することによって問題の質を担保する観点から現行の220問とする。

(2) 出題形式

「4肢択1問題」「4肢択2問題」のいずれかで出題し、その割合については、合格率の経年的な安定性を保つ観点から、問題全体の難易度や内容を試験委員会で十分に検討して決定する。

(3) 状況設定問題

状況設定問題は、臨床に関する知識・技能を有しているかを、より適切に評価する目的で出題していることから、一定数を維持するよう配慮する。

◆ 出題基準

時代の要請に応える歯科衛生士を確保する観点から、下記の出題について更なる充実を図り、資質向上を促進していく必要がある。

- (1) 高齢化等による疾病構造の変化に伴う歯科診療の変化に関連した、歯科衛生士として必要な高齢者や在宅・施設介護や病棟での対応に関する出題
- (2) 地域包括ケアシステムの推進や多職種連携等に関する出題
- (3) 口腔機能の維持・向上や摂食機能障害への対応に関する出題
- (4) 医療安全や職業倫理等に関する出題
- (5) 周術期等口腔機能管理に関する出題
- (6) 医療のグローバル化に伴い歯科衛生士としての国際貢献を踏まえた国際保健に関する出題。

なお、近年は災害時の対応も重要となっているが、出題に際しては、学校・養成所における教授内容を考慮する等の一定の配慮が必要である。

その他、保健医療・介護の領域で歯科衛生士として必要不可欠な内容について出題する。

第34回 歯科衛生士国家試験 合格状況

受験者数			新卒			既卒		
受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
8,026	7,300	91.0	7,523	7,096	94.3%	503	204	40.6%
不合格者数		726	不合格者数		427	不合格者数		299

第33回 歯科衛生士国家試験 合格状況

受験者数			新卒			既卒		
受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
7,950	7,346	92.4	7,528	7,157	95.1%	422	189	44.8%
不合格者数		604	不合格者数		371	不合格者数		233

第32回 歯科衛生士国家試験 合格状況

受験者数			新卒			既卒		
受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率
7,470	6,950	93.0%	7,187	6,842	95.2%	283	108	38.2%
不合格者数		520	不合格者数		345	不合格者数		175

歯科衛生士国家試験合格者数推移

開催回(年)	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第34回(令和7年)	8,026	7,300	91.0
第33回(令和6年)	7,950	7,346	92.4
第32回(令和5年)	7,470	6,950	93.0
第31回(令和4年)	7,416	7,087	95.6
第30回(令和3年)	7,099	6,624	93.3
第29回(令和2年)	7,216	6,808	94.3
第28回(平成31年)	7,207	6,934	96.2
第27回(平成30年)	7,374	7,087	96.1
第26回(平成29年)	7,218	6,737	93.3
第25回(平成28年)	7,233	6,944	96.0
第24回(平成27年)	6,753	6,475	95.9

本書で使用しているアイコンについて

 要点集 352:P〇〇

例) 352号掲載

「巻末資料 要点集」に関連事項が掲載されております。
アイコンに記載された掲載号の該当ページを参照してください。

 DH26:P〇〇

例) 2026年版掲載

弊社刊行「Complete+DH 歯科衛生士 国家試験完全攻略 2026年版」に掲載された関連問題です。
アイコンに記載された掲載号の該当ページを参照してください。

[問題 1] 骨後面の写真(別冊午前 No. 1)を別に示す。
矢印で示す骨はどれか。1つ選べ。

- a 蝶形骨
- b 上顎骨
- c 側頭骨
- d 後頭骨

選択肢考察

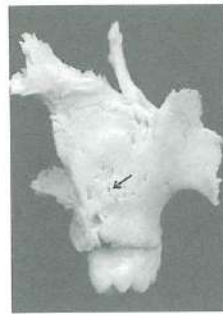
- × a 蝶形骨には正円孔、卵円孔が存在し、それぞれ上顎神経、下顎神経が通過する。
- b 矢印は歯槽孔であり上顎骨に存在する。後上歯槽神経が通過し、主として大白歯の歯髄や歯根膜、歯肉に分布する。
- × c 側頭骨には内耳孔が存在し、顔面神経、内耳神経が通過する。
- × d 後頭骨には舌下神経管が存在し、舌下神経が通過する。

正解 b

DH26:P21

▶解剖学

No. 1



[問題 2] 外頸動脈の終枝はどれか。1つ選べ。

- a 顎動脈
- b 顔面動脈
- c 下歯槽動脈
- d 上行口蓋動脈

選択肢考察

- a 外頸動脈は顎顔面部に血液を供給するもので、下顎頸の高さで、顎動脈と浅側頭動脈の2終枝に分かれる。
- × b 顔面動脈は外頸動脈の枝であるが終枝ではない。
- × c 下歯槽動脈は顎動脈の枝である。
- × d 上行口蓋動脈は顔面動脈の枝である。

正解 a

DH26:P25

▶解剖学

[問題 3] 歯の組織標本の一部(別冊午前 No. 2)を別に示す。
矢印が示す構造はどれか。1つ選べ。

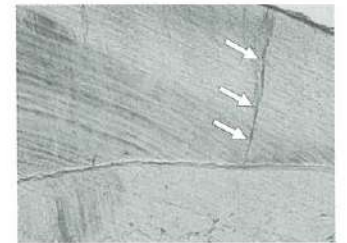
- a レチウス条
- b エナメル叢
- c エナメル葉
- d エナメル紡錘

選択肢考察

- × a レチウス条は、エナメル小柱の横紋がとくに発達したものとされる構造物である。
- × b エナメル叢はエナメル象牙境から表面方向へ、1/3 辺りまで伸びる、叢状にみられる石灰化不良なエナメル小柱群をいう。
- c エナメル葉はエナメル象牙境から表面にまで達する、石灰化不良な亀裂様構造物である。矢印が示すものは、エナメル象牙境から表面まで達する亀裂様構造物である。
- × d エナメル紡錘は象牙芽細胞の突起(トームス線維)がエナメル象牙境からエナメル質内に侵入したもので、短い棍棒状の形態をとる。

正解 c

No. 2



DH26:P14

▶解剖学

[問題 4] 下顎骨の写真(別冊午前 No. 3)を別に示す。
矢印で示す孔から出る神経の役割はどれか。1つ選べ。

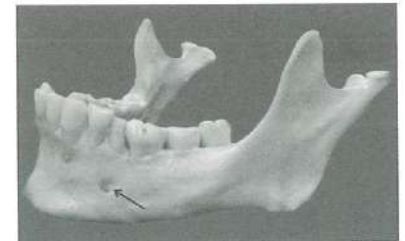
- a 口唇閉鎖
- b 舌の運動
- c 下唇の知覚
- d 舌前方2/3の味覚

選択肢考察

- × a 口唇閉鎖は口輪筋が関与し、顔面神経の下顎縁枝の役割である。
- × b 舌運動は舌下神経の役割である。
- c 矢印はオトガイ孔である。下顎孔に入った下歯槽神経は、オトガイ孔から出る際にオトガイ神経となる。オトガイ神経は、下唇、オトガイ部の皮膚や粘膜の知覚を担う。
- × d 舌前方2/3の味覚は、顔面神経の枝である鼓索神経の役割である。

正解 c

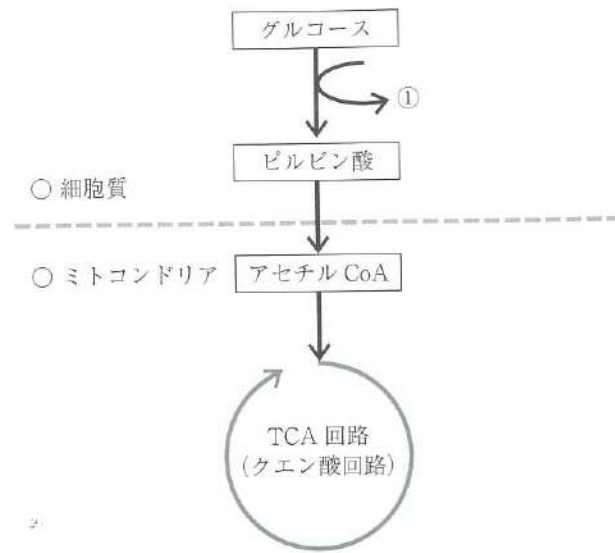
No. 3



DH26:P20

▶解剖学

〔問題 5〕 糖質代謝の図を示す。



①で産生されるのはどれか。1つ選べ。

- a ATP
- b グルカン
- c スクロース
- d グリコーゲン

▶生理学

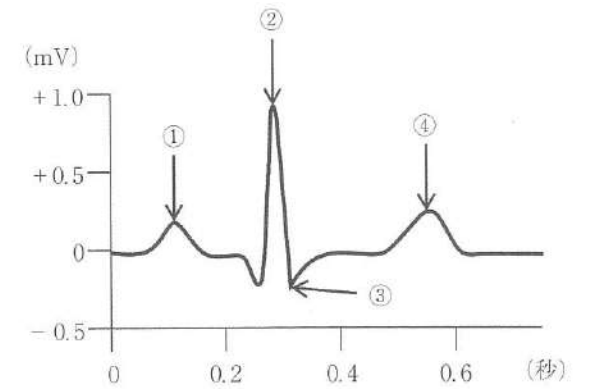
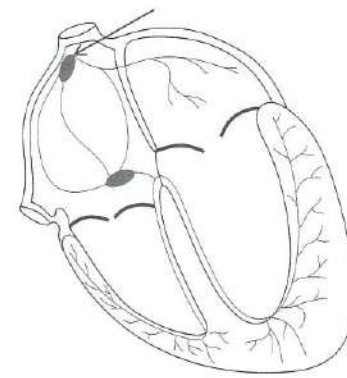
選択肢考察

- a グルコースからピルビン酸ができる過程を**解糖系**という。解糖系は細胞質中に存在し、その過程において**ATP**が生成される。
- × b グルカンは、細菌が産生する**グルコシルトランスフェラーゼ**によって**スクロース**から合成される。
- × c スクロースは**グルコース**と**フルクトース**からなる二糖類で、**グルカン**合成の基質となる。
- × d **グリコーゲン**はグルコースから構成される**多糖類**で、**肝臓**や**筋の細胞**に蓄えられている。グリコーゲンは食間時など**エネルギー**が必要となったときに分解され、**解糖系**に入り代謝される。

正解 a

DH26:P35

〔問題 6〕 心臓の興奮伝導系の模式図と心電図波形を図に示す。



矢印の部位に脱分極が生じたときに心電図波形で現れるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶生理学

選択肢考察

心電図波形は、心筋細胞が興奮する際に生じる脱分極と再分極の電位変化を体表面から記録したものである。

- a 矢印は**洞房結節**である。洞房結節は心筋収縮の**歩調取り** (拍動リズム形成) を行い、一定のリズムで心房を収縮させ、心電図波形の ① の P 波として記録される。
- × b、× c 心電図波形の ② は R 波、③ は S 波で、QRS 波は**心室の収縮** (心室筋の脱分極) を記録される。
- × d 心電図波形の ④ は T 波で心室の回復期であり、**心室筋の再分極**を示している。

正解 a

DH26:P40

[問題 7] 消化酵素と基質の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a ペプシン —— タンパク質
- b リパーゼ —— デンプン
- c トリプシン —— アミノ酸
- d アミラーゼ —— グルコース

▶生理学

選択肢考察

- a ペプシンは胃液に含まれる消化酵素で、タンパク質をペプチドに分解する。
- × b リパーゼは膵液に含まれ、トリグリセリド(中性脂肪)を脂肪酸とグリセリンに分解する加水分解酵素である。
- × c トリプシンは膵液に含まれる消化酵素で、タンパク質をペプチドに分解する。
- × d アミラーゼは唾液と膵液に含まれ、デンプンを麦芽糖(マルトース)に分解する。

正解 a

DH26:P50

[問題 8] 象牙質の基質の主成分はどれか。1つ選べ。

- a ホスホホリン
- b アメロゲン
- c I型コラーゲン
- d オステオカルシン

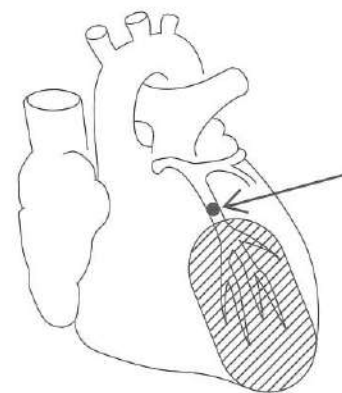
▶生化学

選択肢考察

- × a ホスホホリンは象牙質の石灰化に関わるタンパク質であるが基質の主成分ではない。
- × b アメロゲンは幼若エナメル質の大部分を占めるエナメルタンパク質である。形成期のエナメル質(幼若エナメル質)はエナメルリンやアメロゲンなどのエナメルタンパク質を含む。
- c I型コラーゲンは、象牙質基質の主成分であり、歯髄、歯肉結合組織、歯根膜、セメント質に含まれる。エナメル質にコラーゲンは含まれていない。
- × d オステオカルシンは象牙質や歯槽骨に含まれるタンパク質である。

正解 c

[問題 9] 心臓の冠状動脈の模式図を示す。矢印は血栓を示す。



矢印の血管を完全に閉塞した後の斜線部の組織変化はどれか。1つ選べ。

- a 充血
- b 壊死
- c 肥大
- d うっ血

▶病理学

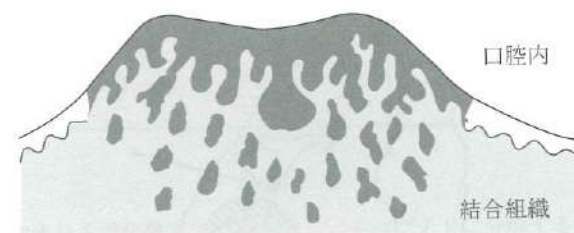
選択肢考察

- × a 充血とは動脈血が局所に異常に増加した状態で、動脈の中でも特に細小動脈が拡張し、大量の動脈血が流入して起こる。
- b 壊死の原因は吻合枝をもたない終末動脈が急激に閉塞されたとき、その動脈の灌流領域(下流の領域)が虚血により不可逆的障害を受け壊死に陥る。図の斜線部分である。
- × c 肥大とは生体の細胞、組織、器官の体積が増加することで、進行性病変に分類される。
- × d うっ血は静脈血がうっ滞して異常に増加した状態で、静脈の狭窄、血栓などによる閉塞、外からの圧迫などの通過障害により、静脈血が局所から流出することが妨げられたときに起こる。

正解 b

DH26:P66

[問題 10] 歯肉腫瘍の病理組織の模式図を示す。黒塗りは腫瘍細胞の分布を示す。



この腫瘍の特徴はどれか。1つ選べ。

- a 発育速度は遅い。
- b 再発頻度は少ない。
- c 細胞の分化度は高い。
- d 発育形式は浸潤性である。

▶病理学

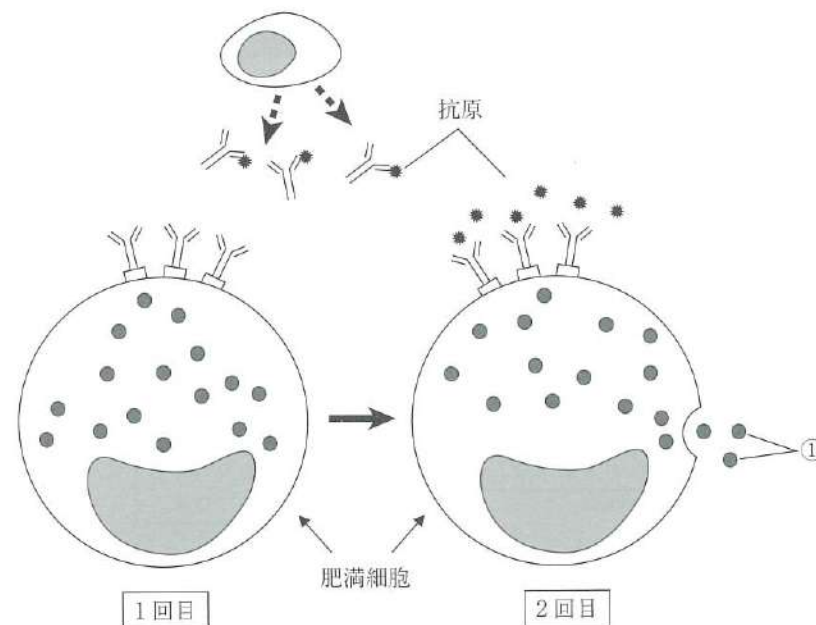
選択肢考察

- × a、× b、× c 発育速度が遅い、再発頻度が少ない、細胞の分化度が高いのは**良性腫瘍**の特徴である。
- d この模式図の腫瘍は歯肉上皮に生じた**扁平上皮癌**(悪性腫瘍)である。結合組織中に腫瘍細胞の浸潤が認められる。発育形式が浸潤性なことは**悪性腫瘍**の特徴である。

正解 d

DH26:P70

[問題 11] アレルギーの発症機序を模式図に示す。



① はどれか。1つ選べ。

- a ドパミン
- b ヒスタミン
- c コルチゾール
- d アルドステロン

▶微生物学

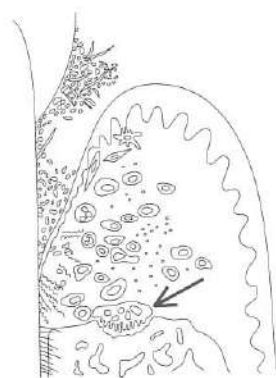
選択肢考察

- × a ドパミンは中枢神経系に存在する神経伝達物質で、アドレナリン、ノルアドレナリンの前駆体でもある。ドパミンの減少は**パーキンソン病**の主な病因である。
- b ヒスタミンは**ヒスチジン**(アミノ酸)由来のアミン類の**炎症性ケミカルメディエーター**である。肥満細胞はIgEの刺激によりヒスタミンを遊離し、**I型アレルギー**症状を起こす。
- × c コルチゾールは**副腎皮質**から分泌する**ステロイドホルモン**で、**抗炎症作用**、**免疫反応抑制作用**、**血糖上昇作用**、**糖新生作用**、**抗ストレス作用**がある。
- × d アルドステロンは**副腎皮質**から分泌される電解質**コルチコイド**で、尿細管に作用して血液中に Na^+ を取り込む。このとき Na^+ と同じ方向へ水分子が移動するため、水の再吸収が起こり、血液量が増加することにより**血圧が上昇**する。

正解 b

DH26:P81

[問題 12] 歯肉炎病巣の模式図を示す。



矢印で示す細胞を直接活性化するのはどれか。1つ選べ。

- a IL-10
- b *Porphyromonas gingivalis*
- c RANKL
- d *Streptococcus mutans*

▶微生物学

選択肢考察

歯肉炎病巣内の矢印が示すのは**破骨細胞**である。

- × a IL-10 は抗炎症性サイトカインで炎症や骨吸収を抑制する。
- × b *Porphyromonas gingivalis* は成人性歯周炎患者の歯ケットから高頻度で分離され、間接的に歯槽骨吸収を引き起こす。
- c RANKL は**骨芽細胞**が産生し、**破骨細胞**を直接活性化する。その結果、歯槽骨吸収を引き起こす。
- × d *Streptococcus mutans* はプラーク形成に関与する細菌である。

正解 c

DH26:P51

[問題 13] DNA ウイルスはどれか。1つ選べ。

- a デングウイルス
- b ムンプスウイルス
- c サイトメガロウイルス
- d インフルエンザウイルス

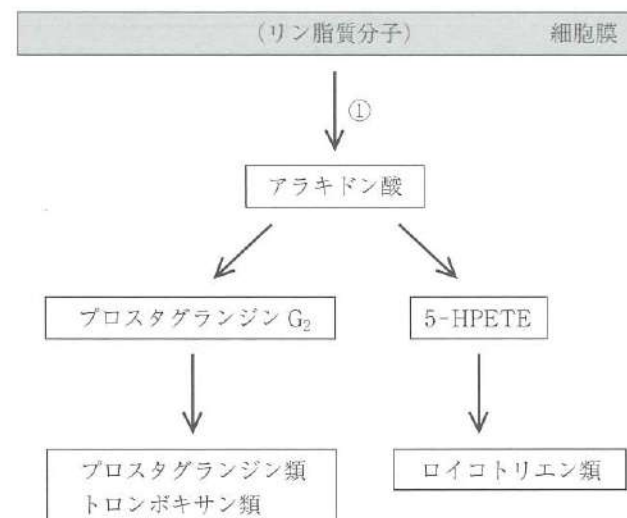
▶微生物学

選択肢考察

- × a、× b、× d デングウイルス、ムンプスウイルス、インフルエンザウイルスはエンベロープをもつ RNA ウイルスである。
- c サイトメガロウイルスはヘルペスウイルス科に属す DNA ウイルスである。

正解 c

[問題 14] アラキドン酸カスケードを図に示す。



①の反応を抑制する薬物の薬理作用はどれか。1つ選べ。

- a 糖新生促進
- b 骨形成促進
- c 感染症の改善
- d 胃粘膜保護作用の増強

▶薬理学

選択肢考察

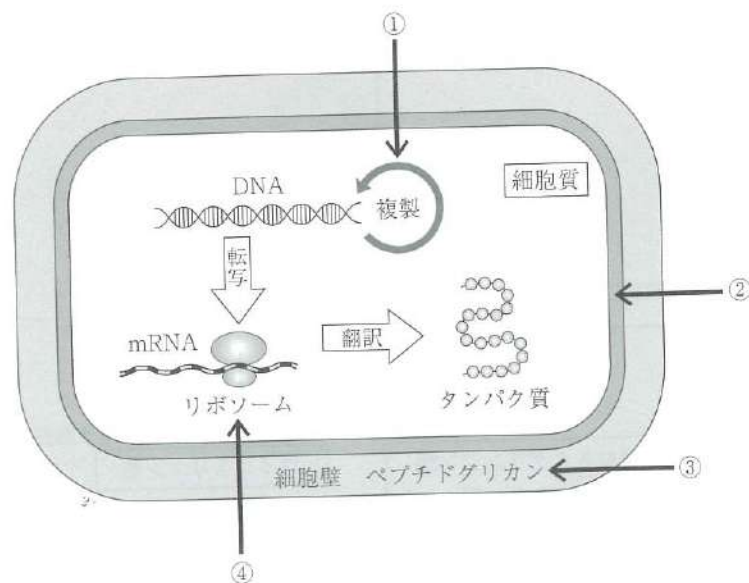
①の反応(ホスホリパーゼ A₂)を抑制する薬物はステロイド性抗炎症薬である。

- a 糖新生が促進されることで血糖値が上昇する。
- × b ステロイド性抗炎症薬は骨形成を阻害するため、副作用として**骨粗鬆症**がみられることがある。
- × c ステロイド性抗炎症薬は免疫抑制作用があり、抗体の産生を**抑制**することで感染症は増悪する。
- × d プロスタグランジンの産生抑制されることで、胃粘膜保護作用は抑制され消化性潰瘍が生じる。

正解 a

DH26:P108

【問題 15】 抗菌薬の作用点の模式図を示す。



①の過程を阻害する抗菌薬はどれか。1つ選べ。

- a ペニシリン系抗菌薬
- b マクロライド系抗菌薬
- c ポリペプチド系抗菌薬
- d ニューキノロン系抗菌薬

選択肢考察

抗菌薬の細菌に対する標的は1)細胞壁合成阻害、2)タンパク質合成阻害、3)核酸合成阻害、4)細胞膜障害の4つに分類される。

- × a ペニシリン系抗菌薬は③の細胞壁合成阻害作用をもつ。
- × b マクロライド系抗菌薬は④のタンパク質合成阻害作用をもつ。
- × c ポリペプチド系抗菌薬は②の細胞膜障害作用をもつ。
- d ニューキノロン系抗菌薬は①のDNA(核酸)合成阻害作用をもつ。

正解 d

▶薬理学

DH26:P109

【問題 16】 歯磨剤の薬用成分と作用の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 塩化リゾチーム ————— 殺菌
- b デキストラナーゼ ————— プラークの分解
- c ポリリン酸ナトリウム ——— 再石灰化促進
- d ポリエチレングリコール ——— 口臭減弱

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 塩化リゾチームには歯肉の炎症抑制作用があり、歯周病予防に効果がある。
- b デキストラナーゼはプラークの分解や化学的清掃作用があり、う蝕・歯周病予防に効果がある。
- × c ポリリン酸ナトリウムは歯石の沈着防止作用がある。
- × d ポリエチレングリコールはタバコのヤニを除去する。

正解 b

DH26:P134

【問題 17】 口腔清掃状態の評価に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a OHI
- b PI
- c PHP
- d PMA Index

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a OHI (Oral Hygiene Index) は、歯面に付着している歯垢と歯石の付着量を評価する。
- × b PI (Periodontal Index) は、歯周炎の進行度を評価する指標で、成人の歯周疾患の程度を表す指標として有用である。通常、第三大臼歯を含む全歯の歯周組織を観察する。
- c PHP (Patient Hygiene Performance) は、歯面を5部位に分割し、歯垢の付着状態を評価する。口腔清掃実行度ともよばれる。
- × d PMA Index (PMA 指数) は歯肉を対象とし、歯肉炎の広がり(有無)を評価する。

正解 a, c

DH26:P690

【問題 18】 粘膜保護作用があるのはどれか。1つ選べ。

- a ムチン
- b リゾチーム
- c 重炭酸イオン
- d ラクトフェリン

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a ムチンは顎下腺、舌下腺などから分泌される糖タンパク質で、口腔粘膜や歯肉上皮を細菌感染や機械的障害から守る粘膜保護作用をもつ。
- × b リゾチームは、細菌細胞壁を分解することで細菌を溶解する抗菌因子である。
- × c 重炭酸イオンは、唾液のpHを中性域に維持する緩衝作用をもつ。
- × d ラクトフェリンは、微生物の生育に必要な鉄イオンに結合し、細菌の増殖を阻害する抗菌因子である。

正解 a

DH26:P123

〔問題 19〕 Fejerskov によるう蝕の発生要因で、社会環境要因に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a 態度
- b 知識
- c 教育
- d 習慣

▶口腔衛生学

選択肢考察

Fejerskov は、歯の脱灰と再石灰化の平衡関係を中心に、唾液や飲食物、口腔細菌の影響に加え、社会環境要因と保健行動要因がう蝕の発症に間接的に影響を与えることを示した。

- × a、× b、× d 態度、知識、習慣は**保健行動要因**である。
- c 社会環境要因には教育のほか、**社会階層、収入**がある。

正解 c

DH26:P143

〔問題 20〕 フッ化物歯面塗布の時期と対象歯の組合せで適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 2～4歳 —— 乳前歯
- b 5～7歳 —— 第一小白歯
- c 10～11歳 —— 犬歯
- d 12～13歳 —— 第二小白歯

▶口腔衛生学

選択肢考察

○ c、d 萌出後 2～3 年の歯は未成熟でう蝕に罹患しやすいため、萌出直後からフッ化物歯面塗布を実施するのが効果的である。

●フッ化物の歯面塗布の時期と対象歯

- 1歳：乳前歯
- 2～4歳：乳白歯
- 5～7歳：第一大白歯、前歯
- 8～9歳：前歯、第一小白歯
- 10～11歳：第一小白歯、犬歯
- 12～13歳：第二大白歯、第二小白歯

正解 c、d

DH26:P664

〔問題 21〕 歯周疾患の疫学的特徴はどれか。2つ選べ。

- a 発病は部位により異なる。
- b 有病率は加齢とは関係ない。
- c 歯肉縁下歯石の好発部位は歯種により差がある。
- d 歯周ポケットからの出血は疾病の活動度を表す。

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a 歯周疾患は歯種により発病に差があり、**下顎前歯部**と**上顎大白歯部**が最も罹患しやすく、上下顎犬歯部や下顎小白歯部は罹患しにくい。
- × b 加齢とともに免疫機能が低下し、有病率は**増加**する。
- × c 歯肉縁下歯石の沈着は特に好発部位はない。
- d 歯周ポケットからの出血の度合いにより、**歯周疾患の活動度**がわかる。

正解 a、d

要点集352:P19

〔問題 22〕 職業性酸蝕症の好発部位はどれか。1つ選べ。

- a 上顎前歯部
- b 下顎前歯部
- c 上顎大白歯部
- d 下顎大白歯部

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 上顎前歯部唇面にも職業性酸蝕症は発生することがあるが、下顎前歯部の方が酸蝕症の発生頻度が高い。
- b 下顎前歯部は吸気が直接当たり、酸蝕症が生じやすい。さらに、下顎前歯切端部は酸の暴露により、軟化して咬耗しやすい。職業性酸蝕症は、バッテリー工場や電子基板工場などで、硫酸や塩酸の取り扱い作業に10年以上の長期にわたり従事した際に生じることがある。そのため、強酸を取り扱う作業員に対しては、歯科医師による6か月ごとの**特殊健康診断**が義務づけられている。
- × c、× d 上顎大白歯部、下顎大白歯部は吸気が直接当たりやすく、職業性酸蝕症は起きにくい。

正解 b

- [問題 23] 令和4年歯科疾患実態調査の結果で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 12歳児の一人平均う蝕歯数(DMFT)は約0.6本である。
 - b 若年層では歯周病罹患がほとんどみられない。
 - c 成人における4mm以上の歯周ポケットの有病率は約48%である。
 - d 8020達成者率(80歳で20本以上の歯を保有する者)は40%未満である。

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a 令和4年調査によると、12歳児の平均DMFTは約0.6本であり、過去最低を記録した。
- × b 若年層(20~29歳)でも約27%が4mm以上のポケットを有しており、歯周病は若年期から存在する。
- c 4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合は、成人全体で47.9%である。年齢とともに増加し、70歳代では6割を超える。
- × d 8020達成者率は51.6%で、初めて50%を超えた。

正解 a, c

DH26:P151

要点

- 令和4年歯科疾患実態調査



- [問題 24] 感覚温度に直接影響するのはどれか。1つ選べ。
- a 気圧
 - b 体温
 - c 湿度
 - d 輻射熱

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a, × b 気圧、体温は感覚温度には考慮されない。
- c 感覚温度とは、湿度100%で無風の状態に換算した温度のことで、気温、気湿、気流の3つの要素のみで決定され、それ以外の要因は考慮されない。湿度が高いと汗が蒸発しにくくなるため、感覚温度は高くなる。
- × d 輻射熱は感覚温度には考慮されない。

正解 c

- [問題 25] 感染経路別予防策の表を示す。

感染媒体	主な疾患	主な対策
直径5μm以下の飛沫核粒子	結核、麻疹、水痘	①

- ①の感染予防策を行うための特別な対策はどれか。1つ選べ。
- a サージカルマスクの着用と手袋を併用する。
 - b ガウンと手袋を常時着用し共有器具を避ける。
 - c サージカルマスクを使用し1メートル以上の距離を保つ。
 - d 患者に個室管理を行いスタッフはN95マスクを着用する。

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- 感染経路別予防策の図中の①は空気感染に対する主な対策である。
- × a サージカルマスクの着用と手袋の併用は飛沫感染の対応である。
 - × b ガウンと手袋を常時着用し、共有器具を避けるのは接触感染の対応である。
 - × c サージカルマスクを使用し、1メートル以上の距離を保つは飛沫感染の対応である。
 - d 空気感染予防策は、陰圧室での個室管理をし、スタッフはN95マスクを着用が必要である。

正解 d

DH26:P166

- [問題 26] トータルヘルスプロモーションプラン(THP)で実施されるのはどれか。1つ選べ。
- a がん検診
 - b 健康測定
 - c 特殊健康診断
 - d 雇入時健康診断

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a がん検診は健康増進法に基づいて市町村が実施している市町村保健事業の1つである。THP指針にがん検診は含まれていない。
- b THP(トータルヘルスプロモーションプラン)とは、労働者の「心身の健康づくり」をスローガンに進めている健康保持増進措置のことである。労働安全衛生法では、労働者の健康保持増進を図るために必要な措置を継続的かつ計画的に実施することが事業者の努力義務として定められ、労働者は、事業者が講ずる措置を利用して、健康保持増進に努めることとされている。THPでは健康保持増進措置として1.健康測定 2.運動指導 3.メンタルヘルスケア 4.栄養指導 5.保健指導を示している。
- × c 特殊健康診断は、労働安全衛生法に定められた健康診断である。労働衛生対策上、特に有害であるといわれている業務に従事する労働者等を対象として実施する健康診断である。
- × d 雇入時健康診断は事業所が従業員を雇用する際に実施することが労働安全衛生規則で義務付けられている健康診断である。

正解 b

DH26:P207

[問題 27] オーラルフレイルで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 歯の喪失も原因となる。
- b 不可逆性の病変である。
- c 重度の機能障害が認められる。
- d 初期症状は本人は気づきにくい。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

オーラルフレイルとは、健康と機能障害との中間にあり、可逆的であることが特徴である。初期症状には、滑舌低下、わずかなむせ、咬めない食品が増えるなどがある。

- a 歯の喪失によって咬めない食品が増えるなどの症状が生じる。
- × b オーラルフレイルは可逆性であることが特徴である。
- × c オーラルフレイルは、健康と機能障害との中間にあり、重度の機能障害にはなっていない。
- d 初期症状は日常生活のわずかな機能低下であり、本人は気づきにくいことも多い。

正解 a, d

DH 26:P 496

[問題 28] 世界保健機関(WHO)の活動はどれか。1つ選べ。

- a 二国間協力を行う。
- b 識字率を向上させる。
- c 難民の帰還支援を行う。
- d 国際疾病分類(ICD)を作成する。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 二国間協力は日本の場合、主に国際協力機構(JICA: Japan International Cooperation Agency)が行っている。WHOは多国間協力が主体である。
- × b 識字率の向上は国際連合教育科学文化機関(UNESCO: United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization)および国連児童基金(UNICEF: United Nations Children's Fund)の活動である。UNESCOは開発途上国への義務教育の普及や識字率の向上、世界遺産の保護などを行っている。UNICEFは開発途上国や紛争中の国の子どもに対する健康や教育などの支援、「子どもの権利条約」の普及などを行っている。
- × c 難民の帰還支援は国連難民高等弁務官事務所(UNHCR: United Nations High Commissioner for Refugees)の活動である。難民に関する諸問題解決のための対策を行っている。
- d 国際疾病分類(ICD)の作成はWHOの活動である。

正解 d

DH 26:P 174

[問題 29] 近年の高齢者虐待で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 養護者による虐待の増加が目立つ。
- b 被虐待者では75歳以上の男性が多い。
- c ネグレクトとは介護・世話の放棄・放任である。
- d 高齢者虐待の特徴的なものに経済的虐待がある。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 養護者からの虐待、養介護施設従事者からの虐待の両者ともに増加しているが、養介護施設従事者からの虐待の増加が目立つ。
- × b 虐待を受けた高齢者では75歳以上の女性が多い。
- c ネグレクトとは、高齢者を衰弱させるような著しい減食、長時間の放置、養護者以外の同居人による虐待行為の放置など、養護を著しく怠る介護・世話の放棄・放任のことである。高齢者虐待防止法では、「高齢者」を65歳以上の者と定義し、高齢者虐待を①養護者による高齢者虐待、及び②養介護施設従事者等による高齢者虐待に分けて「要点」のように定義している。養護者とは、「高齢者を現に養護する者であって養介護施設従事者等以外のもの」とされており、高齢者の世話をしている家族、親族、同居人等が該当すると考えられる。
- d 経済的虐待は、児童虐待には存在しない高齢者虐待独自の特徴的虐待である。

正解 c, d

DH 26:P 211

要点

● 高齢者虐待の内容

- ① 身体的虐待: 高齢者の身体に外傷が生じ、又は生じるおそれのある暴力を加えること。
- ② 介護・世話の放棄・放任(ネグレクト): 高齢者を衰弱させるような著しい減食、長時間の放置、養護者以外の同居人による虐待行為の放置など、養護を著しく怠ること。
- ③ 心理的虐待: 高齢者に対する著しい暴言又は著しく拒絶的な対応その他の高齢者に著しい心理的外傷を与える言動を行うこと。
- ④ 性的虐待: 高齢者にわいせつな行為をすること又は高齢者をしてわいせつな行為をさせること。
- ⑤ 経済的虐待: 養護者又は高齢者の親族が当該高齢者の財産を不当に処分することその他当該高齢者から不当に財産上の利益を得ること。

【問題 30】 検診等と根拠法令の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 骨粗鬆症検診 —— 健康増進法
- b 特殊健康診断 —— 労働基準法
- c 就学時健康診断 —— 学校教育法
- d 妊産婦健康診査 —— 母子保健法

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 健康増進法では市町村による健康増進事業として、**歯周疾患検診・骨粗鬆症検診・肝炎ウイルス検診・特定健康診査非対象者**に対する健康診査・がん検診の各事業が規定されている。
- × b 特殊健康診断とは、**労働安全衛生法**に定められた健康診断で、労働衛生対策上特に有害であるといわれている業務に従事する労働者等を対象として実施する健康診断である。
- × c 就学時健康診断とは**学校保健安全法**に基づき、初等教育に就学する直前に行なわれる健康診断である。就学前年度の**11月30日**までに実施される。
- d 母子保健法では、母性並びに乳児及び幼児の健康の保持及び増進を図るため、母子保健に関する原理を明らかにするとともに、母性並びに乳児及び幼児に対する保健指導、健康診査、医療その他の措置を講じることが規定されている。

正解 a、d

DH 26:P 188

【問題 31】 令和4年末時点の歯科衛生士の就業状況に関する記述で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 就業率は約60%である。
- b 就業歯科衛生士数は約14万人である。
- c 就業歯科衛生士数は前回調査より減少している。
- d 歯科衛生士の就業場所として最も多いのは歯科診療所である。

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a 就業率は46.2%であり、60%には達していない。
- b 令和4年末の就業歯科衛生士数は145,183人である。
- × c 前回(令和2年末)から約2,400人増加している。
- d 就業歯科衛生士の約9割は歯科診療所に勤務している。

正解 b、d

DH 26:P 227

【問題 32】 歯科衛生士が行う歯科診療補助で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 業務記録を作成する。
- b 患者への対面・直接行為である。
- c 業務の範囲は就業年数により判断される。
- d 能力に応じ各々の判断で臨機応変に行う。

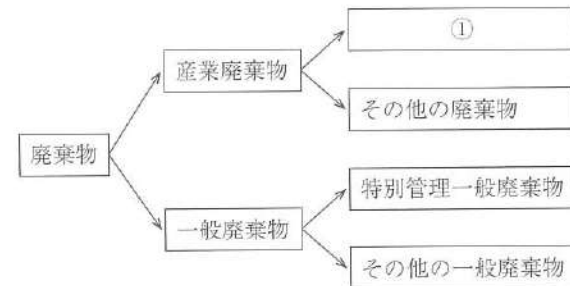
▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a 歯科衛生士法の定めにより、歯科予防処置と歯科保健指導を実施した場合は**業務記録**を作成し、3年間保存する。
- b、× c、× d 歯科衛生士法に歯科衛生士は歯科診療の補助を業とする規定があり、その行為は歯科衛生士の知識と技能の範囲で行われる患者への対面・直接行為である。行為の限界を判断するのは歯科医師であり、歯科医師の指示のもとで**相対的歯科医行為**を行う。歯科衛生士の業務範囲を超える歯科医療行為は**絶対的歯科医行為**といい、歯科医師の指示があっても行ってはならない。

正解 b

【問題 33】 廃棄物の分類の図を示す。



①に該当する廃棄物の処理方法はどれか。1つ選べ。

- a 医療機器メーカーに引き取ってもらう。
- b 一般廃棄物として自治体に回収を依頼する。
- c 処理業者へ委託せず歯科院内で焼却処理を行う。
- d 都道府県知事の許可を受けた業者にマニフェスト管理で委託する。

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- d ①は**特別管理産業廃棄物**に該当し、感染性・毒性など特別な管理が必要である。都道府県知事の許可を受けた処理業者に委託し、産業廃棄物**マニフェスト**を作成・交付し、処理の流れを管理することが義務付けられている。

正解 d

DH 26:P 170

【問題 34】 患者が医療機関で診断を受けた内容について、他の医療機関で確認する権利をもつことを明記しているのはどれか。1つ選べ。

- a リスボン宣言
- b ジュネーブ宣言
- c ヘルシンキ宣言
- d ヒポクラテスの誓い

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- a 個別な医療関係において患者自身の主体性を強調するという観点から、患者の人格が尊重されるとき、患者が自らの意思と選択のもとに最善の医療を受けることができるという、患者としての権利を「患者の権利」という。患者の権利については、世界医師会総会で採択された「患者の権利に関する世界医師会リスボン宣言」で謳われている。
- × b ジュネーブ宣言はヒポクラテスの誓いをもとに、現代に即した医の倫理に関するパターナリズムの倫理規範である。第2回世界医師会総会で採択された。
- × c ヘルシンキ宣言はニュルンベルク綱領をもとに、被験者の人権尊重など医学研究における規定を宣言したものである。被験者のインフォームド・コンセントの重要性の強調である。
- × d ヒポクラテスの誓いは、医師の心構え、患者を傷つけない、差別しない、秘密を守る等のパターナリズムの倫理規範である。

正解 a

DH 26:P 247

【問題 35】 検査時の口腔内写真(別冊午前 No. 4)を別に示す。得られる情報はどれか。2つ選べ。

- a 隣接面う蝕
- b 歯髄の生死
- c 歯の動揺度
- d 破折の有無

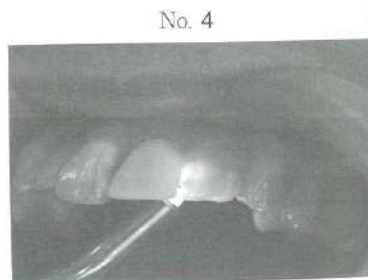
▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

写真は透照診を行っている。隣接面う蝕や歯の亀裂・破折が存在すると光の透過性が変化する。

- a 透照診は隣接面う蝕の診査に有効である。
- × b 歯髄の生死は電気歯髄診断器で得られる情報である。
- × c 歯の動揺度はピンセットを用いて検査する。
- d 破折の有無は透過する光の明度の違いで観察できる。

正解 a, d



【問題 36】 肝機能障害で高値を示すのはどれか。2つ選べ。

- a AST
- b ALT
- c 血清アルブミン
- d 血清総コレステロール

▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

肝機能障害により、肝臓に存在する肝細胞は破壊・障害を受けることで血中に放出され、検査値が上昇する。一方で肝臓にて合成されるものは、合成機能や合成過程が障害されることで検査値が減少する。

- a、○ b AST、ALTは肝細胞の障害や壊死により、肝細胞内から血液中に流出する逸脱酵素であるため検査値が上昇する。
- × c 血清アルブミンは肝臓で生成されるタンパク質で、栄養状態の指標とされている。肝機能障害で検査値が減少する。
- × d コレステロールは肝臓で合成されるため、肝機能障害により検査値が減少する。

正解 a, b

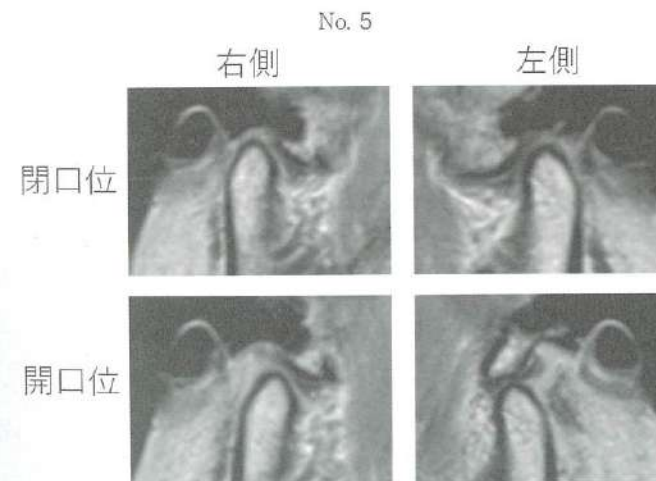
DH 26:P 274

【問題 37】 45歳の女性。開口時の右側耳前部の疼痛を主訴として来院した。1年前に閉開口時のカクカク鳴る雑音を自覚していたが、2か月前から雑音が消失し、開口障害と疼痛が生じたという。初診時に撮影した画像検査写真(別冊午前 No. 5)を別に示す。

この画像検査法の特徴はどれか。2つ選べ。

- a フィルムを使用する。
- b 硬組織の描出に優れる。
- c エックス線被曝を伴わない。
- d プロトンの分布状態を画像化したものである。

▶ 臨床歯科総論



選択肢考察

初診時に撮影した画像検査写真は磁気共鳴撮影法(MRI)である。

- × a MRIでフィルムは使用しない。
- × b 硬組織の描出に優れるのはCT検査である。
- c、○ d 磁気共鳴撮影法(MRI)は強力な磁場の中で身体のプロトン信号の測定する検査法であり、エックス線を使用しない検査法であるため、エックス線被曝を伴わない。

正解 c, d

DH 26:P 267

【問題 38】 ミニマルインターベンション(MI)に基づいたう蝕の予防・管理で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 窩洞の予防拡大
- b 表層下脱灰病変の除去
- c う蝕病原性細菌数の抑制
- d 欠陥のある修復物の補修

▶保存修復学

選択肢考察

- × a 窩洞の予防拡大は行わず、歯の切削はできるだけ少なくする。
- × b 表層下脱灰病変の除去は行わず、初期う蝕を再石灰化させる。
- c う蝕病原性細菌数は抑制し、口腔内の細菌を減らす。
- d 欠陥のある修復物を補修する。

正解 c、d

【問題 39】 32歳の女性。下顎左側小臼歯部の舌感不良を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 6)を別に示す。

原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 打撲
- b 修復物の脱離
- c 不適切なブラッシング
- d 酸性食品の習慣的摂取

▶保存修復学

No. 6



選択肢考察

- × a 打撲では局所的な破折・変色・動揺がみられるが、咬合面全体に欠損はみられない。
- × b 唇側面の修復物に脱離はみられない。
- × c 不適切なブラッシングによる歯肉退縮や根面露出はみられない。
- d 咬合面に咬耗症と疑われる実質欠損がみられる。また舌側面に酸性食品による脱灰と疑われる実質欠損を認める。どちらも歯の損傷(Tooth wear)である。

正解 d

DH26:P279

【問題 40】 4年前にレジン修復された上顎右側第二小臼歯の写真(別冊午前 No. 7)を別に示す。矢印に示す着色の原因はどれか。1つ選べ。

- a 重合収縮
- b 重合不足
- c 過度のエッチング
- d レジンのはみ出し

▶保存修復学

選択肢考察

- × a 過度な重合収縮が起こると、遊離エナメル質が剥離してホワイトマージンが生じる。
- × b 重合不足により着色が生じることはない。
- × c 過度のエッチングは象牙質との接着が不良となるが、着色が生じることはない。
- d 写真よりレジン表面の一部に褐色沈着を認める。修復時にマトリックス操作不良などで余剰レジンが残存した場合や、仕上げ研磨の不足によりプラークや着色の沈着部位となる。

No. 7



正解 d

DH26:P296

【問題 41】 暫間の間接覆髄法と間接覆髄法の共通点はどれか。2つ選べ。

- a 第3象牙質の形成を期待する。
- b 軟化象牙質を一部残して覆髄する。
- c 点状の露髄に対して行う処置である。
- d 覆髄薬として水酸化カルシウムが使用される。

▶歯内療法学

選択肢考察

- a 暫間の間接覆髄法(IPC法)と間接覆髄法のいずれも第3象牙質の形成を期待して行われる。暫間の間接覆髄法は、軟化歯質を完全除去すると露髄する危険がある場合に、軟化象牙質の一部を残して覆髄する方法である。若年者で健康歯髄、可逆性歯髄疾患が適応となる。一方、間接覆髄法は、露髄はないが残存歯質が非常に薄い場合に行う覆髄法である。
- × b 軟化象牙質を一部残して覆髄するのは暫間の間接覆髄法である。間接覆髄法では軟化象牙質をすべて除去する。
- × c 暫間の間接覆髄法と間接覆髄法のいずれも露髄部に行う処置ではない。
- d 水酸化カルシウムは暫間の間接覆髄法および間接覆髄法の覆髄薬である。

正解 a、d

DH26:P311

【問題 42】 24歳の男性。上顎左側中切歯根尖部の腫脹と自発痛を主訴として来院した。自発痛は2日前から強く、今朝はやや軽減したという。① 根尖相当部粘膜に波動を触れる。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 8 A)とエックス線画像(別冊午前 No. 8 B)を別に示す。

考えられる診断名と当日行われる処置の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

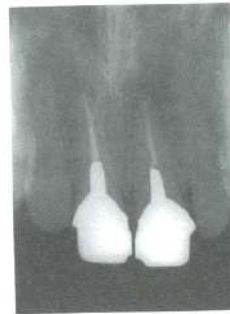
- a 急性化膿性根尖性歯周炎 —— 歯根端切除
- b 急性化膿性根尖性歯周炎 —— 切開・排膿
- c 慢性化膿性根尖性歯周炎 —— 抗菌薬投与
- d 慢性化膿性根尖性歯周炎 —— 感染根管治療

▶ 歯内療法学

No. 8 A



B



選択肢考察

- × a、○ b 診断は急性化膿性根尖性歯周炎である。膿瘍は波動を触れ、切開・排膿を行うべき適切な時期である。歯根端切除は初診時の対応ではない。
- × c、× d 患者は自発痛を訴えており慢性炎症ではない。急性化膿性根尖性歯周炎の処置として抗菌薬投与も併用されることがあるが、当日行うべき処置は切開・排膿である。

正解 b

【問題 43】 8歳の男児。歯肉の腫脹を主訴として来院した。2日前から歯肉の激しい痛み、倦怠感および発熱があり、食事時には出血を伴うという。プラーク中の細菌検査では、スピロヘータと紡錘桿菌が多数検出された。初診時の口腔内写真(別冊午前 No. 9 A)とエックス線画像(別冊午前 No. 9 B)を別に示す。

考えられるのはどれか。1つ選べ。

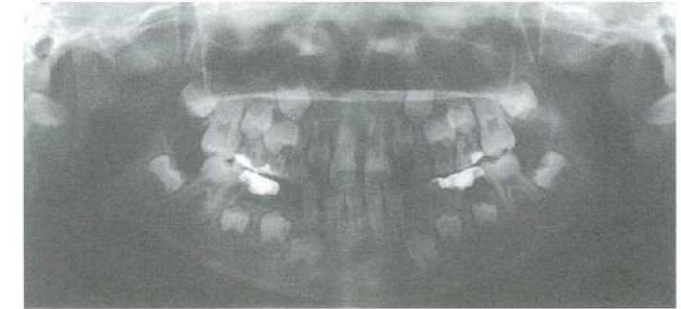
- a 侵襲性歯周炎
- b 慢性剝離性歯肉炎
- c 薬物性歯肉増殖症
- d 壊死性潰瘍性歯肉炎

▶ 歯周治療学

No. 9 A



B



選択肢考察

- × a 侵襲性歯周炎は思春期から30歳代にみられ、急速なアタッチメントロスや歯槽骨吸収を認める。
- × b 慢性剝離性歯肉炎は閉経期の女性にみられ、歯肉に剝離性のびらんや浮腫性紅斑などが形成されることから考えにくい。
- × c 薬物性歯肉増殖症は薬物服用の既往により、線維性の歯肉増大がみられることから考えにくい。
- d 壊死性潰瘍性歯肉炎は、歯肉組織が壊死し、潰瘍を生じる歯肉炎で激しい痛みを伴う。*Fusobacterium nucleatum*(紡錘桿菌)が原因菌である。

正解 d

DH26:P352

〔問題 44〕 45歳の男性。上顎左側中切歯の動揺と咀嚼障害を主訴として来院した。以前から同歯の動揺に気付いていたが、最近になり咬合痛が生じ食事摂取困難となった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.10 A)とエックス線画像(別冊午前 No.10 B)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

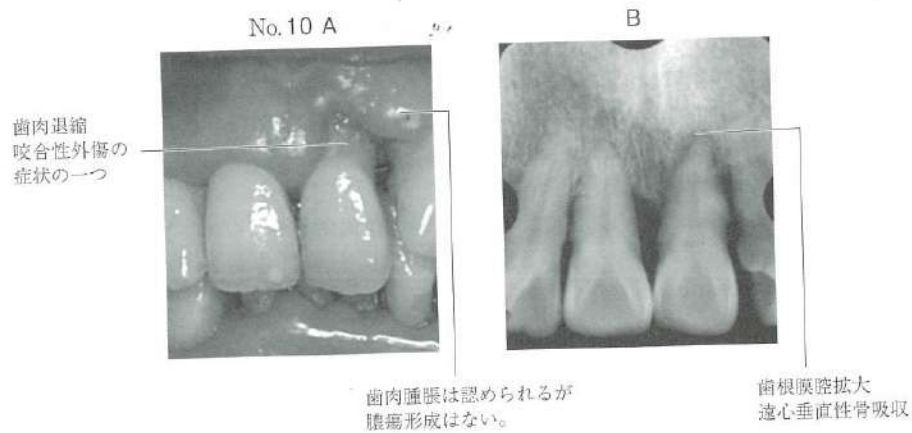
唇側*	5	3	⑤	5	4	6
歯種	1		1			
口蓋側*	⑥	⑤	⑤	⑥	⑥	⑦
動揺度**	1			2		

* : プロービング深さ (mm)
 ○印: プロービング時の出血
 ** : Miller の判定基準

①に対してまず行う処置として考えられるのはどれか。2つ選べ

- a 咬合調整
- b 暫間固定
- c 遊離歯肉移植術
- d ルートプレーニング

▶歯周治療学

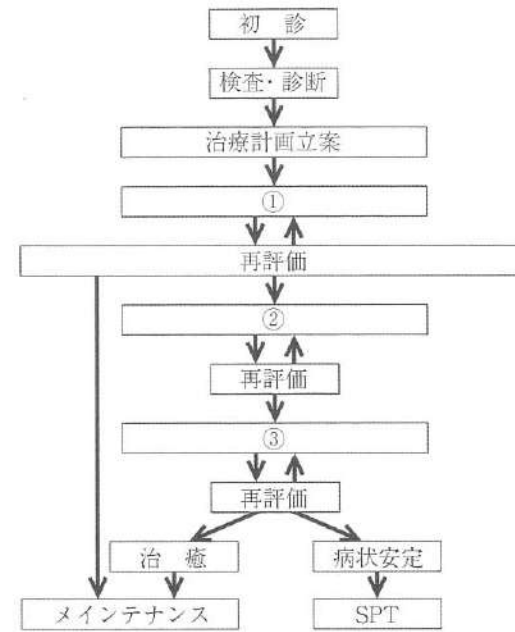


選択肢考察

- a、○ b ①は動揺度2度で、歯根膿腔の拡大が認められ、深いポケットを形成していることから、咬合性外傷があると考えられる。まずは咬合調整と暫間固定を行う。
- × c 歯肉退縮は認めるが、まず歯周基本治療を行う。
- × d 主訴に対する処置をまず行い、口腔清掃指導を実施しスケーリング・ルートプレーニングを行う。

正解 a、b

〔問題 45〕 中等度から重度の歯周炎患者に対する治療の一般的な流れを図に示す。



①と②で行う治療の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- ①
- ②
- a 暫間固定 — フラップ手術
- b 歯肉切除術 — ヘミセクション
- c スケーリング — インプラント治療
- d 口腔清掃指導 — 歯周補綴

▶歯周治療学

選択肢考察

- a 暫間固定は歯周基本治療、フラップ手術は歯周外科治療で行う。歯周治療は歯周基本治療→再評価→歯周外科治療→再評価→口腔機能回復治療(修復・補綴等)→再評価→メンテナンス/SPTの順で行われる。①は歯周基本治療、②は歯周外科治療、③は口腔機能回復治療である。
- × b 歯肉切除術は歯周外科治療、ヘミセクションは外科的歯内療法で行う。
- × c スケーリングは歯周基本治療、インプラント治療は口腔機能回復治療で行う。
- × d 口腔清掃指導は歯周基本治療、歯周補綴は口腔機能回復治療で行う。

正解 a

DH26:P378

[問題 46] 55歳の男性。下顎左側第二小白歯の欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。診察の結果、固定性ブリッジを製作することになった。咬合器上で検査を行うため、ある記録を採得している口腔内写真(別冊午前 No.11A)と採得した記録(別冊午前 No.11B)を別に示す。この記録を利用して行うのはどれか。1つ選べ。

- a 上顎模型装着
- b 下顎模型装着
- c 矢状顎路傾斜角調節
- d 矢状切歯路傾斜角調節

▶ 歯科補綴学

No.11A



B



選択肢考察

写真Aは上顎中切歯の正中部と下顎中切歯の正中部が一致しており、オーバージェットも確認できるため中心咬合位の状態である。また、写真Bは咬合採得用シリコーンゴム印象材の穿孔がみられるため、中心咬合位で咬合させた記録であることがわかる。

○b 半調節性咬合器ではフェイスボウを用いて上顎模型を装着し(選択肢a)、中心咬合位で咬合させた咬合採得用シリコーンゴム印象材などを用いて下顎模型を咬合器に装着する(選択肢b)。上下顎模型を咬合器に装着し、前方および側方チェックバイトを用いて矢状顎路傾斜角の調節(選択肢c)を行う。

正解 b

📖 DH 26:P 404

[問題 47] 上顎前歯部ブリッジの写真(別冊午前 No.12)を別に示す。ポンティックの基底面形態はどれか。1つ選べ。

- a 偏側型
- b 船底型
- c オベイト型
- d リッジラップ型

▶ 歯科補綴学

No.12



選択肢考察

1 1 2 のブリッジである。1 の基底面がT字状を呈している。

- × a 偏側型はポンティック基底面の頰側(唇側)縁を顎堤粘膜に接触させ、舌側面に向かって三角形の空隙を作りながら離れる形態である。
- × b 船底型はポンティック基底面が船底型または楕円型で、下顎前歯部・白歯部に用いられる。
- × c オベイト型は凸面状の基底面が顎堤粘膜の陥凹部に入り込み、上顎前歯部に用いられる。
- d リッジラップ型の接触面はT字型を呈する。上顎前歯部・白歯部に用いる。

正解 d

📖 要点集 352:P32

[問題 48] 歯科用CAD/CAMの用途はどれか。2つ選べ。

- a 陶材焼付金属冠の製作
- b フレームワークの製作
- c エーカースクラスプの製作
- d オールセラミッククラウンの製作

▶ 歯科補綴学

選択肢考察

- × a、× c 陶材焼付金属冠やエーカースクラスプは鑄造法によって製作する。
- b、○ d 歯科用CAD/CAMはレーザーやCCDカメラなどで模型を三次元的に計測した後、そのデータをもとにコンピュータでクラウンやブリッジの形態をデザインし製作する方法である。セラミッククラウン(ブリッジ)や、フレームワークの製作に用いられる。

正解 b、d

📖 DH 26:P 410

次の文を読み、[問題 49]、[問題 50] に答えよ。

68歳の女性。左側下顔面の疼痛を主訴として来院した。3日前から左側下顔面に発赤を伴う水疱が出現し、聴覚過敏とめまいを自覚するという。初診時の顔貌写真(別冊午前 No.13)を別に示す。

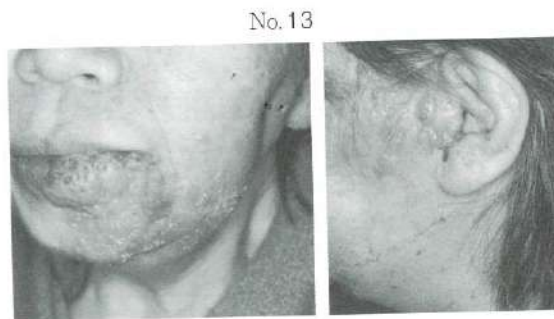
[問題 49] 疑われるのはどれか。1つ選べ。

- a 扁平苔癬
- b 帯状疱疹
- c 掌蹠膿疱症
- d ヘルパンギーナ

[問題 50] 原因療法に用いられるのはどれか。1つ選べ。

- a ペニシリン
- b アシクロビル
- c ミコナゾール
- d カルバマゼピン

▶口腔外科学



選択肢考察

[問題 49]

- × a 扁平苔癬は、口腔粘膜のほか、外陰部粘膜や皮膚に生じる慢性炎症性角化病変である。
- b 3日前から発赤を伴う水疱が左側の三叉神経第三枝領域に限局して出現し、聴覚過敏とめまいを自覚すること、写真から水疱が癒合、自壊し、潰瘍を形成していることから**帯状疱疹**が疑われる。
- × c 掌蹠膿疱症は、手のひらや足の裏に、感染によらない無菌性膿疱が繰り返してできる慢性炎症性の難治性皮膚疾患である。
- × d ヘルパンギーナは、発熱と口腔粘膜にあらわれる水疱性の発疹を特徴とした急性のウイルス性咽頭炎であり、乳幼児を中心に夏季に流行する。

[問題 50]

- × a ペニシリンは**抗菌薬**であり帯状疱疹ウイルスには無効である。
- b 帯状疱疹の原因療法として、抗ウイルス薬の**アシクロビル**を投与する。アシクロビルは単純ヘルペスウイルス、帯状疱疹ウイルスに有効である。
- × c ミコナゾールは**抗真菌薬**であり帯状疱疹ウイルスには無効である。
- × d カルバマゼピンは、**三叉神経痛**の治療薬である。

正解 [問題 49] b

[問題 50] b

DH26:P154

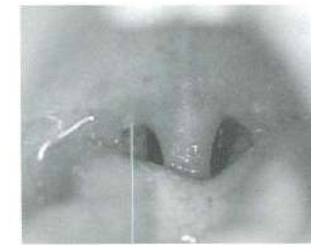
[問題 51] 3歳の男児。口腔内の痛みを主訴として来院した。昨日から発熱があるという。口腔内に多数の小アフタを認め、四肢に皮疹が出現しているが全身状態は良好である。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.14 A)と手の写真(別冊午前 No.14 B)を別に示す。

原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a エンテロウイルス
- b ヘルペスウイルス
- c ムンプスウイルス
- d コクサッキーウイルス

▶口腔外科学

No.14 A



軟口蓋のアфта

B



手掌の水疱

選択肢考察

口腔内に多数の小アフタ、四肢に皮疹が生じたことから手足口病が考えられる。

- a エンテロウイルス 71 は**手足口病**の原因となる。
- × b ヘルペスウイルスは**単純疱疹**や**帯状疱疹**の原因となる。
- × c ムンプスウイルスは**流行性耳下腺炎**の原因となる。水疱を形成することはない。
- d コクサッキーウイルス A16 は**手足口病**を引き起こす。その他コクサッキーウイルス A は**ヘルパンギーナ**などの疾患を引き起こす。

正解 a、d

[問題 52] 自己免疫疾患はどれか。2つ選べ。

- a 気管支喘息
- b アトピー性皮膚炎
- c シェーグレン症候群
- d 全身性エリテマトーデス (SLE)

▶口腔外科学

選択肢考察

- × a、× b 気管支喘息、アトピー性皮膚炎は、肥満細胞や好塩基球に結合した IgE と抗原の抗原抗体反応による**I型アレルギー**である。
- c シェーグレン症候群は、**唾液腺**や**涙腺**などの外分泌腺がリンパ球浸潤を伴って特異的に傷害される自己免疫疾患である。
- d 全身性エリテマトーデス (SLE) は、抗原抗体複合物が組織に沈着することで組織を傷害する自己免疫疾患である。

正解 c、d

DH26:P353

【問題 53】 矯正治療中の口腔内写真(別冊午前 No.15)を別に示す。

この治療の目的と同じ装置はどれか。1つ選べ。

- a 咬合斜面板
- b トランスバラタルアーチ
- c Nance のホールディングアーチ
- d リンガルアーチにろう着した指様弾線

▶矯正歯科学

選択肢考察

この治療の目的は、圧縮したコイルスプリングを装着し犬歯の遠心移動を行うことである。

- × a 咬合斜面板は下顎骨の前方成長と下顎臼歯を挺出させ、オーバージェットとオーバーバイトの減少をはかる。
- × b トランスバラタルアーチは加强固定装置であり歯の移動は行わない。
- × c Nance のホールディングアーチは加强固定装置であり歯の移動は行わない。
- d リンガルアーチの補助弾線による移動方向は指様弾線のみ近遠心移動ができる。

正解 d

DH 26:P 470

【問題 54】 下顎歯列模型の咬合面観(別冊午前 No.16)を別に示す。

正常な咬合関係で上顎第一大臼歯の近心頰側咬頭の三角隆線が接触するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶矯正歯科学

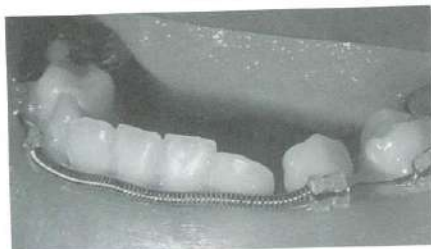
選択肢考察

正常な咬合関係では、上顎第一大臼歯の近心頰側咬頭の三角隆線と、下顎第一大臼歯頰面溝部分で接触し、この状態を大臼歯の Angle I 級咬合という。

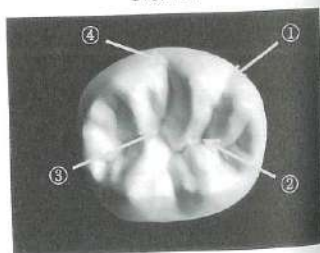
- × a ①は遠心頰側溝である。
- × b ②は遠心小窩である。
- × c ③は中心窩である。
- d ④は頰面溝である。

正解 d

DH 26:P 449



No.15



No.16

【問題 55】 側面頭部エックス線規格写真のトレース図(別冊午前 No.17)を別に示す。

- ①の計測平面の特徴はどれか。2つ選べ。
- a 頭蓋底の基準平面である。
- b 仮想咬合平面とほぼ平行になる。
- c トルコ鞍の中心とナジオン結んだ平面である。
- d フェイスボウトランスファーの基準平面である。

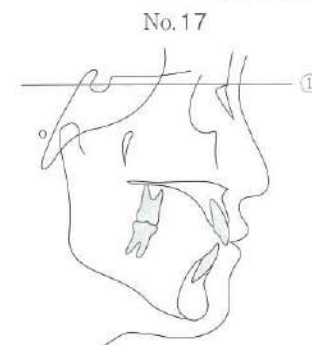
▶矯正歯科学

選択肢考察

- ①の計測平面は SN 平面である。
- a、○ c SN 平面はトルコ鞍の中心(S)とナジオン(N)結んだ平面であり、頭蓋底に対する上顎骨や下顎骨の前後的位置の評価に用いられる。
- × b 仮想咬合平面とほぼ平行になるのは、左右の鼻翼下点と外耳道上縁を結んだ線(鼻聴道線;カンベル線)である。
- × d フェイスボウトランスファーの基準平面はフランクフルト平面である。

正解 a、c

DH 26:P 460



No.17

【問題 56】 5歳の男児。歯科治療を希望して来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.18)を別に示す。

Hellman の歯齢はどれか。1つ選べ。

- a II A 期
- b II C 期
- c III A 期
- d III B 期

▶小児歯科学

選択肢考察

- a 口腔内写真から、E+E の萌出が確認され II A 期(乳歯列完成期)である。また、患児の年齢からも乳歯列期である。
- × b II C 期は第一大臼歯および切歯萌出開始期である。乳前歯の脱落はみられないため、この期ではない。
- × c III A 期は第一大臼歯萌出完了、切歯萌出完了または萌出中である。
- × d III B 期は側方歯群交換期である。

正解 a

DH 26:P 479



No.18

[問題 57] 4歳の男児。う蝕の治療を希望して来院した。上顎乳前歯の多歯面う蝕と診断され、コンポジットレジン冠修復を行うことになった。治療に用いる器材(別冊午前 No.19)を別に示す。治療に用いる器材の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 切端部は穿孔しておく。
- b 審美性から装着を嫌う保護者もいる。
- c 除去後にレジン表面の研磨は行わない。
- d 歯頸部の適合にゴードンのプライヤーを準備する。

▶小児歯科学

No.19



選択肢考察

写真の器材はクラウンフォームである。切縁を含む広範囲のう蝕はクラウンフォームを用いて、コンポジットレジンにより全面の被覆を行う。

- a クラウンフォームの隅角部を穿孔し、**気泡の混入**を防ぐ。
- × b、× d 「審美性から装着を嫌う保護者もいる」、「歯頸部の適合にゴードンのプライヤーを準備する」のは**乳歯用既製金属冠**の特徴である。
- c クラウンフォーム除去後のコンポジットレジン表面は滑沢なため、**研磨は行わない**。

正解 a、c

📖 要点集 352:P49

[問題 58] 定型発達児において身長が出生時の2倍となるのはどれか。1つ選べ。

- a 6か月
- b 1歳
- c 2歳
- d 4歳

▶小児歯科学

選択肢考察

○ d ●正常乳幼児の身長と体重(目安)

	生下時	3月	1歳	3~4歳	6歳	10歳	12歳
体重	3kg	6kg	10kg	15kg	20kg	35kg	45kg
	生下時		1歳		4歳		12歳
身長	50cm		75cm		100cm		150cm

正解 d

📖 要点集 352:P43

[問題 59] 認知症の症状で行動・心理症状(BPSD)はどれか。2つ選べ。

- a 失行
- b せん妄
- c 不潔行為
- d 記憶障害

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

認知症とは「一度正常に達した認知機能が後天的な脳の障害によって持続性に低下し、日常生活や社会生活に支障をきたすようになった状態」と定義され、この症状に感情、意欲、性格などの障害が加わることがある。認知症の症状は、**中核症状**と**行動・心理症状(BPSD)**に分けられる。

- × a 失行は服の着方や道具の使い方がわからないことであり、認知症の中核症状である。
- b せん妄は軽度から中等度の意識レベルの低下を背景に幻視、妄想、不安などの精神症状がみられる、認知症の**行動・心理症状**である。
- c 不潔行為とは汚れた下着を隠す、便に触れるなどの行為を指し、認知症の**行動・心理症状**である。
- × d 記憶障害は新しいことを覚えられない、以前のことを思い出せないといった症状であり、認知症の**中核症状**である。

正解 b、c

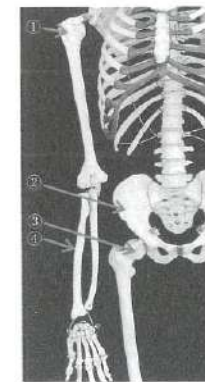
[問題 60] 全身骨格前面の一部の写真(別冊午前 No.20)を別に示す。

高齢者の転倒で骨折頻度が最も高いのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶高齢者・障害者歯科学

No.20



選択肢考察

- × a ①は**上腕骨**である。
- × b ②は**寛骨**(骨盤の一部)である。
- c ③は**大腿骨**である。高齢者の転倒で骨折頻度が最も高い。要介護が必要となる原因の一つである。
- × d ④は**橈骨**である。前腕に位置する骨で、拇指側は**橈骨**、小指側は**尺骨**である。

正解 c

[問題 61] ロコモティブシンドロームの疑いがあるのはどれか。2つ選べ。

- a むせやすい。
- b 物忘れが多い。
- c 片足立ちで靴下がはけない。
- d 横断歩道を青信号で渡りきれない。

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

ロコモティブシンドロームとは、「運動器の障害」により「要介護になる」リスクの高い状態になることで、

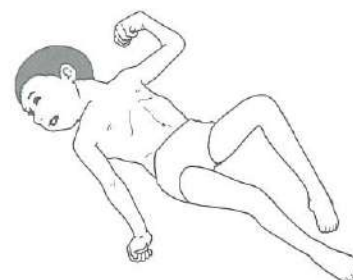
以下の症状のうち1つでも該当すれば、ロコモティブシンドロームの疑いがある。

- 1) 片脚立ちで靴下がはけない
- 2) 家の中でつまずいたり滑ったりする
- 3) 階段を上るのに手すりが必要である
- 4) 横断歩道を青信号で渡りきれない
- 5) 15分くらい続けて歩けない
- 6) 2kg程度の買い物(1リットルの牛乳パック2個程度)をして持ち帰るのが困難である
- 7) 家の中のやや重い仕事(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)が困難である

- × a むせやすいのは、オーラルフレイルの疑いがある。
- × b 物忘れが多いのは、認知症の疑いである。
- c 片足立ちで靴下がはけないのは、運動器の障害の疑いがある。
- d 横断歩道を青信号で渡りきれないのは、運動器の障害の疑いがある。

正解 c、d

[問題 62] 5歳の男児。脳性麻痺患児における背臥位での姿勢を図に示す。



影響している反射はどれか。1つ選べ。

- a 把握反射
- b モロー反射
- c 緊張性迷路反射
- d 非対称性緊張性頸反射

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- × a 把握反射とは見えていなくても手に物を触れさせると、無意識に物を握ろうとする反射である。
- × b モロー反射とは音や体位変化によって生じる反射で、反射的に身体を動かす。
- × c 緊張性迷路反射とは頭部の位置の変化によって生じる反射で、頭部が後屈すると全身と上下肢が伸展する。
- d 図は非対称性緊張性頸反射である。上下肢が顔を向いている側に伸展し、一方で反対側の上下肢は屈曲する。

正解 d

[問題 63] 歯周病のプラークリテンションファクターとなる歯の形態異常はどれか。2つ選べ。

- a 盲孔
- b 斜切痕
- c 中心結節
- d エナメル真珠

▶歯科予防処置

選択肢考察

斜切痕、根面溝、エナメル真珠、エナメル突起などの歯肉縁下に及ぶ歯の形態異常は、プラークリテンションファクターとなり、歯周組織の破壊を助長することがある。

- × a 盲孔は切歯の舌側面窩が基底結節内に入り込んでできた陥凹であり、上顎側切歯に認められることがある。
- b 斜切痕(口蓋側溝)は、舌側面窩から歯根に向かう溝である。上顎側切歯に認められることがある。
- × c 中心結節は咬合面中央部にみられる小突起である。下顎第二小臼歯に出現頻度が高い。
- d エナメル真珠(エナメル滴)は、根分岐部付近の歯根に現れる半球状のエナメル質の塊である。上下顎とも第三大臼歯に最も多い。

正解 b、d

DH 26:P 334

[問題 64] 43歳の女性。下顎右側側切歯の着色を気にして来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.21 A、B)を別に示す。診査の結果、う蝕症と診断された。

このう蝕の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 穿下性に進行する。
- b 軟化象牙質の量が多い。
- c 学童期以前に多くみられる。
- d エナメル-象牙境に達すると側方拡大をする。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

写真のう蝕は慢性う蝕で、エナメル質では**エナメル小柱**に沿って、象牙質では**象牙細管**に沿って進行する。エナメル質う蝕から象牙質う蝕へ移行する際には、**エナメル-象牙境**に沿って側方に拡大している。

○ a、○ d 慢性う蝕の特徴はエナメル質と象牙質の境目の比較的弱い構造に達すると側方拡大し、**穿下性**に進行する。う蝕は側方拡大することで、感染歯質の範囲は見た目より広範囲に波及している。

× b、× c 軟化象牙質の量が多い、学童期以前に多くみられるのは急性う蝕の特徴である。

正解 a、d

DH26:P283

No.21 A



B



[問題 65] 口腔内写真(別冊午前 No.22)を別に示す。

矢印が示す部位の確認で行うのはどれか。2つ選べ。

- a 歯槽粘膜に浸潤麻酔を行う。
- b ヨードチンキで粘膜を染色する。
- c 歯周プローブで歯槽粘膜を押し上げる。
- d クレーンカプランのピンセットでマーキングする。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

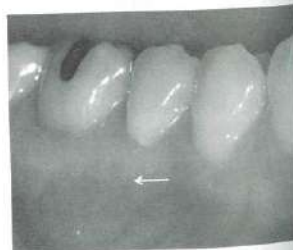
矢印の歯肉歯槽粘膜境(MGJ)は、**付着歯肉**と**歯槽粘膜**の境界を示す。

- × a 歯槽粘膜に浸潤麻酔をしてもMGJの確認はできない。
- b 歯槽粘膜は**ヨードチンキ**で染色されるが、付着歯肉は染色されない。よって、ヨードチンキを用いることで、MGJの位置を確認できる。
- c 歯周プローブで歯槽粘膜を押し上げ、可動部と不動部を確認する。
- × d クレーンカプランのピンセット(ポケットマーカ)は、**ポケット底部**の印記に用いる。

正解 b、c

DH26:P595

No.22



[問題 66] 歯ブラシの毛先を使うブラッシング法はどれか。2つ選べ。

- a バス法
- b フォーンズ法
- c チャーターズ法
- d スティルマン改良法

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

○ a、b ● ブラッシング法と特徴

ブラッシング法	使用部位	方法	特徴
スクラッピング法	毛先	毛先を歯面に垂直に当て、微振動させる。	歯面清掃効果が最も高い。
バス法		毛先を歯面に45度の角度で歯肉溝に入るように当て、微振動させる。	歯肉溝、歯頸部の清掃に適している。操作が難しい。
フォーンズ法		毛先を歯面に垂直に当て、円を描くように動かす。	小児のブラッシングに適している。
スティルマン改良法	脇腹	毛先を歯根方向45度に向け脇腹を歯肉に当て圧迫振動し、その後、歯ブラシを回転させて歯面を清掃する。	歯周病患者の歯肉マッサージに適している。
チャーターズ法		毛先を歯冠方向45度に向けて歯間部に入れ、脇腹を歯肉に当て圧迫振動する。	
ローリング法		毛先を根尖方向に向け、脇腹を歯肉に当てた後、歯ブラシを回転させながら咬合面方向に移動させる。	

正解 a、b

DH26:P704

[問題 67] エックス線画像(別冊午前 No.23)を別に示す。

白歯部に観察できるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯石
- b 隣接面う蝕
- c 歯根膜腔の拡大
- d 垂直性歯槽骨吸収

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 歯石はすべての白歯の遠心歯頸部に不透過像としてみられる。
- × b 白歯部に実質欠損は観察できない。
- × c 歯根膜腔の拡大は観察できない。
- d 遠心部に垂直性骨吸収像がみられる。

正解 a、d

DH26:P614

No.23



【問題 68】 45歳の男性。歯周治療が終了してメンテナンスのため来院した。歯科医師から歯周検査の指示があり、以下の項目を行うことになった。

- ① BOP
- ② PMTC
- ③ O' Leary の PCR
- ④ PPD

適切な順序はどれか。1つ選べ。

- a ① → ④ → ③ → ②
- b ① → ② → ③ → ④
- c ④ → ① → ③ → ②
- d ④ → ② → ① → ③

▶ 歯科予防処置

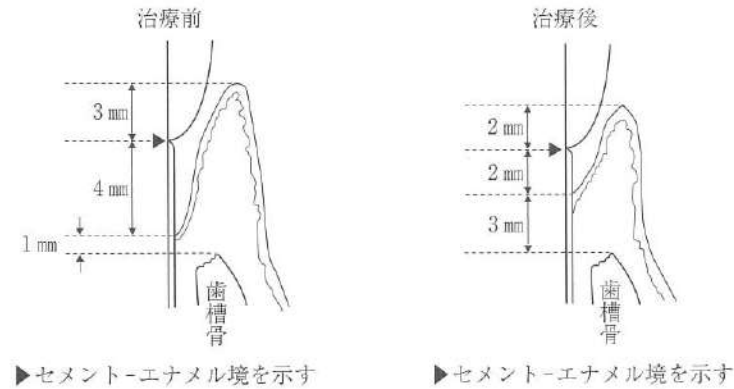
選択肢考察

○ c 歯周治療のメンテナンス時には歯周組織の状況を把握した後、歯垢染色によるプラークコントロールレコード (PCR) を記録する。まず歯周ポケット深さ (PPD) の測定を行い (④)、その際の歯肉出血を記録する (①)。その後、歯垢染色による PCR を記録し (③)、PMTC を行う (②)。PCR を記録するために歯垢染色を行うと、歯周組織の検査が行えなくなる。

正解 c

DH 26:P 644

【問題 69】 歯周基本治療前後の歯周組織と各部の測定値を模式図に示す。



治療前のアタッチメントレベル、治療後のアタッチメントゲイン及び歯周ポケット深さの変化の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

	アタッチメントレベル	アタッチメントゲイン	ポケット深さの変化
a	4mm	3mm	- 1mm
b	4mm	2mm	- 3mm
c	7mm	3mm	- 1mm
d	7mm	2mm	- 3mm

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

○ b 術前のアタッチメントレベルは4mm、術後は2mmなので、 $4 - 2 = 2\text{mm}$ のアタッチメントゲイン、術前のポケットは $3 + 4 = 7\text{mm}$ 、術後のポケットは $2 + 2 = 4\text{mm}$ 、 $7 - 4 = 3\text{mm}$ でポケット深さの変化は3mm減少である。

正解 b

DH 26:P 602

〔問題 70〕 歯科用器具の写真(別冊午前 No.24)を別に示す。

この器具の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 患者の苦痛が少ない。
- b 歯質削除量が少ない。
- c 圧縮空気を利用している。
- d キャビテーション効果を利用している。

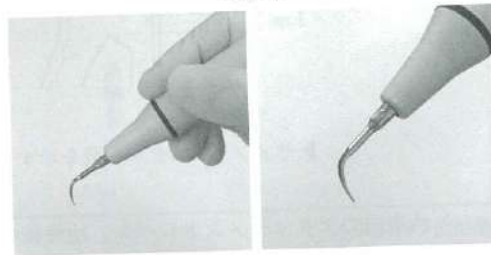
選択肢考察

- × a 写真の器具は超音波スケーラーである。超音波スケーラーは超音波特有の音や振動により、不快感を訴えることがある。
- b 手用スケーラーに比べて歯質削除量が少ないので、歯根面や周囲軟組織の損傷が少ない。
- × c 圧縮空気を利用するのはエアスケーラーである。
- d 超音波スケーラーはキャビテーション効果によって歯石や沈着物を洗浄する。

正解 b、d

▶ 歯科予防処置

No.24



DH26:P636

次の文を読み、〔問題 71〕、〔問題 72〕に答えよ。

44歳の女性。ブラッシング時の出血を主訴として来院した。仕事は夜勤が多く、食事が不規則で、食間にお菓子を食することが多いという。歯周組織検査の結果、プロービングデプスは全顎的に3~4mmであった。上顎左側前歯部を歯周プローブで精査したところ、歯肉縁下に粗造面を触知した。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.25A)と器具の写真(別冊午前 No.25B)を別に示す。

〔問題 71〕 当日の対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 含嗽剤の使用
- b 生活習慣指導
- c ブラッシング指導
- d 歯肉縁下歯石の除去

〔問題 72〕 上顎左側前歯部のスケーリングに用いるのはどれか。1つ選べ。

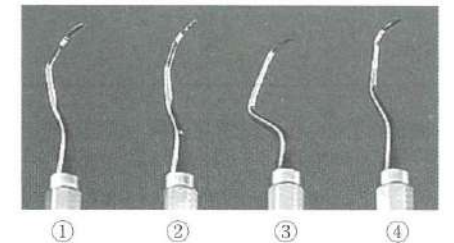
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置

No.25A



B



選択肢考察

〔問題 71〕

- × a 壊死性潰瘍性歯肉炎のように歯肉の炎症が強く、ブラッシング困難な場合は、含嗽剤を処方することがあるが、口腔内写真でそのような所見はない。まず正しいブラッシング方法の指導が必要である。
- b 不規則な食生活は環境関連因子の1つであり、夜勤はストレスになりやすい。できるだけ規則正しい食生活を送るよう指導が必要である。
- c 口腔内写真で歯面にプラーク付着が認められ、歯肉縁下歯石も認められる。プラークは歯周炎の初発因子であり、正しいブラッシング方法を習得する必要がある。
- × d プラークコントロールができないうちに歯肉縁下歯石を除去すると、患者は歯石除去で歯肉炎症が改善すると思いがちである。セルフケアで歯肉炎症をコントロールできることを確認してもらうために、正しいブラッシング方法により歯肉の炎症が改善してくることを患者が理解してから歯肉縁下歯石の除去を行う。

〔問題 72〕

- × a ①はグレーシー型キュレット No.13/14で、大白歯部遠心面用である。
- × b ②はグレーシー型キュレット No.11/12で、大白歯部近心面用である。
- × c ③はグレーシー型キュレット No.9/10で、大白歯部頬・舌側面用である。
- d ④はグレーシー型キュレットの前歯部用スケーラーである。上顎前歯部の歯肉縁下歯石の除去にはグレーシー型キュレットのNo.1/2、3/4を使用する。

正解 〔問題 71〕 b、c
〔問題 72〕 d

DH26:P633

【問題 73】 噴射歯面清掃器で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 一箇所に5秒以上噴射する。
- b エリスリトールは歯肉縁下に使用できる。
- c 骨吸収が進んだ深い歯周ポケットに使用できる。
- d グリシンパウダーはナトリウム摂取制限患者には禁忌である。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 歯面を傷つけないよう一箇所に噴射を集中させず、小さな円を描くように使用する。
- b グリシン、エリスリトールは、歯肉縁下用ハンドピース・ノズルを使用し、歯肉縁下(歯周ポケット内)で用いることができる。ノズルを歯面から2~5mm離し、歯面に対し30~60°の角度で使用。炭酸水素ナトリウムは歯肉縁下では使用せず、歯肉辺縁周辺ではノズルを歯面から2~5mm離し、切縁方向に向けて使用する。
- × c 骨吸収が進んだ深い歯周ポケットや根管、抜歯窩などに直接噴射すると気腫などの偶発症を起こすおそれがある。歯肉縁下で使用する際は、プロービングデプスが9mm以下であることを確認し、1歯あたり5秒以内で使用する。
- × d ナトリウム摂取制限を必要とする患者には炭酸水素ナトリウムは使用しない。グリシンやエリスリトールを使用する。

正解 b

DH26:P642

【問題 74】 う蝕活動性試験と評価内容との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a Swab test ————— 菌数レベル
- b Snyder test ————— 酸産生能
- c Dentocult® SM ————— 唾液分泌速度
- d Dentobuff® Strip ————— 唾液緩衝能

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a Swab test はプラークを検体として酸産生能を評価する。
- b Snyder test は唾液中の細菌、とくに乳酸桿菌による酸産生能を測定する試験であり、病原要因を評価する。
- × c Dentocult® SM は高濃度のスクロースを含む培地で培養し、*S. mutans* 菌数を測定する。
- d Dentobuff® Strip はストリップスを使用して唾液中の緩衝能を評価する。

正解 b、d

DH26:P650

【問題 75】 フッ化物歯面塗布溶液のフッ化物濃度はどれか。1つ選べ。

- a 250 ppm
- b 900 ppm
- c 1,450 ppm
- d 9,000 ppm

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 250 ppm は毎日洗口法に用いられる。
- × b 900 ppm は週1回洗口法に用いられる。
- × c 1,450 ppm は歯磨剤に用いられる。
- d 9,000 ppm はフッ化物歯面塗布に用いられる。フッ化物はう蝕予防の目的で、上水道フッ化物調整(0.8 ppm)、フッ化物洗口(250~900 ppm)、フッ化物配合歯磨剤(1,500 ppm以下)、フッ化物歯面塗布(9,000 ppm)、フッ化物パーニッシュ(22,500 ppm)などの方法で応用される。

正解 d

DH26:P663

【問題 76】 13歳の女子。下顎前歯部のブラッシング時の出血を主訴として来院した。プロービング深さは全周3mm以下であった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.26)を別に示す。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a 咬合調整
- b 抗菌薬投与
- c フッ化物歯面塗布
- d デンタルフロスの指導

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 歯肉退縮や切端部の過度な咬耗等も認められないため咬合調整は行わない。
- × b 主訴はブラッシング時の出血であり、膿瘍の形成もみられないため抗菌薬投与は行わない。
- c 口腔内写真から辺縁歯肉および歯間乳頭に発赤があり、プロービング深さは全周3mm以下である。PMTCを行い歯面を滑沢にし、プラークを除去し、フッ化物歯面塗布によるう蝕予防を行う。
- d プラークコントロール不良によって歯肉に炎症を生じていることから、モチベーション形成後、ブラッシング指導を行い、デンタルフロスの使用を指導する必要がある。

No.26



正解 c、d

DH26:P666

[問題 77] 幼稚園の年長児を対象にフッ化物洗口を実施することになった。保護者への説明で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 園でのフッ化物洗口は月に一回行います。
- b 萌出直後の永久歯はう蝕予防効果が高いです。
- c 洗口実施後30分は飲食やうがいを控えてください。
- d 洗口液を1回でも飲み込んだら至急連絡してください。

▶ 歯科予防処置

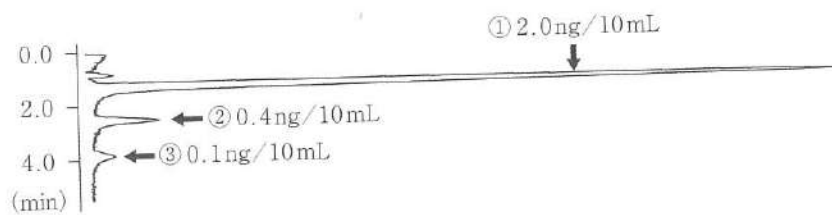
選択肢考察

- × a フッ化物洗口は頻度により、**毎日法と週1回法**に分けられる。
- b 萌出直後の永久歯への効果は高い。
- c 有効性を高めるため、洗口後**30分**は飲食やうがいを控える。また、洗口に先立って歯磨きをすることが勧められている。
- × d 誤って1回分を飲み込んでも問題ないことを説明することは、保護者を安心させるためにも必要である。

正解 b, c

DH26:P676

[問題 78] 歯周炎を認めない真性口臭症患者のガスクロマトグラフィー検査結果を図に示す。



検出された物質①～③の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- | | | | |
|---|-----------|-----------|------------|
| | ① | ② | ③ |
| a | 硫化水素 | メチルメルカプタン | ジメチルサルファイド |
| b | 硫化水素 | メチルメルカプタン | アセトン |
| c | メチルメルカプタン | 硫化水素 | ジメチルサルファイド |
| d | メチルメルカプタン | 硫化水素 | アセトン |

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 口臭の主な原因物質は、含硫アミノ酸から生成される**揮発性硫黄化合物(VSC)**である。VSCは、嫌気性菌が唾液や血液、剝離上皮細胞、食物残渣中の含硫アミノ酸を分解、腐敗させることで産生される。VSCには**硫化水素、メチルメルカプタン、ジメチルサルファイド**があり、硫化水素は生理的口臭で高濃度に検出される。また、メチルメルカプタンやジメチルサルファイドは歯周病で増加するが、特にメチルメルカプタンの割合が高くなる。アセトン、ジメチルアミンは全身疾患由来の病的口臭に含まれる。一般的にアセトンは**糖尿病**に関連し、ジメチルアミンは腎不全に関連する。

正解 a

DH26:P712

[問題 79] 80歳の女性。1人で歯科医院に徒歩で来院したが、介護支援専門員からの情報提供によると食事の準備が困難になっているという。

- この生活動作に関する情報から、歯科診療の留意点で適切なのはどれか。2つ選べ。
- a 服薬管理
 - b 口腔衛生指導
 - c 歯科医院内の歩行
 - d 歯科ユニットでの座位保持

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 服薬管理は、手段的日常生活動作(IADL)であるため留意する。患者は1人で歩いてきたが食事支援が困難である点において手段的日常生活動作(IADL)が低下していると考えられるので、この点を留意する。
- b 高齢者に対する口腔衛生指導は必ず留意すべき点である。
- × c 1人で歯科医院に徒歩で来院したので歩行については問題ないと考えられる。
- × d 1人で歯科医院に徒歩で来院したので座位保持については問題ないと考えられる。

正解 a, b

[問題 80] 59歳の男性。21歳から現在まで1日20本の喫煙をしている。ただし45歳から49歳まで禁煙をし、その期間は喫煙をしていない。喫煙指数はどれか。1つ選べ。

- a 480
- b 560
- c 680
- d 760

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- c 一日に吸うたばこの本数と喫煙年数をかけた指数を「**喫煙指数(プリンクマン指数)**」という。設問の男性は59歳で21歳から現在まで1日20本の喫煙をしているので、 $20 \text{本} \times 39 \text{年} = 780$ となるが、45歳から49歳までの5年間禁煙をしている期間は喫煙をしていないため $780 - (20 \text{本} \times 5 \text{年} = 100) = 680$ となる。喫煙指数が400を超えると肺がんを発症する危険性が高くなり、600以上は肺がんの高度危険群といわれている。

正解 c

DH26:P706

【問題 81】 災害時の歯科衛生士による支援で誤っているのはどれか。1つ選べ。

- a 活動は避難所が閉鎖される復興期から開始される。
- b 災害時の誤嚥性肺炎は災害関連死の大きな要因である。
- c 高齢者の廃用症候群や口腔機能低下を予防する支援を行う。
- d JDAT と連携して避難所での口腔衛生管理に従事することがある。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 歯科衛生士の活動は復興期からではなく、発災後 72 時間以内の初動対応が重要である。
- b 誤嚥性肺炎などの呼吸器感染症は災害関連死の主要因であり、口腔ケア支援は重要である。
- c 避難所生活での高齢者の廃用や口腔機能低下が起こりやすく、その予防は歯科衛生士の役割である。
- d 歯科衛生士は JDAT (日本災害歯科支援チーム) と連携し、避難所での口腔衛生管理に従事することがある。

正解 a

DH 26:P 242

【問題 82】 国際生活機能分類(ICF)で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 障害を異常の面で捉えている。
- b 心身の構造の異常を能力低下という。
- c 障害から健康に至る全般の生活状態を対象とする。
- d 障害によって咀嚼できないことを参加の制約という。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a ICF は障害を生活機能の制限や制約として捉えており、異常として捉えてはいない。
- × b 心身の構造異常は構造障害という。
- c ICF は障害と健康とを区別して分類していないため、生活全般の状態を対象とする。
- × d 障害によって咀嚼できないのは機能障害である。

正解 c

DH 26:P 519

【問題 83】 88 歳の男性。介護保険施設に入所中であり、認知機能の低下がみられる。摂食嚥下機能は低下しているが、日中は車椅子で過ごすことが多く、食事時やトイレ移動時に部分的な介助を要する。

この患者への指導で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 原則として自力で口腔清掃をする。
- b 食事介助時、常に全介助を前提とする。
- c 口腔清掃を拒否する場合、無理強いせず口腔内観察のみに留める。
- d 部分的に他者の介助を要するため、車椅子上や座位での口腔ケアを試みる。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

患者は「日中は車椅子で過ごすことが多く」「食事時やトイレ移動時に部分的な介助を要する」という記述から、日常生活自立度(寝たきり度)判定基準のランク B (屋内での生活に部分的介助を要し、日中もベッドから離れることがある)に該当する。

- × a 自力で口腔清掃が可能なのは、介助をほとんど要さないランク A である。この患者は介助を要するため、自立は困難である。
- × b 全介助を要するのはランク C である。また、摂食嚥下機能が低下していても、リハビリテーションとして間接訓練が検討される。
- × c 拒否があっても、体位や声かけなどを工夫し、可能な範囲で清掃を試みるのが優先される。
- d ランク B の患者は部分介助が必要である。日中は離床しているため、安全で確実にケアを行うため、誤嚥防止の観点からも車椅子上で座位でのケアが適切である。

正解 d

DH 26:P 507

【問題 84】 89 歳の男性。食事が減ったことを主訴として訪問歯科診療の依頼があった。肺炎の既往がある。訪問時に行った検査の写真(別冊午前 No.27)を別に示す。

この検査で推定できるのはどれか。2つ選べ。

- a 体重
- b 筋肉量
- c 骨密度
- d 水分量

▶ 歯科保健指導

No. 27



選択肢考察

- a サルコペニアの診断に身体形態測定があり、下腿周径を測ることで体重を推測する。患者の下肢の状態より、患者はサルコペニアが疑われる。サルコペニアは進行性および全身性の骨格筋量および骨格筋力の低下を特徴とし、筋肉量の減少、筋力の低下、身体機能の低下により診断される。
- b 下腿周径を測ることで、細い場合は筋肉量の低下が疑われる。
- × c 下腿周径から骨密度までは推定できない。
- × d 下腿周径から水分量は推定できない。

正解 a, b

DH 26:P 495

【問題 85】 Down 症候群の患者の口腔衛生管理の留意点はどれか。2つ選べ。

- a 軽度な歯列不正
- b 白血球機能の低下
- c 高緊張状態での口唇閉鎖不全
- d 泡立ちの少ない歯磨剤の使用

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 小顎症や歯の萌出異常などにより、重度の歯列不正が多くみられる。
- b 白血球機能の低下による免疫異常のため、プラーク量にかかわらず早期から重度の歯周疾患を発症しやすい。
- × c 筋緊張は低く、口唇閉鎖不全や舌突出により口腔乾燥が起こりやすい。
- d 嚥下反射の低下や不随意運動により、泡立ちが多い歯磨剤は誤嚥のリスクとなる。泡立ちが少なく、少量（あるいはジェルタイプ）の歯磨剤の使用を推奨する。

正解 b、d

DH 26:P523

【問題 86】 妊娠期の保健指導で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 妊娠初期はビタミン A を積極的に摂取する。
- b 妊娠後期は肥満予防のため摂取カロリーを減らす。
- c 妊娠悪阻がある場合はヘッドが小さい歯ブラシを使用する。
- d 妊娠関連歯肉炎を予防するためプラークコントロールを十分に行う。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 妊娠中のビタミン A の過剰摂取による胎児奇形のリスクを高める。特に妊娠 3 か月以内はビタミン A を多く含有する食品やサプリメントの過剰摂取に注意する必要がある。
- × b 妊娠中は胎児の発育や母体の健康維持のため、適度なエネルギーを付加する必要がある。妊娠初期では 1 日あたり +50kcal、妊娠中期では +250kcal、妊娠後期には +450kcal を目安とする。
- c 妊娠悪阻（つわり）で歯ブラシを入れることが困難な場合は、ヘッドが小さい歯ブラシを使用する。
- d 妊娠中に発症する妊娠関連歯肉炎には女性ホルモンの影響が大きい。主因はプラークの蓄積であるため、十分なプラークコントロールが必要である。

正解 c、d

DH 26:P739

【問題 87】 60歳の女性。3か月前に乳癌を発症し、化学療法中である。患者は口腔粘膜炎を発症し、疼痛を訴えている。歯科医師から口腔衛生管理の実施を指示された。口腔衛生管理を行うにあたり考慮するのはどれか。2つ選べ。

- a 保湿剤を使用する。
- b 疼痛管理にリドカインを用いる。
- c 痛みが強い場合は口腔ケアを中止する。
- d 感染予防のためアルコール含有含嗽剤を使用する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 口腔乾燥があると口腔粘膜炎が悪化するため保湿剤を用いた粘膜保護が重要である。
- b 痛みが強く口腔ケアに苦痛を伴う場合、リドカイン含有含嗽剤で含嗽した後や、粘膜塗布による表面麻酔を併用して、口腔ケアを実施する。
- × c 口腔粘膜炎の重症化を防ぐため、化学療法実施中の口腔ケアは重要である。歯肉出血や粘膜損傷に留意し柔らかいブラシや綿棒、スポンジブラシを使用する。
- × d アルコールは粘膜刺激が強く、粘膜炎を悪化させるため使用しない。

正解 a、b

DH 26:P778

【問題 88】 74歳の男性。食事摂取の困難を主訴として来院した。既往歴として脳梗塞がある。嚥下造影検査を行ったところ、喉頭閉鎖不良による水分誤嚥を認めた。

適切な対応はどれか。2つ選べ。

- a プッシング訓練
- b アイスマッサージ
- c 息こらえ嚥下訓練
- d 舌接触補助床製作

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 摂食嚥下障害の精密検査である VF（嚥下造影）検査の結果、喉頭閉鎖不良による水分誤嚥を認めたことから、患者は咽頭期に障害がみられることが考えられる。プッシング訓練は押す、引くなどの上肢に力を入れる運動を行い、反射的に息こらえが起こることを利用して声門閉鎖機能を改善させる間接訓練である。
- × b アイスマッサージは嚥下反射を誘発し、嚥下機能の改善を図る間接訓練である。
- c 息こらえ嚥下は嚥下中の誤嚥を防ぎ、声門上に侵入した飲食物を嚙出す直接訓練である。声門閉鎖が遅い患者が対象となる。
- × d 舌接触補助床の製作は、主に口腔期の障害の改善に用いられる。

正解 a、c

DH 26:P562

【問題 89】 肥満症を伴う歯周病患者への食事指導とセルフケア指導で伝える内容はどれか。2つ選べ。

- a 魚油の摂取を減らすよう指導する。
- b インスリン抵抗性の亢進により炎症反応が強まる。
- c 食物繊維の摂取で咀嚼回数と唾液分泌が増加する。
- d 歯周病の炎症で血糖値コントロールは不可能である。

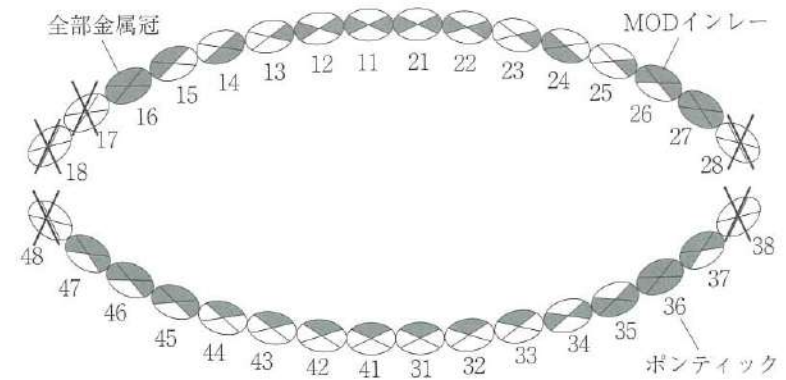
▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 魚油に含まれる EPA や DHA は、抗炎症作用を持つため、歯周病の炎症を抑制する観点から、適度な摂取が推奨される。
- b 肥満症は、インスリン抵抗性を亢進させ、全身の慢性炎症を引き起こす。これにより、歯周組織の炎症反応が強まり、歯周病が重症化しやすい。
- c 食物繊維の摂取は、咀嚼回数の増加と、唾液の分泌を促進をもたらし、口腔自浄作用を高める観点からも歯科衛生指導として適切である。
- × b 歯周病は血糖値コントロールを困難にさせるが、適切な食事・運動・薬物療法を行えば、血糖値コントロールを良好に保つことは可能である。

正解 b, c

【問題 90】 55歳の女性。ブラッシング時の出血を主訴として来院した。初診時に歯垢染色を行った結果を示す。



O'Leary の PCR はどれか。1つ選べ。

- a 47%
- b 50%
- c 52%
- d 55%

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- b O'Leary の PCR は口腔衛生状態を評価する指数で、歯面を4分割し歯頸部のプラークの有無を評価する。第三大臼歯を含む全ての現在歯面を対象とし、全部金属冠やインレー修復されている歯も対象となるが、ブリッジのポンティックは対象外である。

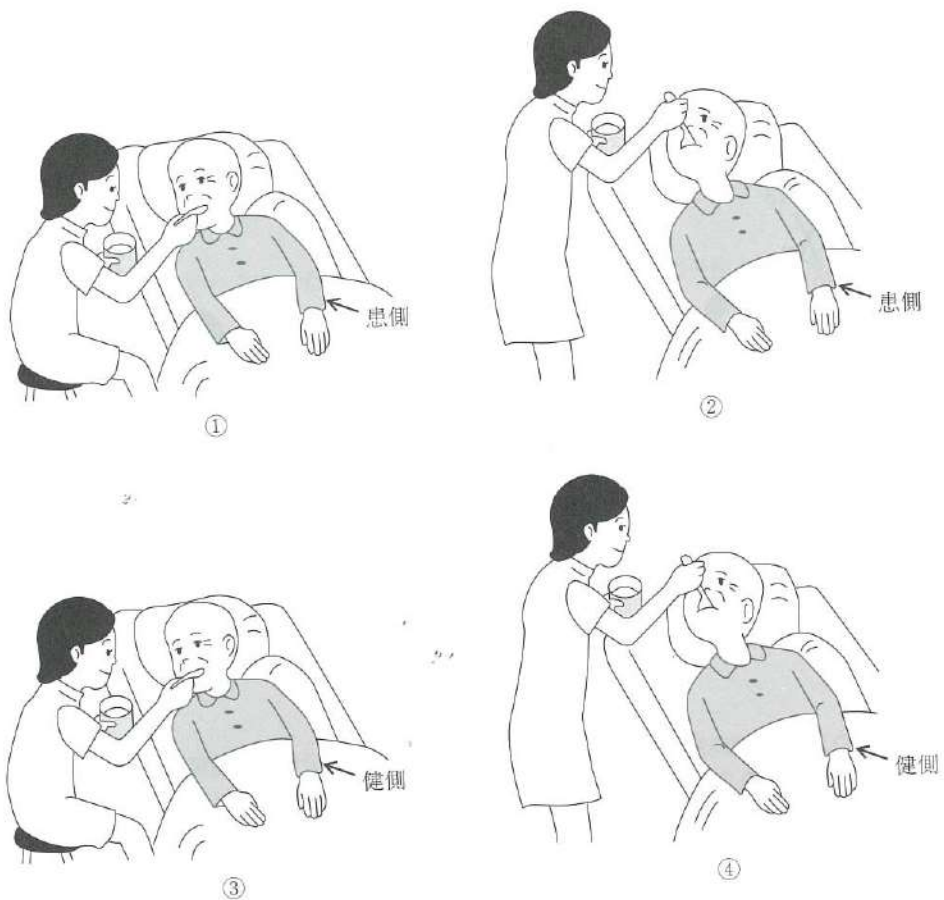
〈計算式〉

$$\text{PCR} = \frac{\text{プラークが付着している歯頸部歯面数}}{\text{被検歯面数}} \times 100 (\%)$$

$$\Rightarrow 52 \div 104 (26 \text{本} \times 4 \text{歯面}) \times 100 = 50\%$$

正解 b

[問題 91] 片麻痺を有する患者への食事介助の模式図を示す。



適切な介助姿勢はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 適切な介助の姿勢は、介助者の位置を低く視線を合わせるようにする。下唇の上にスプーンを置き、上唇が降りてくるのを待つ。捕食を確認したらスプーンをまっすぐに引き抜く。麻痺がある場合には、健側を下にすると咽頭通過がしやすくなる。よって①が適切な食事介助姿勢である。
- × b ②は介助者の位置が高すぎ、患者は上を向いてしまうため誤嚥の危険性がある。
- × c ③は患側が下になっており不適切である。
- × d ④は患側が下になっていることや、介助者の位置が高いなど不適切である。

正解 a

[問題 92] 消毒薬の適用を表に示す。

	消毒の対象		
	手指皮膚	粘膜	器具
①	×	×	○
②	○	○	×
③	○	×	○
④	○	○	○

○適用可
×適用不可

①～④はグルタラール、ポビドンヨード、消毒用エタノール、塩化ベンザルコニウムいずれかが該当する。

HIV感染の恐れがある患者に使用した抜歯器具に有効な消毒薬どれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

高水準消毒薬のグルタラールはすべての微生物に対して有効かつ、器具への使用が可能であるが人体には使用しない。

- a ①はグルタラールである。グルタラールは人体には使用できず、器具にのみ適用される。
- × b ②はポビドンヨードである。手術部位の皮膚や粘膜の消毒に使用できるが、器具の消毒には使用できない。
- × c ③は消毒用エタノールである。濃度が高いため、粘膜には適用できない。HIVには無効である。
- × d ④は塩化ベンザルコニウムである。手指、皮膚、粘膜、器具の消毒に使用できる。HIVには無効である。

正解 a

DH 26:P 799

【問題 93】 30歳の女性。上顎右側犬歯の歯冠崩壊を主訴として来院した。オールセラミッククラウンで修復することになった。処置中の口腔内写真(別冊午前 No.28 A)と補綴装置の写真(別冊午前 No.28 B)を別に示す。

装着時に補綴装置に行う処理はどれか。2つ選べ。

- a ボンディング処理
- b サンドブラスト処理
- c セルフエッチング処理
- d シランカップリング処理

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

写真Bはレジンコアである。残存する歯冠が崩壊していることから、装着の際はより強固な接着力を有する接着性レジンセメントを使用する。レジンコアには機械的嵌合力を増すためにサンドブラスト処理を行い、化学的接着力を高めるためにシランカップリング処理を行う。

- × a ボンディング処理は、歯質の欠損に対して直接レジン修復を行う時に窩洞に行う処理である。
- b、○ d レジンコアに対してサンドブラスト処理を行った後に、シランカップリング処理を行う。
- × c セルフエッチング処理は歯面に対して行う。

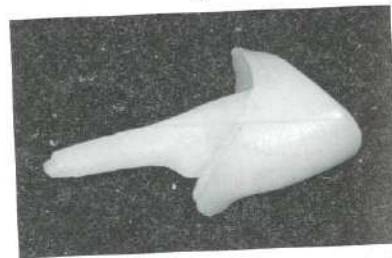
正解 b、d

DH26:P821

No.28 A



B



【問題 94】 仮封材で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 水硬性仮封材は硬化に30分程度かかる。
- b カルボン酸系セメントは歯質接着性がない。
- c テンポラリーストッピングは辺縁封鎖性が良好である。
- d サンダラックパーニッシュは根管からの排膿時に用いる。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 水硬性仮封材は水分や唾液に接触すると硬化する。硬化するまで30分程度かかるため、硬化前に力をかけないよう患者に説明する。
- × b カルボン酸系セメントは歯質接着性を有し、仮着にも用いられる。
- × c テンポラリーストッピングは熱可塑性材料で粘着性を有するが、歯質接着性はなく辺縁封鎖性は不良である。
- d サンダラックパーニッシュは根管治療時の穿通仮封に用いる。

正解 a、d

DH26:P840

【問題 95】 31歳の男性。下顎左側第一小臼歯の冷水痛を主訴として来院した。検査の結果、罹患歯質除去後にコンポジットレジン修復を行うことになった。初診時の口腔内写真(別冊午前 No.29 A)と器具の写真(別冊午前 No.29 B)を別に示す。

最初に用いるのはどれか。1つ選べ。

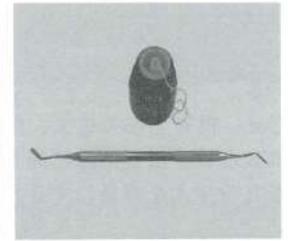
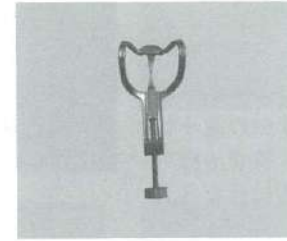
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.29 A

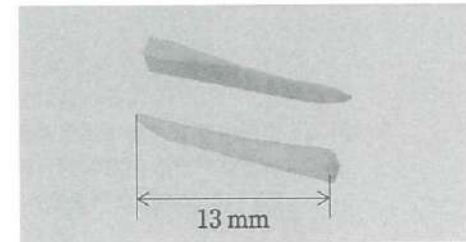


B



①

②



③

④

選択肢考察

口腔内写真より、窩による実質欠損は歯肉縁下に拡がっているため、歯肉圧排後に罹患歯質を除去し窩洞形成を行う。

- × a ①はアイボリーのセパレーターである。前歯部隣接面検査に用いる。
- b ②は歯肉圧排糸とジンパッカーである。歯肉縁下の窩洞形成時の即時歯肉圧排に用いる。
- × c ③はウェッジである。プレウェッジテクニックや、歯間分離や隔壁の固定に用いる。
- × d ④はサービカルマトリックスである。サービカルマトリックスはV級窩洞の直接修復(成形修復)時に用いる。

正解 b

DH26:P832

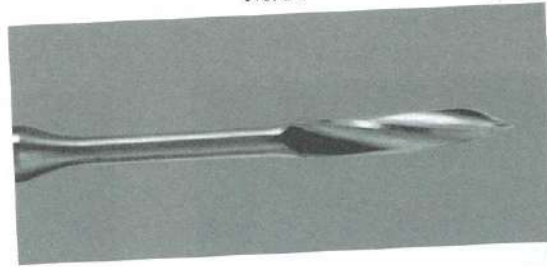
【問題 96】 根管治療に使用する器具の写真(別冊午前 No.30)を別に示す。

この器具の用途はどれか。2つ選べ。

- a 髄室開拓
- b 根管長測定
- c 根管上部の拡大
- d 根管口の漏斗状拡大

▶ 歯科診療補助

No.30



選択肢考察

写真はピーソーリーマーである。

- × a 髄室開拓にはラウンドバーを低速回転で用いる。
- × b 根管長測定にはリーマーやファイルを用いる。
- c、○ d 根管上部の拡大、根管口の漏斗状拡大とは、根管治療に際し、根管治療用器具の挿入を容易にするために行なうものである。ピーソーリーマーやゲーツグリデンドリルを用いる。

正解 c、d

DH 26:P 834

【問題 97】 50歳の男性。下顎右側白歯部の出血を主訴として来院した。検査の結果、下顎右側第一大臼歯近心部に7mmの歯周ポケットと垂直性骨吸収が認められ、歯周組織再生療法を行うことになった。処置に際し準備した器具の写真(別冊午前 No.31)を別に示す。

GTR膜の把持に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.31



①



②



③



④

選択肢考察

- × a ①は持針器で、歯肉弁の縫合に用いる。
- × b ②は有鉤ピンセットで、歯肉切除時の歯肉片の把持などに用いる。
- × c ③は外科用ピンセットで、縫合時の歯肉の把持などに用いる。
- d ④はコーンのプライヤーで、GTR膜の把持に用いる。

正解 d

DH 26:P 363

【問題 98】 50歳の女性。上顎前歯部の審美不良を主訴として来院した。検査の結果、オールセラミッククラウンを製作することになった。治療過程のある操作の写真(別冊午前 No.32)を別に示す。この操作の前に行うのはどれか。2つ選べ。

- a 既製冠の咬合調整
- b 既製冠マージン部の調整
- c 支台歯へのワセリン塗布
- d 既製冠内面へのワセリン塗布

▶ 歯科診療補助

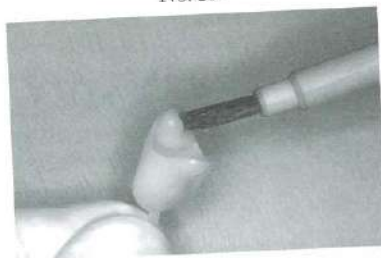
選択肢考察

- × a 筆積み法で常温重合レジンを盛り上げ既製冠を支台歯に圧接し、硬化後、余剰部をトリミングし、その後に咬合調整する。
- b 支台歯に適した既製冠を選択し、マージン部を金冠ハサミで切断し、技工用カーバイドバーで切削・調整する。
- c 支台歯へワセリンを塗布しておくことで、常温重合レジンが支台歯に接着することを防止する。
- × d 既製冠内面へワセリンを塗布すると、常温重合レジンが既製冠に接着できなくなる。

正解 b、c

DH 26:P 851

No. 32



【問題 99】 印象採得の種類を表(別冊午前 No.33A)と器具の写真(別冊午前 No.33B)を別に示す。

④の印象採得に際し準備するのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No. 33A

目的別	①印象	研究用模型、診断用模型を得るための印象採得方法。
	②印象	作業用模型を得るための印象採得方法。最終印象や本印象がこれに該当する。
方法別	③印象	できるだけ圧をかけず、口腔内の静止状態の印象を採得する。
	④印象	生理的な機能を営んでいるときの口腔内を印象採得する方法。

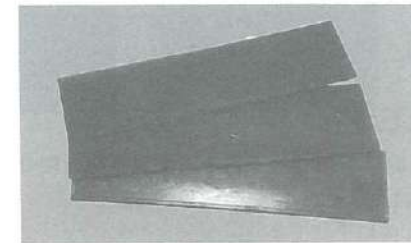
B



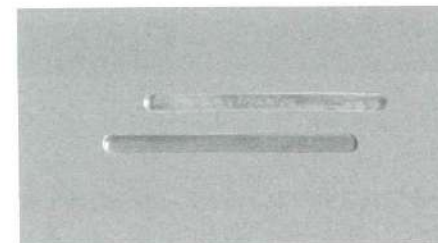
①



②



③



④

選択肢考察

④の印象は機能印象である。生理的な機能を営んでいるときの口腔内を印象採得する方法であり、加圧印象、辺縁形成、筋圧形成ともいう。

- a、○ d 機能印象採得の際、個人トレーを用いて①のアルコールトーチで軟化させた④の棒状コンパウンドを個人トレーの辺縁に付着させ筋圧形成を行う。
- × b ②は無歯顎用既製トレーである。研究用模型製作の際、概形印象採得に使用する。
- × c ③はパラフィンワックスである。咬合採得時に咬合床に盛るために使用する。

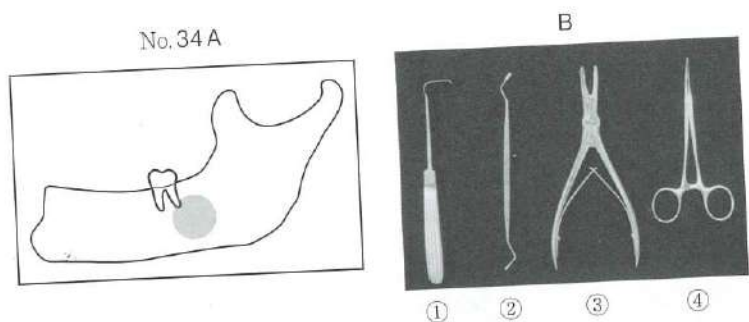
正解 a、d

DH 26:P 848

[問題 100] 下顎骨に発生する嚢胞と歯の位置の図(別冊午前 No.34A)と嚢胞摘出に用いる器具の写真(別冊午前 No.34B)を別に示す。灰色部は嚢胞を示す。粘膜骨膜弁の形成に使用するのどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助



選択肢考察

図の嚢胞は歯根嚢胞である。歯根嚢胞は顎骨内に生じる炎症性嚢胞で、慢性根尖性歯周炎(慢性歯槽膿瘍)が原因となる。

- a ① は扁平鉤である。剝離した粘膜を切開部から離しておく際に用いる。
- × b ② は鋭匙である。肉芽組織の除去に用いる。
- × c ③ は破骨鉗子である。骨鋭縁の除去に用いる。
- × d ④ は止血鉗子である。血管をはさんで止血する際に用いる。

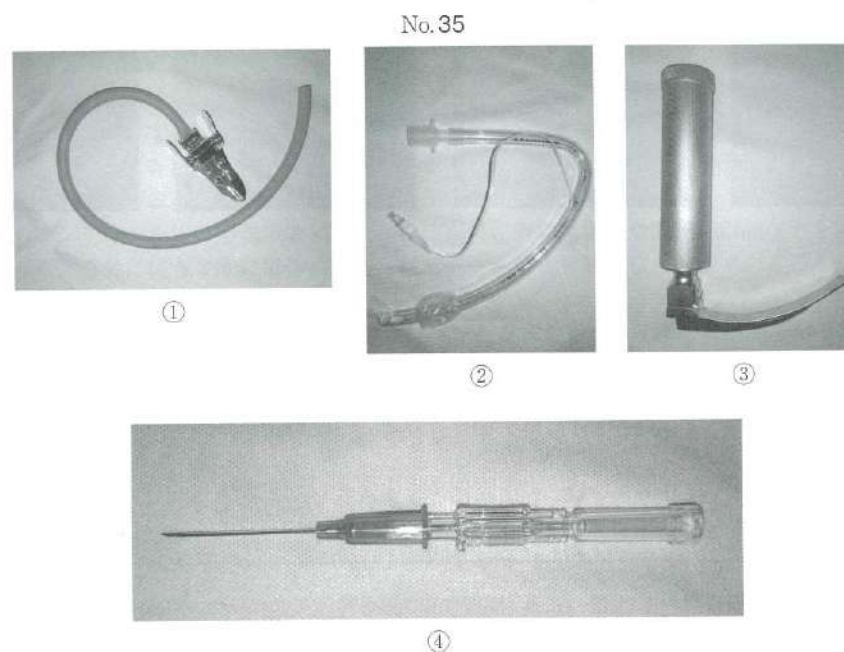
正解 a

DH26:P861

[問題 101] 22歳の男性。極度の歯科治療恐怖症のため、プロポフォールによる静脈内鎮静下で下顎水平埋伏智歯の抜去を行うことになった。器具の写真(別冊午前 No.35)を別に示す。準備するのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助



選択肢考察

静脈内鎮静法とは、患者の意識を消失させることなく、治療に対する恐怖心やストレスを軽減させた上で歯科治療を行う。全身麻酔とは異なり、患者の意識や反射は残っている。

- a、○ d ① は駆血帯、④ は留置針である。どちらも静脈路を確保する際に使用する。
- × b、× c ② は(経口挿管用の)気管チューブ、③ は喉頭鏡である。気管挿管の際に使用するが、静脈内鎮静法は意識を保ったまま行うため使用しない。

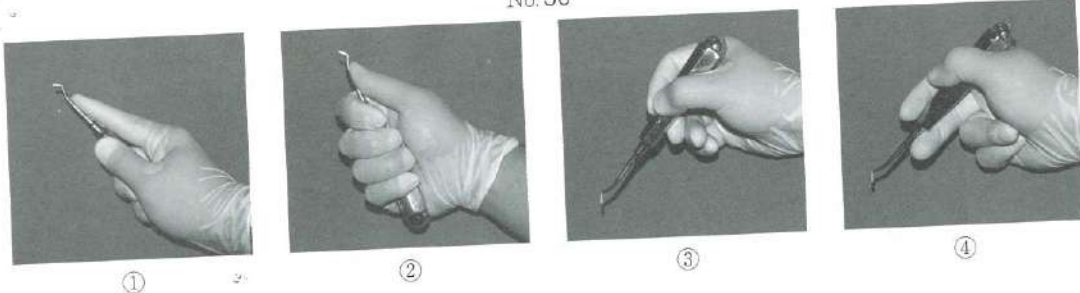
正解 a、d

【問題 102】 大白歯バンドの装着に使用する器具を把持した写真(別冊午前 No.36)を別に示す。適切な持ち方はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.36



選択肢考察

把持している器具はバンドプッシャーである。

- a 人差し指を先端に移行する彎曲部にあてて他の4本の指でしっかり把持する。

DH 26:P902

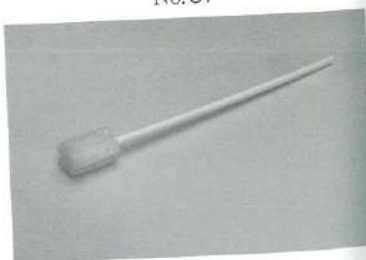
正解 a

【問題 103】 口腔清掃に用いる器具の写真(別冊午前 No.37)を別に示す。適切な使用法はどれか。2つ選べ。

- a 乾いた状態で用いる。
- b 研磨材をスポンジに馴染ませる。
- c 白歯部から前歯部方向に移動させる。
- d ブラシに付着した汚れはガーゼで拭き取る。

▶ 歯科診療補助

No.37



DH 26:P791

選択肢考察

- × a 写真はスポンジブラシである。一度湿らせて余剰の水分をガーゼで拭き取ってから使用する。
- × b 保湿剤をスポンジにしみ込ませてから使用する。研磨剤は用いない。
- c 白歯部から前歯部方向に移動させ、汚れを咽頭部に落とさないように操作する。
- d ブラシに付着した汚れはガーゼで拭き取る。

正解 c、d

【問題 104】 小児患者と対応法の組合せで適切なのはどれか。1つ選べ。

- a ダウン症候群の1歳児 —— モデリング法
- b 脳性麻痺の3歳児 —— フラッディング法
- c 聴覚障害を有する5歳児 —— ボイスコントロール法
- d 不安の強い健常な7歳児 —— 亜酸化窒素吸入鎮静法

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a モデリング法は手本となる他者(モデル)の行動を観察し、学習させることによって行動の修正を促す方法である。ダウン症候群の1歳児では精神発達、言語発達ともに未熟であるため、モデリング法での対応は困難である。
- × b フラッディング法は系統的脱感作とは異なり、段階を踏まずに強い不安・恐怖を生じさせる刺激にさらすことによって、不安や恐怖を減弱させる方法である。脳性麻痺患者の場合、歯科治療時の緊張や拒否が強いと、体動が大きくなる可能性がある。強い刺激を与えるフラッディング法は対応法として不適切である。
- × c ボイスコントロール法は小児患者に話しかける際に、声の大きさや強弱、口調などを調節することによって、術者に従うように働きかける方法である。聴覚を利用した方法であることから、聴覚障害を有する5歳児には対応できない。
- d 亜酸化窒素(笑気)吸入鎮静法は歯科治療に対して不安・恐怖が強い患児などが対象であり、不安の強い健常な7歳児への対応としても適切である。

正解 d

DH 26:P 888

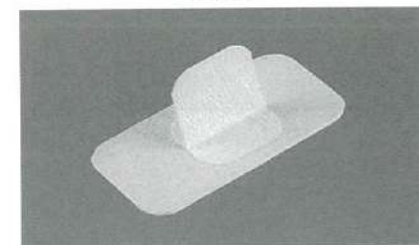
【問題 105】 歯科医師からエックス線撮影の準備を指示された。撮影に必要な器具の写真(別冊午前 No.38)を別に示す。

この撮影の対象となるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯石
- b 唾石
- c 根尖病変
- d 隣接面う蝕

▶ 歯科診療補助

No.38



選択肢考察

写真はバイトフラップをつけたフィルムで「咬翼法による撮影」である。

- a 咬翼法では歯間隣接面直下の歯石の確認ができる。
- × b 唾石は唾液腺に生じるため、咬翼法では撮影できない。顎下腺唾液は咬合法で確認できる。
- × c 根尖部は咬翼法の撮影範囲ではないため、根尖病変の確認はできない。根尖病変は二等分法で撮影する。
- d 隣接面う蝕は咬翼法の対象である。

正解 a、d

DH 26:P 265

【問題 106】 生活断髄法の模式図を示す。



- ①の歯髄切断面に覆髄薬を貼付後に新生されるものはどれか。1つ選べ。
- a 象牙粒
 - b 象牙質橋
 - c 第3象牙質
 - d 有細胞セメント質

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

生活断髄法は、歯髄炎や歯髄損傷が冠部歯髄のみに限局している場合に、冠部歯髄を根管口部で切断除去し、切断面に硬組織（デンティンブリッジ）の形成を促すことにより、根部歯髄を健康な状態で保存することを目的に行う方法である。

- × a 象牙粒は、歯髄腔内に出現する象牙質様の石灰化物である。
- b 象牙質橋（デンティンブリッジ）は、直接覆髄法や生活断髄法で見られるもので、露髄面（断髄面）直下の表層歯髄に形成される硬組織被蓋である。
- × c 第3象牙質は、う蝕やう蝕治療などによる刺激を受けた際に、象牙芽細胞が形成する象牙質である。間接覆髄法では、覆髄面直下に象牙芽細胞が残存しているため、第3象牙質が形成される。
- × d 有細胞セメント質は根尖部セメント質に認められる。

DH 26:P 489

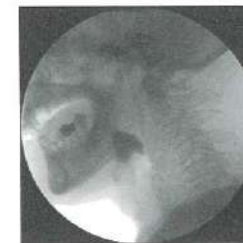
正解 b

【問題 107】 エックス線画像（別冊午前 No.39）を別に示す。

この検査法で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 造影剤が必要である。
- b 訪問診療で用いられる。
- c 食物の咀嚼や送り込みが観察できる。
- d 撮影にファイバースコープを用いる。

▶ 歯科診療補助
No.39



選択肢考察

写真は嚥下造影検査（VF）の画像である。

- a、○ c 造影剤を含んだ検査食を摂食してもらい、口腔から胃までの嚥下の一連の過程を観察する。
- × b VFは造影設備がある施設でのみ行われ、エックス線を使用するため検査室のみで実施される。
- × d VFの撮影にはエックス線透視装置を用いる。鼻咽頭喉頭ファイバースコープを用いるのは、嚥下内視鏡検査（VE）である。

正解 a, c

DH 26:P 560

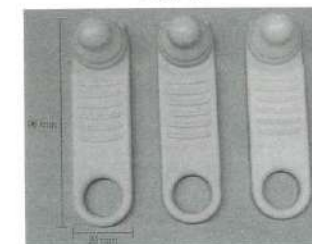
【問題 108】 81歳の女性。脳血管疾患の後遺症で舌の運動障害が生じたため、間接訓練を行い摂食嚥下機能の改善を図ることになった。訓練に使用した器具の写真（別冊午前 No.40）を別に示す。

この訓練によるアプローチはどれか。1つ選べ。

- a 治療的アプローチ
- b 代償的アプローチ
- c 経済的アプローチ
- d 心理的アプローチ

▶ 歯科診療補助

No.40



選択肢考察

写真の器具は抵抗訓練器具（ベコばんだ®）である。舌の運動障害には、抵抗訓練器具や舌圧子を用いて、舌圧の向上のための筋力増強訓練を行う。

- a 脳血管疾患の後遺症で舌の運動障害が生じた場合の舌訓練は、摂食嚥下障害に対する治療的アプローチである。
- × b 代償的アプローチは心身機能・構造の障害が残っても、食べる能力や栄養摂取する能力を獲得しようとする方法である。舌の運動障害に対して舌接触補助床（PAP）を用いる方法などがあげられる。
- × c 舌訓練を行い摂食嚥下機能の改善を図ることは経済的アプローチではない。
- × d 心理的アプローチは患者を心理的にサポートするアプローチである。

正解 a

DH 26:P 563

【問題 109】 摂食・嚥下障害のある要介護者への食事介助で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 食事はなるべくファウラー位でとらせる。
- b 食塊としてまとまりやすい食材を選択する。
- c 片麻痺の場合は麻痺側からスプーンを近づける。
- d 不随意運動がある場合は頭部の位置を固定する。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a 仰臥位では誤嚥の危険性が高く、**座位**や**ファウラー位**(上半身を約45度起こした体位)でとらせる。
- b 食塊としてまとまりやすい食材を選択することで、誤嚥や窒息、低栄養を防止する。
- × c 麻痺側からの摂食では食物の取りこぼしが多いため、**健側**から近づける。
- × d 不随意運動がある場合は誤嚥の危険性が高く、**経鼻経管栄養**や**胃瘻**から栄養摂取させる。このほか、無理に頭部の位置を固定すると他の部位に不随意運動が生じるため、固定は行わない。

正解 a、b

【問題 110】 摂食嚥下障害患者の間接訓練の写真(別冊午前 No.41)を別に示す。

- この間接訓練で正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 上下の歯は咬合させる。
 - b 3秒に1往復程度の速さで行う。
 - c 出てきた唾液は最後まで嚥下しないよう指示する。
 - d 前歯部から臼歯部に向かって歯頸部歯肉をこする。

▶ 歯科診療補助

No.41

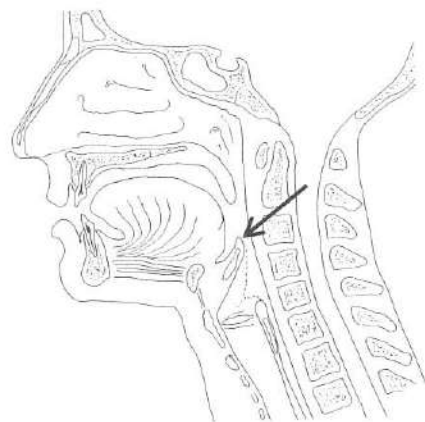
選択肢考察

- 写真より行われている間接訓練はガムラビングである。
- a 唾液を嚥下しやすいように、咬合させた状態で行う。
 - × b 1秒間に2往復程度の速さで指を動かす。
 - × c 実施中に流出した唾液は嚥下するように指示する。
 - d 食物の流れにあわせて、前歯部から臼歯部に向かって歯頸部歯肉をこすり、戻るときにはこすらない。

正解 a、d



[問題 1] 頭部の断面の模式図を示す。



矢印が示す部位の運動を支配するのはどれか。1つ選べ。

- a 迷走神経
- b 三叉神経
- c 顔面神経
- d 舌下神経

▶解剖学

選択肢考察

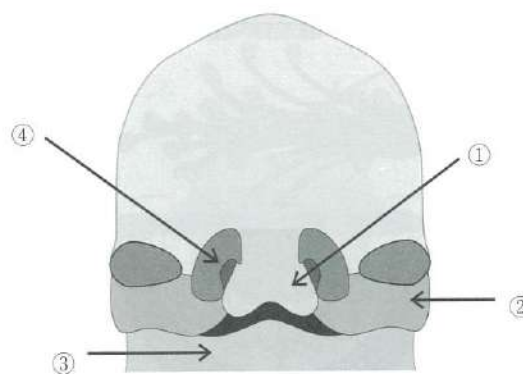
図の矢印は喉頭蓋を示す。嚥下の際、喉頭口を塞ぎ食物が気道に入らないように運動する。

- a 喉頭蓋の運動は喉頭筋の作用によって行われ、迷走神経の支配を受ける。
- × b 三叉神経は顔面部の皮膚感覚の他に、咀嚼筋運動や口腔粘膜の知覚、舌前方2/3の知覚を支配している。
- × c 顔面神経は表情筋の運動や舌前方2/3の味覚、顎下腺や舌下腺分泌を支配している。
- × d 舌下神経は舌筋を支配し、舌の運動に関与する。

正解 a

DH 26:P 30

[問題 2] 胎生7週の顔面構造を図に示す。



内側鼻突起はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶解剖学

選択肢考察

- a ①は内側鼻突起である。
- × b ②は上顎突起である。
- × c ③は下顎突起である。
- × d ④は外側鼻突起である。

正解 a

DH 26:P 12

[問題 3] 歯胚のH-E染色標本(別冊午後No.1)を別に示す。

点線で囲まれた部分から生じるのはどれか。1つ選べ。

- a 骨芽細胞
- b 象牙芽細胞
- c エナメル芽細胞
- d セメント芽細胞

▶解剖学

選択肢考察

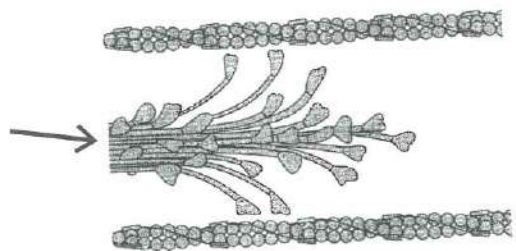
- × a 骨芽細胞は骨表面に存在する細胞である。
- b 標本には歯胚期歯胚が認められる。歯胚はエナメル器、歯乳頭、歯小嚢で構成され、点線で囲まれた部分は歯乳頭に相当する。歯乳頭からは象牙質-歯髓複合体が生じる。従って、これらを形成・構成する象牙芽細胞、線維芽細胞(歯髓細胞ともいう)も歯乳頭から生じる。
- × c エナメル芽細胞はエナメル器に由来する。
- × d セメント芽細胞は歯小嚢に由来する。

正解 b

DH 26:P 13



[問題 4] 骨格筋筋原線維の一部を模式図に示す。



矢印の滑り込み運動に必要なのはどれか。1つ選べ。

- a Na⁺
- b Ca²⁺
- c K⁺
- d HCO₃⁻

▶生理学

選択肢考察

骨格筋筋原線維は矢印のミオシンフィラメント(太い線維)とアクチンフィラメント(細い線維)からなり、骨格筋の収縮は、アクチンフィラメントで囲まれた内面にミオシンフィラメントが滑り込むことで起こる。

× a、× c Na⁺、K⁺は活動電位や膜電位の維持に重要だが、骨格筋の収縮には関与しない。

○ b 骨格筋の収縮は、筋線維の細胞内Ca²⁺濃度に強く依存している。

× d HCO₃⁻は体液のpHを一定に保つ働きをもつ緩衝作用に関与するが、骨格筋の収縮には関与しない。

正解 b

[問題 5] 侵害刺激によってみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 閉口反射
- b 開口反射
- c 下顎張反射
- d 歯根膜閉口筋反射

▶生理学

選択肢考察

× a 閉口反射は嚥下時にみられる反射で、食物が舌根部を刺激すると反射的に閉口する。

○ b 開口反射は口腔領域への侵害刺激によって生じるもので、反射によって開口筋が収縮し開口する。

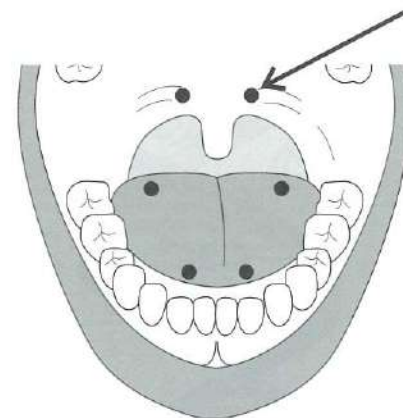
× c 下顎張反射は筋紡錘が関与する閉口反射の一種で、下顎安静位の保持に関与する。

× d 歯根膜閉口筋反射は咀嚼力の調節に関与する閉口反射の一種である。

正解 b

DH 26:P 60

[問題 6] 味覚検査測定部位を図に示す。



矢印が示す部位の味覚を司るのはどれか。1つ選べ。

- a 鼓索神経
- b 舌咽神経
- c 大錐体神経
- d 上喉頭神経

▶生理学

選択肢考察

矢印は軟口蓋部を指している。

× a 鼓索神経は顔面神経の枝で、舌前方2/3の味覚を司る。

× b 舌咽神経は舌後方1/3の味覚を司る。

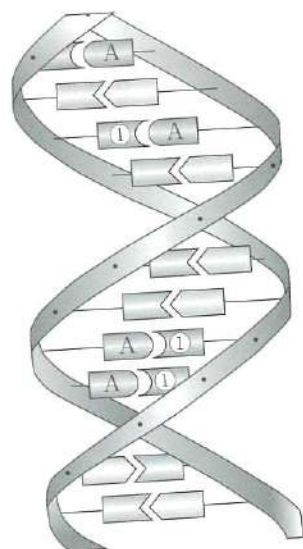
○ c 大錐体神経は顔面神経の枝で、軟口蓋の味覚を司る。

× d 上喉頭神経は迷走神経の枝で、喉頭・下咽頭部の味覚を司る。

正解 c

DH 26:P 23

【問題 7】 DNA の模式図を示す。



①はどれか。1つ選べ。

- a C (シトシン)
- b G (グアニン)
- c T (チミン)
- d U (ウラシル)

▶生化学

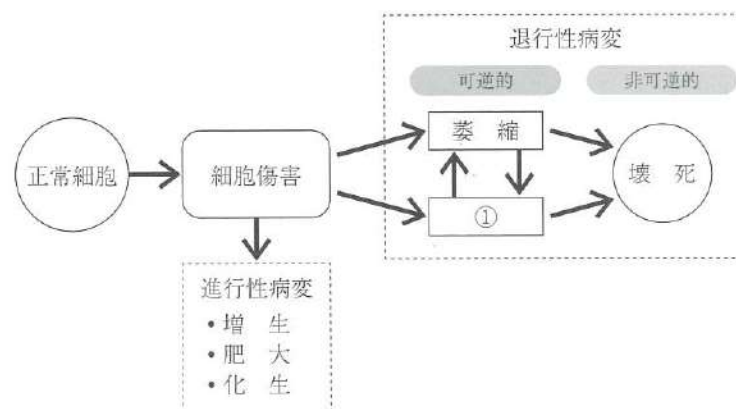
選択肢考察

○c DNA は二重らせん構造をもち、相補的塩基対を形成している。A (アデニン) に対して T (チミン)、C (シトシン) に対しては G (グアニン) 結合する。U (ウラシル) は RNA にのみ存在する塩基である。

DH 26:P 45

正解 c

【問題 8】 退行性病変の過程を図に示す。



①に当てはまるのはどれか。1つ選べ。

- a 変性
- b 被包
- c 器質化
- d 過形成

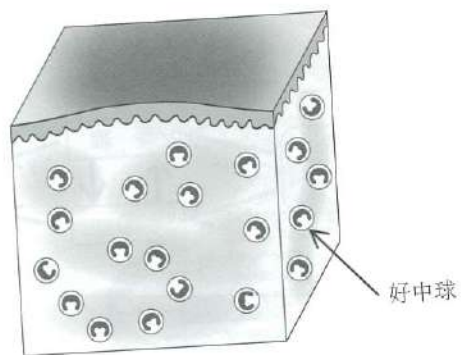
▶病理学

選択肢考察

- a 細胞に傷害が起こると、細胞内の ATP が不足し、変性 (細胞内に物質が蓄積される) や萎縮 (細胞の容積の減少) などが生じる。このような変化の総称を退行性病変という。
- ×b 被包 (化) は、金属片やガラスなど吸収されない異物に対して、肉芽組織が周囲を取り囲み、更に線維化することで異物を包み込んで、周囲組織から隔離する機転をいう。
- ×c 器質化とは、異物や壊死巣が著しく大きい場合、周囲を肉芽組織が取り囲み、この肉芽組織が徐々に異物を吸収することで、最終的には線維性結合組織で置換されることである。
- ×d 過形成 (増生) とは、組織や臓器を構成する細胞の数が増加し、全体の容積が増大することである。

正解 a

[問題 9] 化膿性炎を模式図に示す。



この変化はどれか。1つ選べ。

- a 膿瘍
- b 血腫
- c 蓄膿
- d 蜂窩織炎

▶病理学

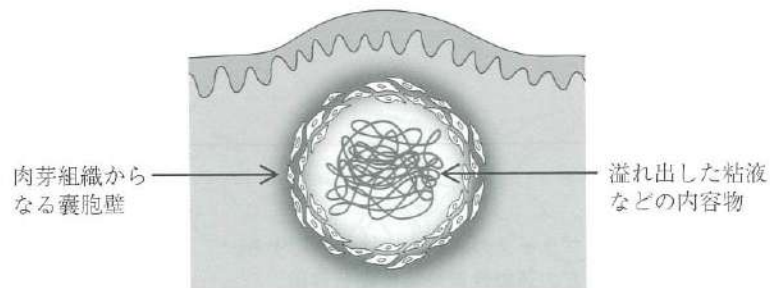
選択肢考察

- × a 膿瘍とは限局された組織間隙に好中球が貯留した状態である。
- × b 血腫とは血管から出血した血液が体外に出ずに、体内の組織内に溜まり排出されない状態である。
- × c 蓄膿とは副鼻腔などの体腔に膿が貯まった状態である。
- d 蜂窩織炎とは好中球がび慢性に組織に広がった状態で、好中球が組織中に散在している状態である。

正解 d

DH26:P77

[問題 10] 嚢胞の基本構造を模式図に示す。



考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯根嚢胞
- b 含歯性嚢胞
- c 鼻口蓋管嚢胞
- d 粘液貯留嚢胞

▶病理学

選択肢考察

- × a 歯根嚢胞は顎骨内に発生する歯原性嚢胞であり、根尖性歯周炎としてう蝕・歯髄炎に続発する炎症性嚢胞である。
- × b 含歯性嚢胞は発育性の歯原性嚢胞で、顎骨内に発生する。未萌出の歯の歯冠を嚢胞内に含んでおり、10～30歳代の下顎智歯部や上顎前歯部の正中過剰埋伏歯に伴って認められる。
- × c 鼻口蓋管嚢胞は上顎正中部に発生する非歯原性嚢胞で、内腔は線毛円柱上皮で裏装されている。
- d 粘液貯留嚢胞は袋状の構造であるが、裏装上皮をもたない偽嚢胞である。内腔には溢れ出した粘液などが貯留している。

正解 d

DH26:P69

[問題 11] 歯周ポケット内の滲出液中の主な免疫グロブリンのクラスはどれか。1つ選べ。

- a IgA
- b IgE
- c IgG
- d IgM

▶微生物学

選択肢考察

- c 歯肉溝滲出液は、血漿成分に由来する炎症性滲出液であり、唾液中とは異なり主に血漿成分由来のIgGが主体である。その一方で、唾液中ではsIgA(分泌型)が主体である。

正解 c

[問題 12] 成熟プラークに比べ初期プラークに多いのはどれか。1つ選べ。

- a 桿菌
- b 運動性菌
- c 紡錘状菌
- d グラム陽性菌

▶微生物学

選択肢考察

- × a *Actinomyces* などの桿菌はプラークの成熟化に伴い増加する。
- × b、× c 口腔スピロヘータなどの運動性菌や偏性嫌気性菌、*Fusobacterium* などの紡錘状菌は歯肉縁下プラークに多く、歯肉縁上プラークではプラークの成熟化に伴い増加する。
- d プラーク形成の初期には通性嫌気性グラム陽性球菌である *Streptococcus* が主要な菌として検出される。その他、初期プラークでは、*Neisseria*、*Nocardia* などの好気性グラム陰性球菌も検出される。

DH26:P123

正解 d

[問題 13] 口腔乾燥症の治療に用いられるのはどれか。1つ選べ。

- a デキサメタゾン
- b ミコナゾール硝酸塩
- c セビメリン塩酸塩水和物
- d ジフェンヒドラミン塩酸塩

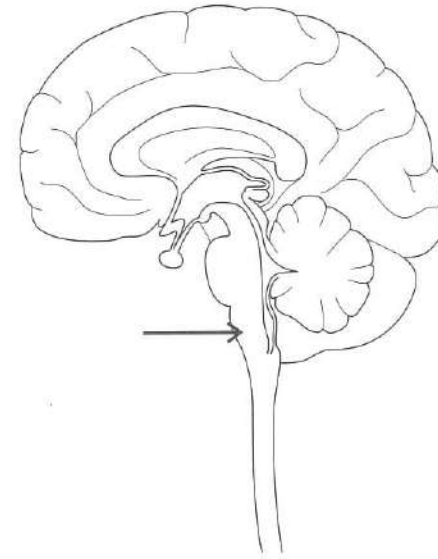
▶薬理学

選択肢考察

- 口腔乾燥症に対しては、塩酸セビメリン、塩酸ピロカルピン、五苓散、白虎加入人参湯などの投与が行われる。
- × a デキサメタゾンは合成糖質コルチコイドの1つで、関節リウマチや膠原病患者の炎症反応のコントロールに用いられる。
 - × b ミコナゾール硝酸塩は抗真菌薬の1つで、真菌の細胞膜構成成分の合成を阻害する。
 - c セビメリン塩酸塩水和物はムスカリン受容体作用薬で、唾液分泌促進薬として口腔乾燥症患者に用いられる。
 - × d ジフェンヒドラミン塩酸塩は抗ヒスタミン薬で、副作用に口腔乾燥がある。

正解 c

[問題 14] 中枢神経を図に示す。



矢印の部位に作用する薬物はどれか。1つ選べ。

- a ドパミン
- b ジアゼパム
- c リドカイン
- d アトロピン

▶薬理学

選択肢考察

- 矢印は延髄である。延髄(中枢神経系)に作用する薬物は血液脳関門を通過する必要がある。
- × a ドパミンは中枢神経系に存在する神経伝達物質で、アドレナリン、ノアドレナリンの前駆体でもあるが、血液脳関門を通過しない。
 - b ジアゼパム(ベンゾジアゼピン系薬物)は、GABA_A受容体に結合し薬理作用を発現する薬物であり、中枢神経系に作用する薬物である。
 - × c リドカインはアミド型局所麻酔薬で、神経線維のNa⁺チャネルを阻害することで神経伝導を遮断する作用をもつ。血液脳関門を通過しない。
 - × d アトロピンはムスカリン性アセチルコリン受容体に作用し、アセチルコリンの結合を阻害する。血液脳関門を通過しない。

正解 b

[問題 15] 小児の薬用量を求める換算表を示す。

年齢(年)	0.25	0.5	1	3	7.5	12	成人
小児薬用量 (成人量に対する比)	1/6	1/5	1/4	1/3	1/2	2/3	1

この換算表の名称はどれか。1つ選べ。

- a Clark
- b Hamburger
- c Augsberger
- d von Harnack

▶薬理学

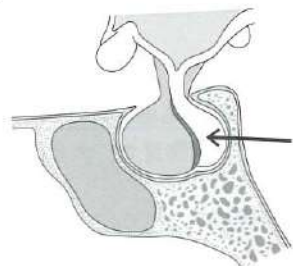
選択肢考察

小児薬用量の算定には、**年齢**を基準とするもの、**体重**を基準とするもの、**体表面積**から求めるものがある。このうち、**体表面積**から求めるものが理想的である。

- × a、× b 体重から小児薬用量を算定する方法には、Clarkの式やHamburgerの式がある。
- × c、○ d 年齢から小児薬用量を算定する方法には、Augsbergerの式やvon Harnackの換算表がある。

正解 d

[問題 16] 下垂体の模式図を示す。



矢印から分泌されるホルモンはどれか。1つ選べ。

- a グリシン
- b カルシトニン
- c プロラクチン
- d バソプレッシン

▶生化学

選択肢考察

矢印で示す部位は**下垂体後葉**である。

- × a グリシンは抑制性の神経伝達物質でありホルモンではない。
- × b カルシトニンは**甲状腺傍濾胞細胞**から分泌されるホルモンで、破骨細胞を抑制することで血中Ca濃度を低下させる。
- × c プロラクチン(乳腺刺激ホルモン)は**下垂体前葉**から分泌されるホルモンで、乳腺の発達を促し、乳汁の分泌を促す。
- d バソプレッシンは**下垂体後葉**から分泌されるホルモン(抗利尿ホルモン)で、遠位尿管や集合管で水の再吸収を促進する(尿量減少)。

正解 d

DH 26:P54

[問題 17] Leavell & Clarkの予防の3相5段階と処置との組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 健康増進 ————— 予防接種
- b 特異的防御 ————— 保健指導
- c 早期診断 ————— 定期精密検査
- d 機能障害の防止 ————— 歯周疾患治療

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a 予防接種は**特異的防御**(第一次予防)である。
- × b 保健指導は**健康増進**(第一次予防)である。
- c 定期精密検査は**早期診断**(第二次予防)である。
- d 歯周疾患治療は**機能障害の防止**(第二次予防)である。

正解 c、d

DH 26:P144

[問題 18] 歯磨剤の成分と効能または効果の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a トラネキサム酸 ————— 歯がしみるのを防ぐ
- b ピロリン酸ナトリウム ————— 歯石の沈着を防ぐ
- c 塩化セチルピリジニウム ————— 歯肉炎の予防
- d カルボキシメチルセルロース ————— たばこのヤニ除去

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a トラネキサム酸は**止血作用**をもつ歯磨剤の薬効成分で、**歯周病予防**を目的として配合されている。
- b ピロリン酸ナトリウムは**歯石沈着抑制作用**をもつ薬効成分である。
- c 塩化セチルピリジニウムは殺菌作用を有する歯磨剤の薬効成分で、**歯肉炎**の予防を目的として配合されている。
- × d カルボキシメチルセルロースは歯磨剤の基本成分で、**粘結剤**として配合されている。たばこのヤニ除去はポリエチレングリコールである。

正解 b、c

DH 26:P133

[問題 19] キシリトールの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 血糖値を上昇させる。
- b 糖アルコールである。
- c 多量摂取によって便秘が生じる。
- d 甘味度は砂糖とほぼ同じである。

▶口腔衛生学

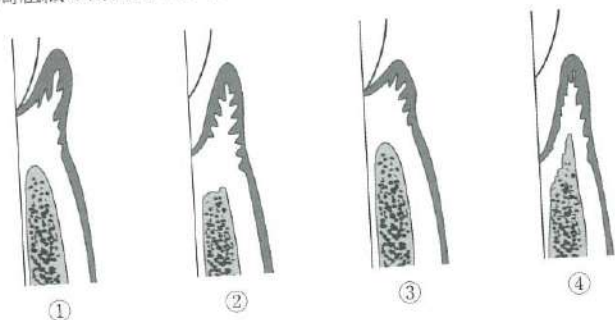
選択肢考察

- × a キシリトールは血糖値に影響しない。
- b ソルビトールやマンニトールなどと同じ糖アルコールである。
- × c 多量摂取により、**軟便**になることがある。
- d 甘味度は砂糖と**ほぼ同等**である。

正解 b、d

DH 26:P119

[問題 20] 歯と歯周組織の断面図(模式図)を示す。



骨縁下ポケットはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶口腔衛生学

選択肢考察

- × a ①はポケットが形成されているが、ポケット底が根尖側に移動していない(アタッチメントロスがない)ため**仮性**ポケットである。
- × b ②はポケット底はエナメルセメント境より根尖側に移動しているが、歯槽骨頂よりは上にあるため**骨縁上**ポケットである。
- × c ③は歯周ポケットの形成はみられない正常な歯周組織である。
- d ④はポケット底が歯槽骨頂より下方にあるため**骨縁下**ポケットである。

正解 d

DH 26:P351

[問題 21] 歯のフッ素症の分類はどれか。1つ選べ。

- a Dean の分類
- b Glickman の分類
- c Kennedy の分類
- d TNM 分類

▶口腔衛生学

選択肢考察

- a Dean の分類は**歯のフッ素症の分類**である。
- × b Glickman の分類は**根分岐部病変の分類**である。
- × c Kennedy の分類は歯の欠損部の位置による分類であり、部分床義歯における義歯床と支台歯の位置関係が基準となる。
- × d TNM 分類は**悪性腫瘍**の病期分類である。

●フッ素症歯(斑状歯)の分類基準

Dean (1934)	
疑問型 (questionable)	0.5: 正常なエナメル質より若干白斑様のものがみられる。
ごく軽度 (very mild)	1: 白濁部が歯面の 25% 以下。着色はみられない。
軽度 (mild)	2: 白濁部が少なくとも歯面の 50% 前後を占める。着色がみられることがある。
中等度 (moderate)	3: 白濁部が歯面のほとんどに及ぶ。小さな凹陥部 (pitting) がみられることもある。着色がみられることがある。
重度 (severe)	4: 不連続あるいは合流した凹陥部が形成。エナメル形成不全が著明。

正解 a

[問題 22] 10 歳児 9 名の DMF 歯数の表を示す。

DMF 歯数	3	1	0	1	4	9	1	6	2	計 27
--------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------

中央値、最頻値、平均値の大小で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 平均値 < 最頻値 < 中央値
- b 中央値 < 平均値 < 最頻値
- c 最頻値 < 中央値 < 平均値
- d 最頻値 < 平均値 < 中央値

▶口腔衛生学

選択肢考察

- c この表では最頻値が 1 となる。中央値は、データを小さい方(あるいは大きな方)から順に並べ、ちょうど中央に位置する値のことであり、平均値は(データの総和)/(データの個数)で示され、最頻値は最も出現頻度の多い値のことであり、値を小さい順に並べると、0, 1, 1, 1, 2, 3, 4, 6, 9 となり、中央値は 2 である。データの総和が 27、データの個数が 9 であり、平均値が 3 となる。

正解 c

【問題 23】 ある地域の年齢群別人口を表に示す。

年齢(歳)	人数(人)	年齢(歳)	人数(人)
0~4	100	45~49	200
5~9	100	50~54	200
10~14	100	55~59	200
15~19	100	60~64	200
20~24	150	65~69	200
25~29	200	70~74	150
30~34	200	75~79	100
35~39	200	80~	50
40~44	200		

この地域の従属人口はどれか。1つ選べ。

- a 300人
- b 500人
- c 800人
- d 1,850人

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 300人は年少人口である。
- × b 500人は老年人口である。
- c 800人は従属人口である。従属人口は、年少人口(0~14歳)と老年人口(65歳以上)の合計である。
- × d 1,850人は生産年齢人口である。

DH 26:P 224

正解 c

【問題 24】 症例対照研究で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 介入研究に分類される。
- b 相対危険度を直接計算できる。
- c まれな疾患の研究に適している。
- d コホート研究よりも研究期間が長くなる。

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

疫学研究は研究対象者を単に観察する「観察研究」と、何らかの介入を行う「介入研究」に大別される。観察研究は曝露や疾病の頻度、分布などを観察する「記述疫学」と、因果関係の有無などを検証する「分析疫学」に分類される。症例対照研究とは分析疫学の中の一つである。

- × a 症例対照研究は観察研究の分析疫学に分類される。
- × b 症例対照研究は相対危険度や寄与危険度を直接算出できないため、相対危険度の近似値としてオッズ比を用いる。
- c 症例対照研究はまれな疾患の研究に適している。
- × d 後ろ向き研究である症例対照研究はコホート研究に比べて研究期間が短い。

DH 26:P 235

正解 c

【問題 25】 麻疹に罹患した児童生徒の授業への出席停止について規定しているのはどれか。1つ選べ。

- a 学校教育法
- b 児童福祉法
- c 学校保健安全法
- d 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 学校教育法は、幼稚園から大学までの学校教育に関する、基本的かつ総合的な法律である。
- × b 児童福祉法は、児童の出生・育成が健やかであり、かつその生活が保障愛護されることを理念とし、児童保護のための禁止行為や児童福祉司・児童相談所・児童福祉施設などの諸制度について定めた法律である。
- c 学校は児童生徒等が集団生活を営む場であるため、感染症が発生した場合は、感染が拡大しやすく、教育活動にも大きな影響を及ぼすこととなる。そのため、学校保健安全法では、感染症の予防のため、出席停止等の措置を講じることとされており、学校保健安全法施行令では、校長が出席停止の指示を行うこと、出席停止の期間は省令で定める基準によること等が規定されている。これらを受け、学校保健安全法施行規則では、学校において予防すべき感染症の種類を第一種から第三種に分けて規定した上で、出席停止の期間の基準等を規定している。
- × d 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関し必要な措置を定めることにより、感染症の発生を予防し、及びそのまん延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的とするものである。

正解 c

DH 26:P 192

【問題 26】 高齢者の医療の確保に関する法律によって規定されている「特定健康診査・特定保健指導」で対策されるのはどれか。1つ選べ。

- a 認知機能低下
- b メンタルヘルス
- c 慢性閉塞性肺疾患
- d メタボリックシンドローム

▶衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- d 「特定健康診査」とは、高齢者の医療の確保に関する法律に基づいて、40歳~74歳の医療保険被保険者・被扶養者を対象とし、内臓脂肪症候群に対応するため医療保険者(健康保険組合、国民健康保険を運営する市町村等)に義務づけられた健診である。通称「メタボ健診」である。この特定健康診査の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる者に対して、生活習慣を見直すサポートをするのが特定保健指導である。

正解 d

DH 26:P 195

【問題 27】 国勢調査で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 標本調査である。
- b 一般統計調査である。
- c 人口静態統計である。
- d 5年ごとに実施される。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 国勢調査は10月1日時点でのわが国に居住する全国民が対象となることから、標本調査ではなく全数調査である。
- × b 基幹統計調査である。
- c 国勢調査は調査年の10月1日現在の人口調査であるため、人口動態統計ではなく、人口静態統計である。
- d 国勢調査は5年ごとに実施される。

正解 c、d

【問題 28】 介護予防・日常生活支援総合事業で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 対象者は60歳以上の者である。
- b サービスの内容は全国一律である。
- c 民間によるサービス提供が可能である。
- d 地域包括支援センターが介護予防ケアマネジメントを実施する。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 対象者は要介護認定における要支援1、2の者と65歳以上のすべての高齢者が対象である。
- × b 要介護者や要支援者に対する全国一律の介護保険サービスとは異なり、各市区町村が主体となって行う事業の1つで、サービスの運営基準や単価、利用料などは各市区町村が独自に設定することができる。
- c 介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）とは、介護保険法で定められた事業で、市町村が中心となって、地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を可能とすることを目指すものである。高齢者の多様なニーズに対応するため、ボランティア、NPO、民間企業等の多様な主体が支援の担い手になることで、地域の多様な人材の活躍の場を広げることができる。
- d 介護予防・日常生活支援総合事業では、地域包括支援センターによる介護予防ケアマネジメントに基づき、介護予防・生活支援サービス事業のサービスと介護予防給付のサービスを（要支援者のみ）を組合せる。

正解 c、d

【問題 29】 医療法で医療機関に義務付けられているのはどれか。2つ選べ。

- a 医療安全管理者の配置
- b 特別管理産業廃棄物管理責任者
- c 厚生労働省へのインシデント報告
- d 患者・家族への医療安全指導の実施

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- a 医療法により、医療安全対策にかかわる専門の教育を受けた医療安全管理者の配置が義務付けられている。
- b 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）が規定する特別管理産業廃棄物管理責任者には、歯科衛生士も医師、歯科医師、看護師らとならび任に当たることができる。
- × c インシデント報告は協力的かつ自発的に提供されるものであり、厚生労働省への報告は義務付けられていない。
- × d 患者・家族への医療安全指導の実施は義務付けられていない。

正解 a、b

DH 26:P 178

【問題 30】 介護保険制度のケアマネジメントで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 地域の課題を抽出する。
- b 地域ケア会議を開催する。
- c 要介護状態区分を判定する。
- d 対象者のモニタリングを行う。

▶ 衛生学・公衆衛生学

選択肢考察

- × a 地域の課題の抽出は地域包括支援センターの役割である。
- × b 地域ケア会議の開催は、市町村が担う業務である。
- × c 要介護状態区分の判定は、市町村が実施する要介護認定の一部で実施される。
- d 対象者のモニタリングはケアマネジメントの業務であり、必要に応じてケアプランの見直しを行う。

正解 d

DH 26:P 203

【問題 31】 ヒヤリハット事例はどれか。1つ選べ。

- a 患者に注射針を刺してしまった。
- b スケーリング中に歯が脱臼した。
- c 患者の衣服に印象材を付着させた。
- d インレーを誤って誤飲させそうになった。

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a、× b、× c すでに事故が起きてしまっており、**アクシデント**である。
- d ヒヤリハットを**インシデント**という。インシデントは、患者に障害を及ぼすことはなかったが、診療の現場でヒヤリとしたりハットしたりした事例である。“～しそうになった”は結果として事故は起きておらず、ヒヤリハット事例となる。

DH26:P252

正解 d

【問題 32】 52歳の女性。舌癌の治療法について相談をしたいことを主訴として来院した。2か月前に大学病院にて舌癌と診断され、医師から治療方針の説明を受けた。舌を半側切除するといわれたが、治療法に納得ができず相談したいという。

この患者の行為はどれか。1つ選べ。

- a アドヒアランス
- b セカンドオピニオン
- c インフォームド・コンセント
- d クオリティー・オブ・ライフ

▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- × a アドヒアランスは、患者が**積極的に治療方針の決定に参加し、その決定に従って治療を受けること**を意味する。
- b セカンドオピニオンは、患者が医師の診断や治療法に納得できないとき、**別の専門医に相談し意見を求め意思決定の材料とするものである。**
- × c インフォームド・コンセントは、患者が治療内容についてよく説明を受け十分理解した上で、**自らの自由意思に基づいて医療従事者と方針において合意することである。**
- × d クオリティー・オブ・ライフは、一人一人の人生の内容の質や社会的にみた生活の質のことを指し、**どれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか、ということ**を尺度としてとらえる概念である。

正解 b

【問題 33】 相対的歯科医行為はどれか。1つ選べ。

- a カルテの記入
- b 矯正装置の撤去
- c インレー製作時の咬合採得
- d 寒天印象材を用いた精密印象採得

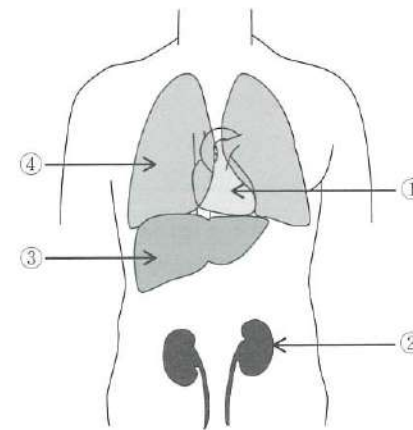
▶ 歯科衛生士概論

選択肢考察

- b 歯科衛生士が行う歯科診療補助の範囲について明確な法律上の規定はないが、医療行為を絶対的歯科医行為と相対的歯科医行為に区分し、相対的歯科医行為を担うものと提唱されている。歯科医師が常に自ら行わなければならない高度で危険な行為を絶対的歯科医行為といい、診断、エックス線の照射、軟組織や硬組織を侵襲する行為や咬合に干渉する行為などが該当する。その他の行為を相対的歯科医行為といい、仮封・仮封材除去、隔壁の装着・除去、充填物の研磨、矯正装置の除去などが該当する。

正解 b

【問題 34】 内臓の模式図を示す。



血液のpH調節に関与するのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

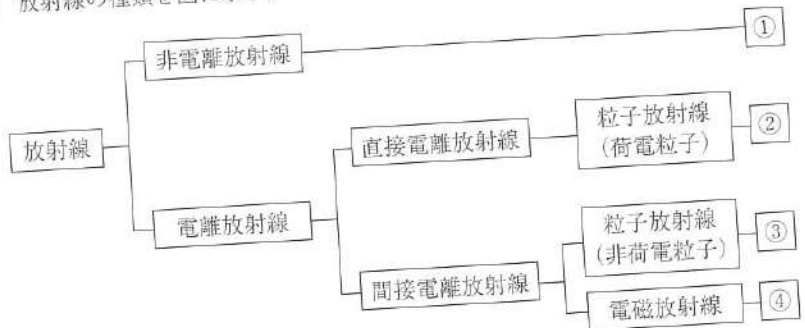
▶ 臨床歯科総論

選択肢考察

- × a ①は**心臓**である。心臓は全身に血液を送る役割を持つ。
- b、○ d ②は**腎臓**、④は**肺**である。血液のpHの変動に対し、肺では呼吸性、腎臓では代謝性の調節を行っている。
- × c ③は**肝臓**である。肝臓は消化器から吸収された物質を分解し、余分な栄養を貯蔵する役割の臓器である。

正解 b、d

【問題 35】 放射線の種類を図に示す。



診断用エックス線として用いられるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶臨床歯科総論

選択肢考察

- × a ①はマイクロ波、電波、赤外線、紫外線、可視光線が該当する。
- × b ②はα線、β線、電子線、陽子線が該当する。
- × c ③は中性子線が該当する。
- d ④はエックス線、ガンマ線が該当する。医療ではエックス線が用いられることが多い。

DH26:P257

正解 d

【問題 36】 Pancreas はどれか。1つ選べ。

- a 脾臓
- b 腎臓
- c 肝臓
- d 脾臓

▶臨床歯科総論

選択肢考察

脾臓 (Pancreas) は上腹部の後腹膜に位置し、脾液を十二指腸へ分泌して消化に関与する一方、膵島 (ランゲルハンス島) からインスリンを分泌して血糖を調節する。

- a 脾臓は Pancreas である。内分泌腺と外分泌腺の両機能をもつ臓器である。
- × b 腎臓は Kidney である。
- × c 肝臓は Liver である。
- × d 脾臓は Spleen である。

正解 a

【問題 37】 赤血球に抗 A 血清と抗 B 血清を加えたところ、いずれの血清でも凝集は認められなかった。

この血液型はどれか。1つ選べ。

- a A 型
- b B 型
- c O 型
- d AB 型

▶臨床歯科総論

選択肢考察

- c ABO 式血液型は、赤血球表面に存在する糖脂質抗原 (凝集原) とその抗体から、A 型、B 型、AB 型および O 型に分類される。O 型は赤血球表面に両方の抗原 (A 抗原および B 抗原) が存在しないため、この赤血球を抗 A 血清、抗 B 血清に加えると、どちらも凝集しない。

正解 c

DH26:P274

要点

● ABO 式血液型

血液型	赤血球抗原	血清抗体
A	A 抗原	抗 B 抗体
B	B 抗原	抗 A 抗体
AB	A 抗原および B 抗原	なし
O	なし	抗 A 抗体および抗 B 抗体

【問題 38】 36 歳の女性。上顎右側第一小白歯のブラッシング時の疼痛を主訴として来院した。半年前に気付き、最近では一過性の冷水痛があるという。自発痛はなく、歯髄電気診に正常に反応する。初診時の口腔内写真 (別冊午後 No. 2) を別に示す。

考えられる修復処置はどれか。2つ選べ。

- a ラミネートベニア
- b コンポジットレジンインレー
- c フロアブルコンポジットレジン
- d レジン添加型ガラスアイオノマーセメント

▶保存修復学

選択肢考察

- × a ラミネートベニアは審美障害に対する修復法であり、前歯部に適応される。設問のくさび状欠損に対して行う修復法ではない。
- × b 歯頸部の修復にインレー修復は行わない。
- c フロアブルコンポジットレジンとは低粘性 (流動性) のコンポジットレジンであり、流れが良好である。歯質接着性修復であり、設問のくさび状欠損に対して行う適切な修復法である。
- d レジン添加型ガラスアイオノマーセメントは歯質接着性を示し、フッ素徐放性を有する。くさび状欠損に対して行う修復法として適切である。

No. 2



正解 c, d

DH26:P293

【問題 39】 68歳の女性。上顎右側前歯歯頸部の変色を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 3)を別に示す。

この変色の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 疼痛が生じやすい。
- b 穿通性に進行する。
- c *Lactobacillus* は原因菌の一つである。
- d 進行抑制にはフッ化物歯面塗布が有効である。

▶保存修復学
No. 3



選択肢考察

口腔内写真より上顎右側前歯歯頸部は歯肉退縮し、露出した歯根部に実質欠損を認めることから根面う蝕が考えられる。根面う蝕は高齢者に特徴的にみられる。

- × a 根面う蝕は疼痛が少なく、慢性の経過となることが多い。
- × b 根面う蝕は環状に進行する。
- c 根面う蝕は *S. mutans* や *Lactobacillus* が深く関係しているといわれている。
- d 根面う蝕の進行抑制にはフッ化物の歯面塗布が有効である。

正解 c、d

DH 26:P 293

【問題 40】 48歳の女性。下顎右側大白歯部の咀嚼時の違和感を主訴として来院した。半年前に修復処置を受けたという。自発痛はないが、6) 頬側歯肉に圧痛が認められる。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 4 A)とエックス線画像(別冊午後 No. 4 B)を別に示す。

治療方針を決めるにあたり必要と考えられる検査はどれか。2つ選べ。

- a 温度診
- b 麻酔診
- c 歯髄電気診
- d レーザー蛍光強度測定

▶歯内療法学

No. 4 A



B



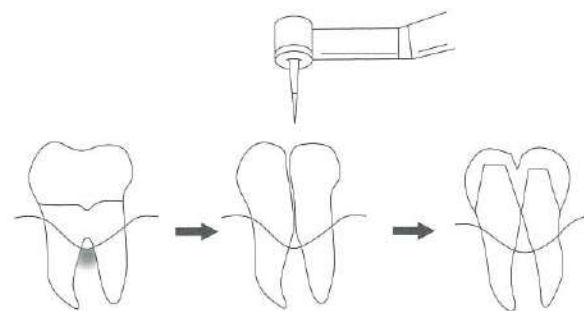
選択肢考察

- a、○ c 温度診、歯髄電気診は歯髄の生活反応を判定する検査として必要である。
- × b 自発痛がないため麻酔診は必要ない。
- × d レーザー蛍光強度測定は不顕性う蝕の検出に用いる。

正解 a、c

DH 26:P 305

【問題 41】 下顎大白歯への処置の模式図を示す。



この処置の適応として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 歯根嚢胞
- b 内部吸収
- c 歯根破折
- d 髓床底穿孔

▶歯内療法学

選択肢考察

模式図より根分岐部病変を認め、歯根を分割する歯根分離(ルートセパレーション)が行われている。

- × a 歯根嚢胞は嚢胞の大きさや原因菌の状態、歯種によって嚢胞摘出術を行う。
- × b 内部吸収は抜髄法が適応となる。
- × c 下顎大白歯が歯根破折の場合、保存が不可能な場合にはいずれかの歯根を歯冠ごと抜去する必要があるため、ヘミセクションが適応となる。
- d 根分岐部病変や髓床底に穿孔が認められる場合、病変は根分岐部に局限していることが多く、近心根と遠心根の両方の歯根を保存することが可能である。

正解 d

DH 26:P 366

[問題 42] 65歳の女性。上顎右側第一大臼歯の自発痛を主訴として来院した。1年前から時々軽度の自発痛を自覚していたが、昨夜就寝後から症状が強くなり、熱いものを口に入れると増悪するという。打診痛を認め、歯髄電気診で生活反応を示した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 5 A)とエックス線画像(別冊午後 No. 5 B)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

頬側*	3	④	⑤	⑧	④	3
歯種	7			6		
口蓋側*	3	3	⑤	⑧	④	3
動揺度**	1			1		

* :プロービング深さ(mm)
○印:プロービング時の出血
** : Miller の判定基準

まず行うと考えられる処置はどれか。1つ選べ。

- a 麻酔抜髄
- b 歯根切除
- c 局所薬物配送システム(LDDS)
- d スケーリング・ルートプレーニング

▶歯内療法学

No. 5 A



B



選択肢考察

- a 6は生活歯であり、自発痛、温熱痛、打診痛等の所見と6にう蝕はみられず、深い歯周ポケットとエックス線画像より根尖に及ぶ歯槽骨吸収を認める。上行性歯髄炎が考えられ麻酔抜髄の適応となる。
- × b 麻酔抜髄後、歯周組織の状態により歯根切除を行う可能性はあるが、まず行う処置ではない。
- × c まずは歯内治療を行い、のちに歯周治療に移行する。
- × d スケーリング・ルートプレーニングよりも歯内治療を優先する。

正解 a

[問題 43] 51歳の女性。下顎左側第一小臼歯部のブラッシング時の歯肉の疼痛を主訴として来院した。数年前から自覚していたという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 6)を別に示す。歯周組織検査結果の一部を表に示す。

舌側*	3	3	3	3	2	3	4	2	3	
歯種	3			4			5			
頬側*	3	2	2	3	3	2	3	2	3	
動揺度	0			0			0			

* :歯周ポケットの深さ(mm)

歯肉退縮の原因として考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉炎
- b 外傷性咬合
- c 小帯の付着位置異常
- d 不適切な歯ブラシの使用

▶歯周治療学

No. 6



選択肢考察

- × a 歯周組織検査より5に4mmの歯周ポケットを認めるが、歯肉炎は歯肉退縮の原因にはならない。
- × b 主訴や歯周組織検査より外傷性咬合を疑う所見は認められない。
- c 口腔内写真より付着歯肉が少なく頬小帯の付着位置異常を認め、歯肉退縮の原因となる。
- d 過度なブラッシング圧や誤ったストローク法によって、歯肉が機械的に擦過され、歯肉退縮の原因となる。

正解 c, d

[問題 44] GTR法で根面に誘導するのはどれか。1つ選べ。

- a 歯肉上皮組織
- b 歯肉結合組織
- c 骨膜由来組織
- d 歯根膜由来組織

▶歯周治療学

選択肢考察

- × a 歯肉上皮組織は増殖が早く、歯周外科処置後に根面へ早期に侵入し、長い上皮性付着を形成するためGTR膜で遮断する。
- × b 歯肉結合組織は根面への早期侵入により、線維性癒着を起こす可能性があるためGTR膜で遮断する。
- × c 骨膜由来組織は根面への早期侵入により、骨性癒着(アンキローシス)が起こる可能性があるためGTR膜で遮断する。
- d GTR (Guided Tissue Regeneration: 組織再生誘導法)では、根面に歯根膜由来の細胞を選択的に誘導することで、新付着(新生セメント質・歯根膜線維・歯槽骨の形成)を目指す。

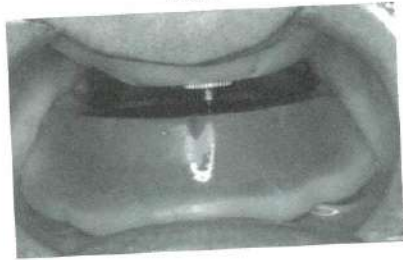
正解 d

[問題 45] 79歳の女性。上下顎の歯の欠損による咀嚼障害を主訴として来院した。全部床義歯により補綴することになった。義歯製作時の写真(別冊午後 No. 7)を別に示す。この操作の目的はどれか。1つ選べ。

- a 仮想咬合平面の決定
- b 垂直的顎間関係の記録
- c 水平的顎間関係の記録
- d 頭蓋に対する上顎位置の記録

▶ 歯科補綴学

No. 7



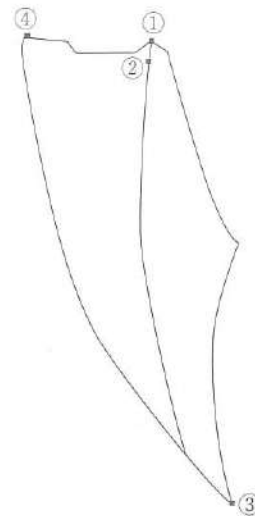
DH 26:P388

選択肢考察

- × a 仮想咬合平面の決定には咬合平面板を用いる。
- × b 垂直的顎間関係(咬合高径)の記録にはノギスやバイトゲージを用いる。
- c 写真の器具は上顎に描記針、下顎に描記板が設定されている口内法のゴシックアーチ描記装置である。水平的顎間関係の記録にはゴシックアーチトレーサーを用いる。
- × d 頭蓋に対する上顎位置の記録にはフェイスボウを用いる。

正解 c

[問題 46] 下顎限界運動路の図を示す。



下顎頭が最も前方に移動するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科補綴学

選択肢考察

下顎の運動範囲は下顎切歯点の運動範囲として示され、下顎限界運動路の図をポッセルトの図形という。
○ c ③は最大開口位であり、下顎頭は最も前方に移動する。

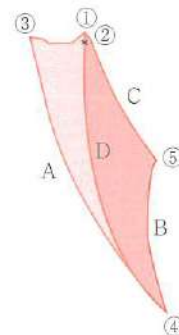
正解 c

DH 26:P382

要点

● ポッセルトの図形

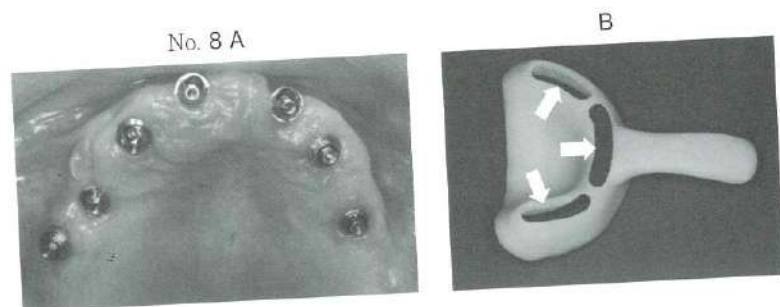
- ①: 咬頭嵌合位
- ②: 最後退位(中心位)
- ③: 最前方位
- ④: 最大開口位
- ⑤: 変曲点
- A: 前方限界運動路
- B: 後方限界運動路
- C: 終末樂番運動路
- D: 習慣性開閉口路
- ×: 下顎安静位



[問題 47] インプラント補綴装置製作のために印象採得を行うことになった。口腔内写真(別冊午後 No. 8 A)と個人トレーの写真(別冊午後 No. 8 B)を別に示す。矢印の構造を付与する目的はどれか。1つ選べ。

- a 印象材の注入
- b 印象材の剝離防止
- c 印象用パーツの操作
- d インプラント部の無圧印象

▶ 歯科補綴学



選択肢考察

- × a 印象材の注入は個人トレーの内面から注入する。
- × b 印象材の剝離防止の保持孔は個人トレーの側方などに付与する。
- c インプラントの印象採得時には印象用コーピングを連結し、それぞれをデンタルフロスや即時重合インプラントの印象採得時には印象用コーピングを連結し、それぞれをデンタルフロスや即時重合インプラントの印象採得時には印象用コーピングを連結し、それぞれをデンタルフロスや即時重合インプラントの印象採得時には印象用コーピングを連結し、それぞれをデンタルフロスや即時重合インプラントの印象採得時には印象用コーピング部分をレジンで固定して位置関係がずれないようにして印象採得する。その際、印象用コーピング部分は写真の個人トレーの穴から突き出ており、印象材硬化後にドライバーを使用してスクリューを外し、印象用コーピングごと印象体を撤去する。
- × d 写真のインプラント補綴装置は、咬合をインプラント体で支持するので無圧印象とは関係ない。

DH26:P412

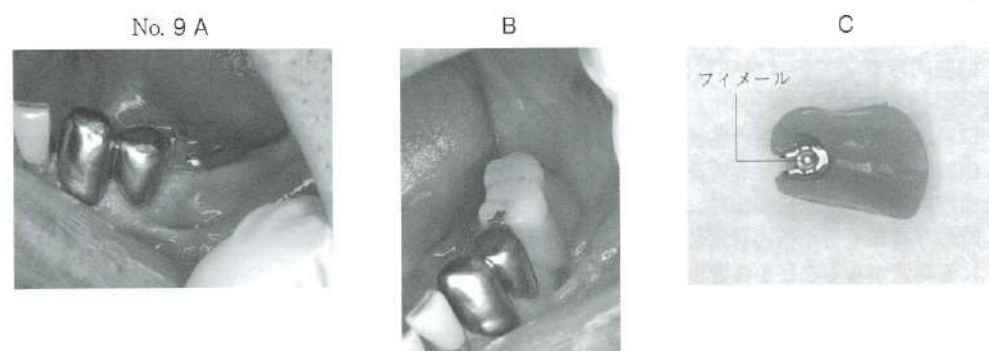
正解 c

[問題 48] 69歳の男性。下顎前歯部の空隙を主訴として来院した。5年前に下顎片側義歯を装着したが、徐々に空隙が生じてきたという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No. 9 A)、義歯装着時の写真(別冊午後 No. 9 B)及び義歯粘膜面の写真(別冊午後 No. 9 C)を別に示す。

使用している装置はどれか。1つ選べ。

- a 根面アタッチメント
- b 歯冠内アタッチメント
- c 歯冠外アタッチメント
- d コースステレスコープクラウン

▶ 歯科補綴学



選択肢考察

- × a 根面アタッチメントは、固定部が孤立歯などの根面や根管に設置される。
- × b 歯冠内アタッチメントは、アタッチメントの維持部がクラウン内に埋め込まれた形態のもので、固定部と可撤部は摩擦によって維持が図られる。
- c 写真 A から歯冠を有する鉤歯が存在し、その歯冠よりもアタッチメントが外側に存在するため、歯冠外アタッチメントである。歯冠外アタッチメントは、固定部が維持歯のクラウンの外側に設定される。
- × d コースステレスコープクラウンは、維持装置としてクラスプを用いず、二重構造でできた冠を使った、はめこみ式機構の義歯である。残存歯を形成し、その上に金属の内冠を被せる。次いで、内冠に適合する外冠を作り、この内冠外冠を維持装置として義歯を固定するものである。

正解 c

[問題 49] 5歳の女児。発音の異常を主訴として来院した。1年前から異常に気付いていたが、改善を期待しそのままにしていたという。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.10 A)と舌突出時の写真(別冊午後 No.10 B)を別に示す。考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 巨舌症
- b 血管腫
- c 正中菱形舌炎
- d 舌小帯強直症

▶口腔外科学

選択肢考察

- × a 口腔内写真より舌は歯列弓に収まっており巨舌症ではない。
- × b 口腔内写真より血管腫の兆候は認められない。
- × c 口腔内写真より正中菱形舌炎の兆候は認められない。
- d 口腔内写真より、舌突出時に舌尖がハート形になり、安静時の写真にも舌小帯の付着位置が舌尖に認められる。発音にも異常があることから舌小帯強直症が考えられる。

No.10 A



B



📖 要点集 352:P52

正解 d

[問題 50] 急性下顎骨髄炎でみられるのはどれか。1つ選べ。

- a Bell 麻痺
- b Vincent 症状
- c Patrick 発痛帯
- d Malgeigne 圧痛点

▶口腔外科学

選択肢考察

- 急性下顎骨髄炎は、炎症経過を4つのステージに分けられる。そのうち進行期では、弓倉症状(原因歯より近心側の数歯の打診痛)、Vincent 症状(下唇・オトガイ部の知覚麻痺)などがみられる。
- × a Bell 麻痺は末梢性顔面神経麻痺にみられ、前額部のしわ形成不全、兎眼、鼻唇溝消失などがみられる。
 - b Vincent 症状は急性下顎骨髄炎の進行期にみられ、患側のオトガイ神経領域に知覚異常が生じる。
 - × c Patrick 発痛帯は、三叉神経痛でみられる。口角、鼻唇溝、鼻翼、口唇など、冷刺激や接触刺激を受けると疼痛が誘発される部位である。
 - × d Malgeigne 圧痛点は、骨折部に一致した限局性の圧痛である。

正解 b

[問題 51] 血友病 A の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 男性のみに発症
- b 第Ⅷ因子の欠乏
- c 全血凝固時間の短縮
- d 部分トロンボプラスチン時間の短縮

▶口腔外科学

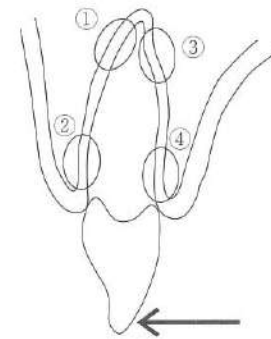
選択肢考察

- a、○ b 血友病は内因系凝固因子の異常で、血友病 A (第Ⅷ因子欠乏)、血友病 B (第Ⅸ因子欠乏) がある。伴性劣性遺伝で男性のみに発症し、女性は保因者となる。
- × c、× d 全血凝固時間の延長と部分トロンボプラスチン時間の延長がみられる。

正解 a、b

📖 DH26:P273

[問題 52] 矯正力による歯の移動の図を示す。



矢印の方向に矯正力を加えた際、歯槽骨の添加がみられるのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶矯正歯科学

選択肢考察

- a、○ d 矯正力が歯に加わると、歯根膜腔は圧縮される側と反対側の牽引される側が存在する(圧下では圧迫側のみ、挺出では牽引側のみ)。圧縮される側を圧迫側、牽引される側を牽引側という。①、④は牽引側で、歯槽骨の添加がみられる部位である。
- × b、× c ②、③が圧迫側となり、歯槽骨の吸収がみられる。

正解 a、d

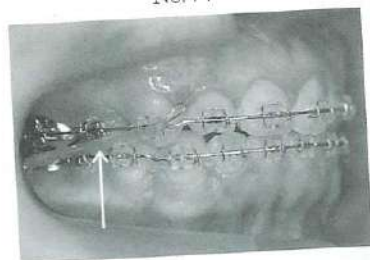
📖 DH26:P52

[問題 53] 矯正装置を装着した口腔内写真(別冊午後 No.11)を別に示す。矢印で示す固定の種類はどれか。1つ選べ。

- a II級ゴム
- b III級ゴム
- c 交叉ゴム
- d 垂直ゴム

▶矯正歯科学

No.11



選択肢考察

- a 写真はII級ゴムである。上顎歯列弓の犬歯部から下顎大白歯に向かってかけるゴムで、上顎前歯の舌側移動、下顎の近心移動、上顎大白歯の遠心移動などに用いる。
- × b III級ゴムは下顎歯列弓の犬歯部から上顎大白歯に向かってかけるゴムで、下顎前歯の舌側移動、下顎の遠心移動、下顎大白歯の遠心移動などに用いる。
- × c 交叉ゴムは咬合面を超えて斜めにかかるゴムで、交叉咬合や鉗状咬合の治療に用いる。
- × d 垂直ゴムは上下顎間におおよそ垂直になるようにかかるゴムで、開咬の治療などに用いる。

DH 26:P467

正解 a

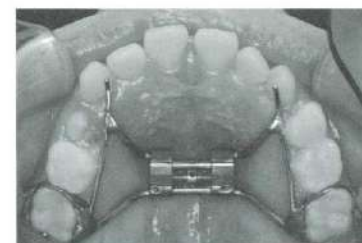
[問題 54] 矯正装置の写真(別冊午後 No.12)を別に示す。

装置の製作過程で構成咬合の採得が必要なのはどれか。1つ選べ。

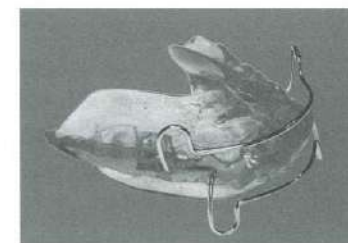
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶矯正歯科学

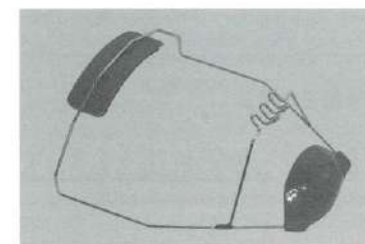
No.12



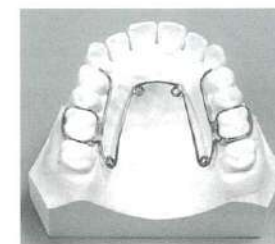
①



②



③



④

選択肢考察

構成咬合の採得とは、咬頭嵌合位ではなく、筋の機能力を発揮できる構成咬合位において咬合採得を行うことである。機能的矯正装置の製作に必要である。

- × a ①は急速拡大装置である。急速拡大装置は正中口蓋縫合を離開させることで、上顎歯槽基底部を拡大する固定式の装置である。
- b ②はアクチバートルである。アクチバートルは上下のレジジン床を一つにしたモノブロック構造で、構成咬合位において賦活化された筋の機能力を用いて上下顎骨の位置の是正を行い、歯に矯正力を伝達するための誘導線が付加された構造である。機能的矯正装置に分類される。
- × c ③はチンキャップである。オトガイ部にあてたチンキャップを後上方へ牽引し、下顎の成長を抑制するため装置である。
- × d ④はクワドヘリックスである。クワドヘリックスは、4か所のループが設置されている緩徐拡大装置である。

正解 b

DH 26:P464

[問題 55] 口腔習癖で保護者が発見しにくいのはどれか。1つ選べ。

- a 咬唇癖
- b 咬爪癖
- c 母指吸引癖
- d タングスラスト

▶矯正歯科学

選択肢考察

- a 咬唇癖は口唇の形態が変化するため発見しやすく、反対咬合ないし下顎遠心咬合の原因となる。
- b 咬爪癖は指を口に入れるため発見しやすく、爪の咬み方で正中離開、前歯部捻転などの原因となる。
- c 母指吸引癖は指を口に入れるため発見しやすく、前歯部開咬の原因となる。
- × d タングスラスト(弄舌癖)は口腔内で無意識に舌をもてあそび、習慣的に舌が歯列に圧を加える。目立ちにくく一般の保護者は発見しにくい。

DH 26:P 442

正解 d

[問題 56] 歯科医師と4歳児の処置後の会話の一部を示す。

歯科医師：今日で3回目だけど上手にできたね。シールが3枚になるから好きなおもちゃと交換できるよ。
 患 児：ありがとう。じゃあ、これにする。

下線部に該当するのはどれか。1つ選べ。

- a モデリング法
- b シェイピング法
- c タイムアウト法
- d トークンエコノミー法

▶小児歯科学

選択肢考察

- × a モデリング法は、模倣学習させたりビデオをみせたり、上手に治療されている子を見学させる方法である。
- × b シェイピング法は、目標とされる行動をいきなり獲得させるのではなく、最終的な目標行動に至るまでの行動を、容易にできるものから順にスモール・ステップで段階的に分割し、その行動が生じたら強化を行うことで、徐々に目標行動の獲得へ近づけていく方法である。知的障害児、自閉症児に適応的な社会行動を習得させる方法として多く用いられる。
- × c タイムアウト法は、治療の場から一度隔離する方法である。
- d トークンエコノミー法は、正の強化因子(シール、玩具、ほめる、微笑む、なでる、など)を与え、負の強化因子(身体の拘束、叱責、無視(反応しない、待つ)、孤立させる、など)を除去する、正の強化法である。

DH 26:P 889

正解 d

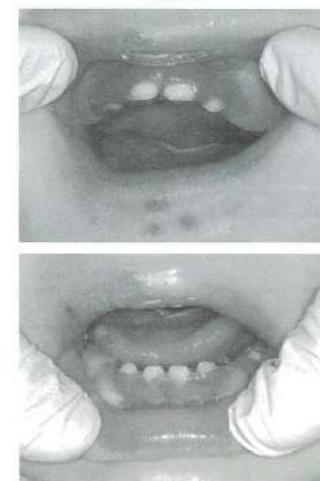
[問題 57] 3日前から38.5℃の発熱と歯肉腫脹がみられた小児の口腔内写真(別冊午後 No.13)を別に示す。検査の結果、疱疹性歯肉口内炎と診断された。

原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。

- a 風疹ウイルス
- b 麻疹ウイルス
- c 带状疱疹ウイルス
- d 単純ヘルペスウイルス

▶小児歯科学

No.13



選択肢考察

- × a 風疹(三日はしか)は発疹やリンパ節腫脹などを呈し、風疹ウイルスの感染症でみられる。
- × b 麻疹(はしか)は全身発疹とその前駆症状で口腔粘膜に Koplik 斑を呈し、麻疹ウイルスの感染症でみられる。
- × c 带状疱疹は知覚神経の走行に沿った帯状の疱疹を呈し、带状疱疹ウイルス(VZV)の感染症でみられる。
- d 疱疹性歯肉口内炎は口腔粘膜の水疱やびらんを呈し、単純ヘルペスウイルス(HSV)の感染症でみられる。

正解 d

[問題 58] パーキンソン病患者にみられる症状はどれか。2つ選べ。

- a 筋弛緩
- b 口呼吸
- c 歩行障害
- d 口腔ジスキネジア

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- × a 筋弛緩ではなく特徴的な筋硬直(固縮)がみられる。
- × b 口呼吸はパーキンソン病の患者にみられる症状ではない。
- c、○ d パーキンソン病は中脳黒質部のドパミン作動性ニューロンの変性の特徴とする錐体外路症状が現れる原因不明の疾患である。安静時振戦、寡動(動作緩慢)、筋硬直(固縮)、姿勢反射障害の4大症状を特徴とする。また、仮面様顔貌、構音障害、歩行障害(前傾姿勢、小刻み歩行、突進歩行)などの症状も特徴的であり、口腔不随意運動である口腔ジスキネジアもみられる。

正解 c、d

DH 26:P 509

【問題 59】 高齢者の歯周組織にみられる特徴はどれか。2つ選べ。

- a 歯肉の増殖
- b 歯根膜腔の狭窄
- c 歯槽骨密度の増加
- d セメント質の肥厚

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- × a 歯肉増殖は、薬の副作用などにより線維性に生じるものである。一般的に、加齢に伴い歯肉は退縮する。
- b 歯根膜の加齢変化として、歯根膜腔の狭窄、細胞成分の減少、歯根膜線維の硝子化や石灰化が報告されている。
- × c 歯槽骨は加齢に伴い多孔性の変化が認められることから、歯槽骨密度は減少する傾向にある。
- d 細胞性セメント質は一生を通じて添加されるため、加齢とともにセメント質は肥厚する。

正解 b、d

【問題 60】 知的能力障害で正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 成人期に発症する。
- b 退行現象の1つである。
- c 統合失調症が原因となる。
- d 知的機能と適応機能が障害される。

▶高齢者・障害者歯科学

選択肢考察

- × a 知的能力障害は発達期(18歳未満)に発症する。
- × b 知的能力障害は退行現象(獲得した機能を失うこと)とは異なり、発達の過程で知的機能や適応行動の障害である。
- × c 統合失調症は精神疾患であり、知的能力障害の原因ではない。知的能力障害の原因には染色体異常、代謝疾患、胎児期の感染症などがある。
- d 知的能力障害はDSM-5やICD-10の診断基準に含まれ、知能検査でのIQの低さだけでなく、日常生活や社会的スキルなどの適応行動も障害される。

正解 d

【問題 61】 中枢神経系全般にLewy小体が多数沈着することによって生じるのはどれか。1つ選べ。

- a 球麻痺
- b 認知症
- c 脳梗塞
- d 不整脈

▶高齢者・障害者歯科学

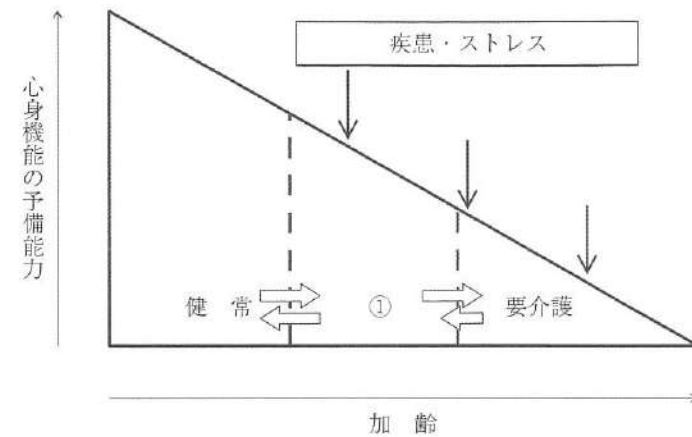
選択肢考察

- × a 球麻痺は下部脳神経における運動神経核の障害により、嚥下障害や構音障害などが生じる。
- b Lewy小体型認知症は、進行性の認知機能障害とともに幻視などの特有の精神症状とパーキンソンズム、レム睡眠行動障害、起立性低血圧を呈する神経変性疾患である。中枢神経系全般においてLewy小体の沈着を認める。
- × c、× d 脳梗塞、不整脈ではLewy小体の沈着はみられない。

正解 b

DH26:P503

【問題 62】 心身機能の加齢変化の図を示す。



①の診断基準となる項目はどれか。2つ選べ。

- a 睡眠時間
- b 体重減少
- c 主観的疲労感
- d 食品摂取の多様性

▶高齢者・障害者歯科学

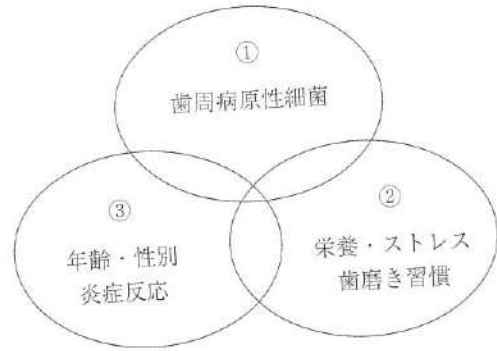
選択肢考察

- × a、× d ①はフレイルである。「Frailty(虚弱)」の日本語訳で、健康な状態と要介護状態の中間に位置し、身体的機能や認知機能の低下がみられる状態のことを指す。睡眠時間、食品摂取の多様性はフレイルの診断基準項目には含まれない。
- b、○ c フレイルの診断基準として①体重減少 ②歩行速度低下 ③握力低下 ④疲労感 ⑤身体活動レベル低下の5項目がある。

正解 b、c

DH26:P496

[問題 63] 歯周病のリスクファクターを図に示す。



②に分類される要因はどれか。2つ選べ。

- a 加齢
- b 喫煙
- c 肥満
- d 糖尿病

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- 図②は環境因子である。
- × a 加齢は宿主因子(③)に分類される。
 - b、○ c 環境因子は後天的リスクファクターで、喫煙、ストレス、栄養障害、肥満、薬物、社会経済学的環境などがある。
 - × d 糖尿病は宿主因子(③)に分類される。

DH 26:P 347

正解 b、c

[問題 64] 二次性咬合性外傷の原因はどれか。1つ選べ。

- a 咬頭干渉
- b 歯の脱臼
- c 歯肉の炎症
- d アタッチメントロス

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

二次性咬合性外傷は、歯周炎の進行により支持歯槽骨の減少した歯に生じ、生理的な咬合力でも引き起こされることである。

- × a 歯周組織は正常だが、早期接触などの咬頭干渉で生じる咬合性外傷は、一次性咬合性外傷という。
- × b 歯の脱臼は、歯に急激かつ異常な外力が加わることで、歯根膜の断裂が生じる状態である。
- × c 歯肉に炎症が生じただけでは、歯槽骨の吸収は生じないため、二次性咬合性外傷の原因にはならない。
- d 歯槽骨の吸収により、結合組織性付着が喪失(アタッチメントロス)し、生理的咬合力でも歯周組織に垂直的骨吸収を認める状態を二次性咬合性外傷という。

正解 d

[問題 65] 下線部分で正しいのはどれか。2つ選べ。

歯石の成分は、有機成分が①70～90%である。無機成分は②リン酸カルシウムや③炭酸カルシウムなどである。歯石は④内毒素を産生する。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 歯石は無機成分が70～90%である。有機成分は10～30%である。
- b、○ c 無機成分の大部分はリン酸カルシウムで、残りの部分炭酸カルシウム、リン酸マグネシウムなどである。
- × d 歯石は内毒素(リボ多糖)を含むが、それ自体が内毒素を産生することはない。

正解 b、c

DH 26:P 335

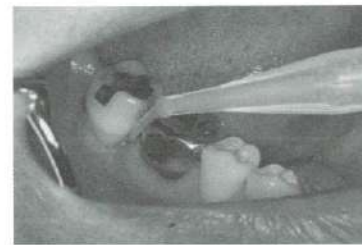
[問題 66] 歯周基本治療中の口腔内写真(別冊午後 No.14A)と用いた薬剤の写真(別冊午後 No.14B)を別に示す。

用いた薬剤はどれか。1つ選べ。

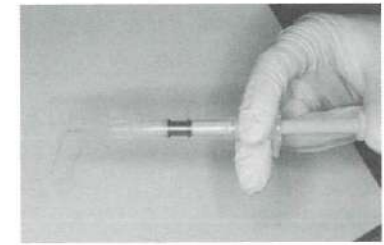
- a アスピリン
- b リドカイン
- c テトラサイクリン
- d 次亜塩素酸ナトリウム

▶ 歯科予防処置

No.14 A



B



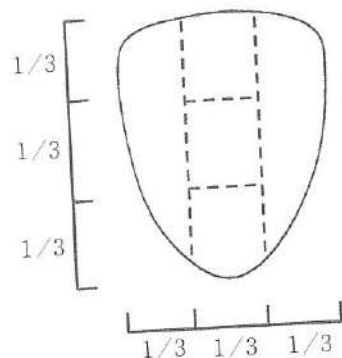
選択肢考察

- × a アスピリンは抗炎症薬として経口投与する。
- × b リドカインは局所麻酔薬である。
- c 写真は局所薬物配送システム(LDDS)を行っている。LDDSは歯周基本治療に含まれる局所応用の1つで、歯周ポケットに抗菌薬(テトラサイクリン系)や抗炎症薬を局所適用する方法である。
- × d 次亜塩素酸ナトリウムは根管清掃などに用いられる透明な液体である。

正解 c

DH 26:P 356

[問題 67] 口腔清掃状態を表す指数の診査部位の一部を図に示す。



この指数の説明で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 最高値は5である。
- b 歯垢と歯石を調べる。
- c 歯垢染色液を用いる。
- d 8歯を評価対象とする。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- PHP (Patient Hygiene Performance) は、歯面を5分割にして評価する。
- a 歯面の各部で歯垢があれば各1点を与え、5部位で5点となる。歯面の合計点数を被検歯面数で割ったものが個人のPHPスコアとなり、最高点は5点である。
 - × b PHPは口腔清掃状況の指標であり、歯石の有無は評価しない。
 - c 歯垢染色液を用いて、歯垢の有無を評価する。
 - × d PHPはOHI-Sと同様の6歯を対象とし、歯面を5分割して歯垢の付着を判定する。

DH26:P694

正解 a, c

[問題 68] プロービングで得られる情報はどれか。2つ選べ。

- a 根面形態
- b 歯根膜腔の拡大
- c 歯肉溝滲出液量
- d 根分岐部病変の有無

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a, d プロービングではポケット深さの測定のほか、根面の形態特徴や凹凸、上皮付着部位の確認が可能である。さらにプロービング時の出血(BOP)や排膿、歯肉縁下プラークの有無、根分岐部病変も確認できる。

DH26:P617

正解 a, d

[問題 69] エアスケーラーと比較した超音波スケーラーの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 歯石除去効率が劣る。
- b 歯面の損傷が少ない。
- c 使用中にチップが過熱する。
- d 智歯周囲炎に効果的である。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- 超音波スケーラーは、チップ先端を超音波で振動させることによって歯石を除去する器具である。
- × a, × b 超音波スケーラーはエアスケーラーに比べ振動数が多いため、歯石除去効率がが高いが機械的振動による歯面への損傷は多い。
 - c 超音波スケーラーは振動による多量の熱が発生するため、使用中はチップを冷却する。
 - d 智歯周囲炎は歯周ポケットの感染により起こり、病巣が歯周ポケット周囲にみられるため、超音波スケーラーによる歯石除去のほかキャビテーションが効果的である。

正解 c, d

DH26:P636

[問題 70] SPTにおけるリコール間隔の決定で重要なのはどれか。2つ選べ。

- a 年齢
- b 残存歯数
- c 口腔清掃状態
- d プロービング時の出血

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- × a 年齢ではなく、患者個人の感受性などをもとにして決定する。
- × b 残存歯数よりも、残存歯周組織の状態によって間隔を決める。
- c 口腔清掃状態が不良であると再発のリスクが高くなるため、リコール間隔を短くする必要がある。
- d プロービング時の出血は歯肉の炎症の存在を示しているため、病状安定化を図るためリコール間隔を短縮する必要がある。

正解 c, d

DH26:P376

要点

SPT (supportive periodontal therapy) は歯周基本治療、歯周外科治療、修復・補綴治療により病状が安定した歯周組織を維持するために行う治療であり、プラークコントロール、スケーリング、ルートプレーニング、咬合調整などが含まれる。

【問題 71】 キュレットスケーラーの先端部のシャープニングで適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 砥石を45°傾ける。
- b 2cm程度上下運動させる。
- c 先端を6時の方向に向ける。
- d 刃部内面を床面と垂直にする。

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a 先端に適合するように砥石を45°傾ける。
- b 砥石はスケーラー先端の半円形の丸みに合わせて2cm程度上下運動させる。
- × c スケーラーの先端を3時の方向に向けて、刃部内面を床面と平行にする。
- × d 刃部内面と砥石とのなす角度が90°になるように砥石を合わせる。

DH 26:P639

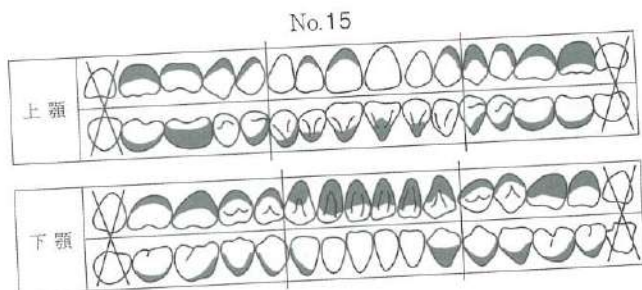
正解 a, b

【問題 72】 24歳の女性。歯垢染色後の歯垢付着状況の図(別冊午後 No.15)を別に示す。

この患者のDIはどれか。1つ選べ。

- a 1.0
- b 1.5
- c 4.0
- d 5.0

▶ 歯科予防処置



選択肢考察

- c DIは口腔内を6分割(7-4|3-3|4-7)し、さらに頬側と舌側に分けてプラークを観察する。1区分の頬側、舌側それぞれで最も高い値を示す歯を選ぶ。全区分の合計を区分の数で割り、DIを算定する。

		プラーク (DI)			計
		右臼歯部	前歯部	左臼歯部	
上顎	頬側	2	1	3	6
	舌側	3	2	1	
下顎	舌側	2	3	3	8
	頬側	1	2	1	

よって、24/6 = 4.0である。

正解 c

DH 26:P692

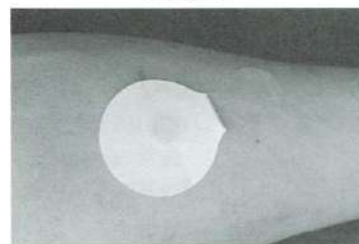
【問題 73】 う蝕活動性試験中の写真(別冊午後 No.16 A)とその結果の写真(別冊午後 No.16 B)を別に示す。

この検査の評価法と結果の評価で正しいのはどれか。1つ選べ。

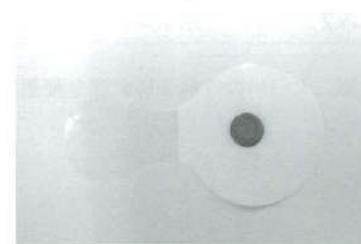
- a 検体は歯垢である。
- b 細菌の種類が同定できる。
- c 判定までに15秒を要する。
- d 結果はハイリスクと判定される。

▶ 歯科予防処置

No.16 A



B



選択肢考察

- × a RDテスト®の検体は唾液である。
- × b 酸産生量により細菌数を推測する方法であるが、細菌の種類はわからない。
- × c 唾液を浸透後、腕に15分間貼付したのち判定する。
- d 写真はRDテスト®を示している。ももとのディスクは青色であるが、酸産生量が多くpHが低下した場合に赤く変わる。写真では赤く変色しており、ハイリスクと判定される。

正解 d

DH 26:P659

【問題 74】 体重20kgの5歳児に2% NaF溶液による歯面塗布を行うことになった。

誤飲して急性中毒を発現する可能性がある最小量はどれか。1つ選べ。

- a 2.2 mL
- b 4.4 mL
- c 22.0 mL
- d 44.0 mL

▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- b 誤飲による急性中毒発現量は2mg/kgFであり、設問では患児の体重が20kgであるため、急性中毒量は40mgである。2% NaF溶液には9mg/mLのFが含まれており、40 ÷ 9 = 4.444 mLとなる。

正解 b

DH 26:P678

次の文を読み、[問題 75]、[問題 76] に答えよ。

13歳の男子。定期健診のため来院した。第二大臼歯に歯ブラシがうまく届かないという。診査の結果、う蝕は認められなかった。口腔内写真(別冊午後 No.17 A)と器具の写真(別冊午後 No.17 B)を別に示す。

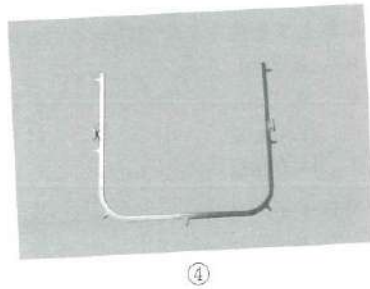
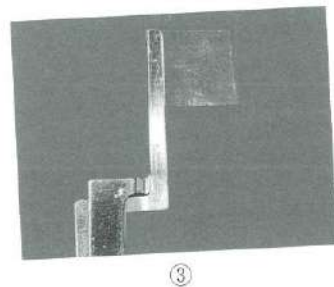
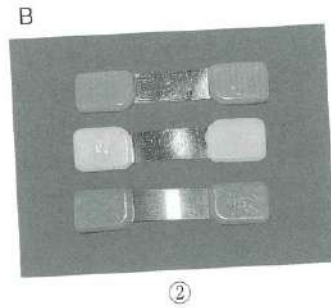
[問題 75] 第二大臼歯のう蝕予防に効果的と考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a フッ化物歯面塗布
- b レジン系小窩裂溝充填材
- c フッ化ジアンミン銀溶液塗布
- d グラスアイオノマー系小窩裂溝充填材

[問題 76] 第二大臼歯のう蝕予防に際し使用する器具はどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科予防処置



選択肢考察

[問題 75] 萌出途中の臼歯のう蝕予防に使用するものは、フッ化物歯面塗布やグラスアイオノマー系セメントによる小窩裂溝充填などがある。

- a 萌出途中の歯は、エナメル質が成熟していないため、フッ化物歯面塗布により歯質を強化する。
- × b、○ d レジン系小窩裂溝充填材を使用する際は、確実な防湿が必要となるためラバーダム防湿を行う。口腔内写真より萌出途中の歯にクランプを装着するのは困難なため、グラスアイオノマー系小窩裂溝充填材による小窩裂溝充填を行う。
- × c う蝕は認められないため、フッ化ジアンミン銀の塗布によるう蝕の進行抑制効果は必要ない。

[問題 76]

- a ①はポリッシングブラシとハンドピースとペーストである。充填前の歯面清掃に使用する。
- × b ②はコンタクトゲージであり、隣接面の接触強さを調べる器具である。咬合面に適用する小窩裂溝充填法には不要である。
- c ③は咬合紙と咬合紙ホルダーである。充填後に咬合状態の確認をする。
- × d ④はラバーダムフレームである。半萌出歯にラバーダム防湿は困難である。

正解 [問題 75] a, d
[問題 76] a, c

DH 26:P672

[問題 77] 手用スケーラーの写真(別冊午後 No.18)を別に示す。

この器具の使用目的はどれか。2つ選べ。

- a 歯肉縁上歯石の除去
- b 深い歯肉縁下歯石の除去
- c 内因性色素沈着物の除去
- d 歯冠表面のプラーク除去

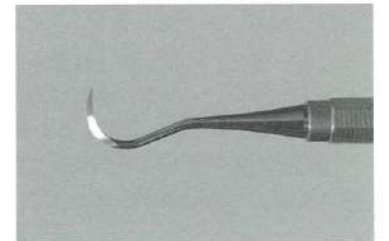
▶ 歯科予防処置

選択肢考察

- a、d 写真の器具はシツクルタイプスケーラーである。シツクルタイプスケーラーは歯肉縁上歯石の除去、浅い歯肉縁下の歯石除去、外来性色素沈着物の除去、歯肉縁上・歯冠表面のプラークの除去に用いられる。

正解 a, d

DH 26:P627



[問題 78] 83歳の女性。1年前に脳梗塞を発症し、現在は右半身の麻痺が残っているが、認知機能に異常はない。利き手に麻痺があるため、うまく歯ブラシを使うことができず、家族から音波式電動歯ブラシの使用方法について質問を受けた。

適切な指導内容はどれか。1つ選べ。

- a 歯磨き粉は必ず使用してください。
- b 歯面に強く押し当てると効率がよいです。
- c ご家族の方も使用方法を理解してください。
- d 毛先を軽く歯面に当てて前後に往復させてください。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 歯磨剤は使用した方がいいが、必ず使用しなければならないわけではない。
- × b 歯面に軽く当てるようにする。
- c 電動歯ブラシは手用歯ブラシに比べ重く、介助が必要となる場合もある。使用方法についての理解が必要であり、不適切な使用法は歯肉の損傷などを引き起こすことがある。
- × d 毛先を軽く歯面に当ててそのまま10秒くらいその位置でブラッシングし、少しずつ前に移動させていく。

正解 c

[問題 79] 84歳の女性。乳癌の治療のため入院している。歯科医師より周術期の口腔衛生管理を指示されて定期的に病室を訪問している。

この際、この多職種連携として歯科衛生士が果たす役割で適切なのはどれか。2つ選べ。

- a 医師に代わって抗菌薬投与のタイミングを判断する。
- b 摂食嚥下障害や誤嚥リスクに関して言語聴覚士と情報共有する。
- c 周術期チームの指示のもとで口腔内清掃およびセルフケア指導を行う。
- d 看護師が行う創部管理に支障がないよう口腔ケアは手術当日に実施する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 薬剤の投与や処方、処方は医師の業務範囲であり、歯科衛生士は医師の指示なしに薬剤投与を判断できない。
- b 周術期には口腔乾燥、舌運動低下、嚥下反射低下などがみられ、歯科衛生士は言語聴覚士、管理栄養士、看護師などと協働して嚥下評価や口腔機能訓練の実施・情報共有を行う。
- c 歯科衛生士は、歯科医師の指示のもとで専門的口腔清掃(PMTC等)とセルフケア支援を行い、周術期口腔機能管理チームの一員として術前から術後までの感染予防に貢献する。
- × d 口腔ケアは手術当日ではなく術前に実施することで口腔内の細菌数を減らし、術後肺炎や創感染の予防効果が得られる。

正解 b、c

DH 26:P 753

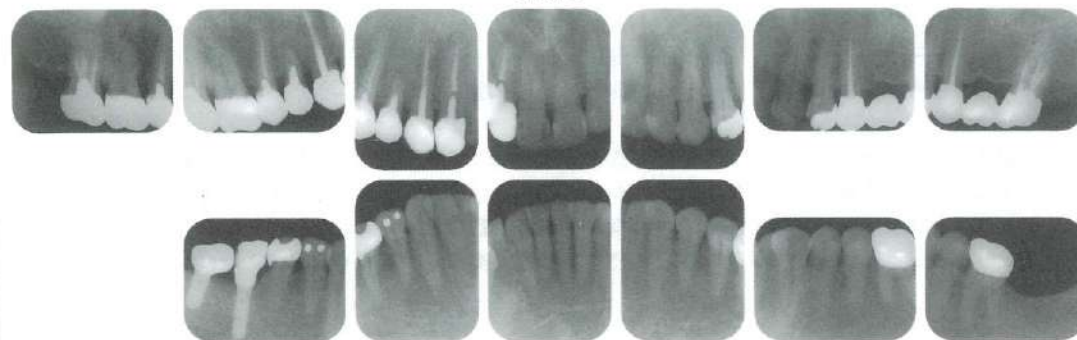
[問題 80] 67歳の男性。メンテナンスのため来院した。来院時のエックス線画像(別冊午後 No. 19)を別に示す。

下顎右側大臼歯部の口腔衛生管理を行う際に配慮すべき点はどれか。2つ選べ。

- a 防御機構は天然歯より強い。
- b シャーピー線維による付着がある。
- c 周囲の炎症は深部に進行しやすい。
- d 金属を使用しない歯間ブラシを選択する。

▶ 歯科保健指導

No. 19



選択肢考察

- × a インプラント周囲は天然歯と異なり防御機構が弱く、炎症が深部へ進行しやすい。
- × b インプラント周囲粘膜とインプラント体の間には、シャーピー線維は存在しない。
- c インプラント周囲には歯根膜がないため、炎症が天然歯の歯周炎よりも急速にインプラント周囲炎へと進行し、骨吸収を引き起こしやすい。そのため、より専門的メンテナンスが必要である。
- d インプラント体の表面は、金属製のワイヤーで傷つけられるとプラークが付着しやすくなるため、プラスチックなどで覆われた非金属製の清掃用具を選ぶよう指導する。

正解 c、d

DH 26:P 671

[問題 81] ある患者の初診時の歯科衛生士の業務記録を示す。

患者は、毎日2回のブラッシングを行っているが、^①間食の回数が多いと話している。
^②歯周検査の結果、軽度の歯肉出血が認められ、^③プラークスコアは40%であった。
 そこで歯科衛生士はプラークコントロールの改善を目的として^④ブラッシング指導を実施した。

SOAPにおける「P」はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 間食の有無は患者から聴取した情報であり、「S:主観的情報」に分類される。
- × b 歯周検査結果は観察・測定によるデータで、「O:客観的情報」に分類される。
- × c プラークスコアは測定値であり、「O:客観的情報」に分類される。
- d ブラッシング指導はアセスメントをもとに立てた実施計画に基づく内容であり、「P:計画」に該当する。

DH 26:P764

正解 d

[問題 82] 特定健康診査で詳細な検診はどれか。2つ選べ。

- a 眼底検査
- b 心電図検査
- c 肝機能検査
- d 血中脂質検査

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a、○ b 詳細な検診は、血糖・脂質・血圧および肥満の健診結果、貧血が疑われる者から、医師の判断により実施される検診で、心電図検査や眼底検査、貧血検査がある。
- × c、× d 肝機能検査や血中脂質検査は基本的な検診で、必ず行われるものである。

DH 26:P195

正解 a、b

[問題 83] 76歳の男性。食後よくむせることを主訴として来院した。1年前に脳血管疾患を発症したという。

この患者への食事の基本姿勢の適切な指導はどれか。2つ選べ。

- a 姿勢は常に固定して介助者が支える。
- b 足底が床につく高さに椅子を設定する。
- c 肘が90度に曲がる高さに机を設定する。
- d 頭部をわずかに前屈させ食塊の通過を促す。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 体幹を支えることは重要であるが、常に姿勢を固定するのではなく、対象者自身の嚥下反射を阻害しないよう、柔軟な姿勢調整を可能にすることが重要である。
- b 足底がしっかり床につくように椅子を選ぶことで、身体の体幹が安定し、咀嚼や嚥下動作に集中できる。
- c 机の高さは肘関節が90度程度に曲がる位置が適切である。これは食事動作の安定性を確保し、正しい姿勢を維持するために重要である。
- × d 頭部をわずかに前屈させるのは適切な姿勢だが、その目的は食塊が咽頭へ速やかに到達させることではない。到達速度をコントロールし、誤嚥を防ぐためである。

正解 b、c

[問題 84] 88歳の男性。食事中にむせることを主訴として家族とともに来院した。特記すべき既往はない。食事支援において、とろみ調整食品を使用することになった。

歯科衛生士による支援で適切ではないのはどれか。1つ選べ。

- a 液体の通過速度を遅らせ誤嚥を防ぐ。
- b とろみの粘度は飲む直前に確認する。
- c とろみの粘度が高いと口腔内に残留しやすい。
- d 濃いとろみはスプーンを傾けるとゆっくり落ちる。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a とろみ調整食品は、液体の流動性を制御して嚥下時の咽頭通過速度を遅らせることで誤嚥を防止し、安全に嚥下を行うために用いられる。
- b とろみの粘度は時間経過や温度によって変化することがあるため、飲む直前に粘度の状態を確認する必要がある。
- c とろみを強くしすぎると、口腔内や咽頭部に付着・残留するリスクが高まる。特に高齢者や口腔乾燥がある患者では、嚥下後の残留物による誤嚥リスクが増すため、適切な濃度調整が重要である。
- × d 日本摂食嚥下リハビリテーション学会の嚥下調整食分類2021では、「濃いとろみ(段階3)」はスプーンを傾けても形状がある程度保たれ、流れにくい性状に該当する。

正解 d

【問題 85】 ストレス・コーピングで情動焦点コーピングはどれか。2つ選べ。

- a 上司への相談
- b 勤務時間の調整
- c カウンセリング
- d 親しい友人との会話

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

ストレスの原因(ストレッサー)への対処の過程を「ストレス・コーピング」という。その方法は「問題焦点コーピング」と「情動焦点コーピング」に分類される。問題焦点コーピングは、ストレッサーそのものに働きかけて問題を解決する方法である。情動焦点コーピングは、ストレッサー自体を変えるのではなく、それに対する考え方や感じ方を変えようとする方法である。

- × a 上司への相談は、職場環境というストレッサーに直接働きかけて解決を試みているため問題焦点コーピングである。
- × b 勤務時間の調整はストレッサーを変化させて負担を軽減する方法であり、問題焦点コーピングに分類される。
- c カウンセリングは自身の感情や認知の整理を通してストレスに対処する方法であり、情動焦点コーピングである。
- d 親しい友人との会話は情緒的な支援を得て感情を安定させる行動であり、情動焦点コーピングである。

DH 26:P769

正解 c, d

【問題 86】 80歳の男性。口腔乾燥を主訴として歯科訪問診療の依頼を受けた。1年前から入所している。その際、施設より要介護高齢者に対する歯科保健指導の実施において、多職種連携を考慮した指導を依頼された。

歯科衛生士による支援として適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 胃瘻患者へは口腔清掃を省略する。
- b 認知症患者へは残存機能を活用して支援する。
- c 義歯装着患者へは義歯は装着したまま清掃をする。
- d 食事前の口腔清掃は唾液分泌促進と味覚感受性の向上を促す。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 経口摂取の有無にかかわらず胃瘻管理患者では、口腔内細菌の増殖により誤嚥性肺炎はリスク因子となる。
- b 認知症患者への指導・支援では、対象者のペースや感情を尊重し、残存機能の活用が、セルフケアの維持に有効である。
- × c 義歯を装着したまま就寝すると、義歯性口内炎や誤嚥性肺炎のリスクが高まるため、原則として就寝時には義歯を外し、清掃後に水(または義歯洗浄剤)に浸して保管するよう指導する。
- d 食事前の口腔清掃や唾液腺マッサージは、唾液分泌を促進し、味覚・嚥下の改善の目的で行われる。

DH 26:P589

正解 b, d

【問題 87】 66歳の女性。食事が飲み込みにくいことを主訴として来院した。口腔機能の低下が疑われたため、口腔機能精密検査を行った。

口腔機能低下症と診断された患者への歯科衛生介入の記述で適切なものはどれか。2つ選べ。

- a 咀嚼機能はグルコース分析で評価する。
- b 低舌圧の評価は一律40kPa未満である。
- c 口腔機能が低下した項目のみを指導する。
- d 舌口唇運動機能は「パ」「タ」「カ」の3音で評価する。

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 咀嚼機能の評価は、主に咀嚼能力測定(グルコース分析法、グミゼリー法、ピーナッツ法など)によって行われる。グルコース分析法は、咀嚼効率を客観的に評価する。
- × b 低舌圧の診断基準値は年齢や性別により異なるが、一般的に30kPa未満を低舌圧と判定する。
- × c 口腔機能低下症の患者への介入では、低下した機能の改善だけでなく、維持されている機能の保持・強化も重要である。機能の一部だけに焦点を当てるのではなく、口腔全体の健康維持を目的とした包括的介入を継続して行う。
- d 口腔機能低下症の診断項目の一つである舌口唇運動機能は、オーラルディアドコキネシス(ODK)により評価される。「パ」「タ」「カ」の3音をそれぞれ1秒間に反復発音できる回数を測定し、舌・口唇の運動速度と協調性を評価する。

正解 a, d

DH 26:P552

【問題 88】 日本人の食事摂取基準(2025年版)で策定されている65歳以上が目標とするBMI(kg/m²)の範囲はどれか。1つ選べ。

- a 18.5~24.9
- b 19.5~24.9
- c 20.0~24.9
- d 21.5~24.9

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- × a 18~49歳の目標範囲である。
- × b 該当する年齢区分はない。
- × c 50~64歳の目標範囲である。
- d 65歳以上の高齢者におけるBMIの目標範囲である。

正解 d

DH 26:P723

【問題 89】 75歳の女性。5年前に脳梗塞を発症後、歩行が不自由になったため、2か月前から介護老人福祉施設に入所している。現在、食事は自立しているが、水を飲む際にむせることがあるという。適切な食事形態はどれか。1つ選べ。

- a 卵豆腐の銀あん
- b 銀杏入り茶碗蒸し
- c 豆腐とわかめの味噌汁
- d ところてんの酢醤油かけ

▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- a 卵豆腐はべたつかず、あんがあるため誤嚥しにくい。自分の意思や意図と実際の食塊移動が伴い、うまく運動できるような食事形態を検討する。嚥下の準備ができていないのに食塊移動が始まると、誤嚥しやすくなる。
- × b 茶碗蒸しはよいが、銀杏が滑りやすく、誤嚥を起こしやすい。
- × c 味噌汁はさらっとした液体であり、わかめは口腔内や喉にはりつくため、誤嚥を起こしやすい。
- × d ところてんはつるつると滑りやすく、また酢醤油はむせやすく誤嚥を起こしやすい。

DH26:P579

正解 a

【問題 90】 85歳の男性。手の震えによる義歯の着脱困難と口腔清掃困難を主訴として来院した。最近家族が家の中で犬を飼い始めたという発言があったが、家族によるとその事実はないという。最も考えられる障害部位はどれか。1つ選べ。

- a 小脳
- b 前頭葉
- c 側頭葉
- d 後頭葉

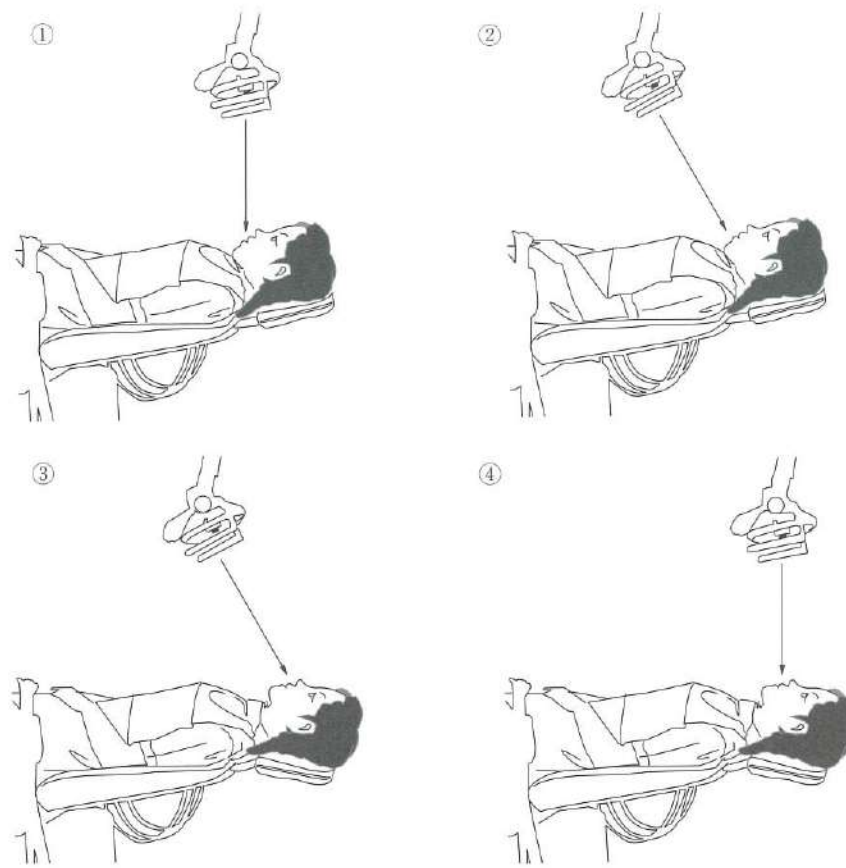
▶ 歯科保健指導

選択肢考察

- 手足の震え、存在しない人や動物を見る幻視は変性性認知症のうちの、Lewy小体型認知症に特徴的な症状である。
- × a 小脳は運動を円滑かつ協調的に行う機能を担う。この部位に障害が生じると、運動失調やバランス障害が出現する。
 - × b、× c 前頭葉や側頭葉に萎縮がみられるのは Alzheimer型認知症や前頭側頭型認知症である。記憶障害、見当識障害、無関心などの精神症状を主な特徴とする。
 - d 後頭葉には視覚野がある。Lewy小体型認知症では異常タンパクの蓄積により、幻視が出やすい。また振戦などのパーキンソン症状も生じる。

正解 d

【問題 91】 診療時のライティングの図を示す。



下顎のライティングで適切なのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- a ①は下顎のライティングで、ヘッドレストを水平位より上げ、正面から当てるようにする。
- × b ②のヘッドレストは下顎のライティング位置である。
- × c ③は上顎のライティングの位置である。ヘッドレストをやや後ろに下げて咬合平面をたてると行いやすい。
- × d ④はヘッドレストは上顎のライティング位置として適正であるが、ライトの位置が不適切である。

正解 a

DH26:P797

〔問題 92〕 歯科用ユニット装置の写真(別冊午後 No.20)を別に示す。
この装置の使用目的はどれか。2つ選べ。

- a 根管内の乾燥
- b ワックスの冷却
- c 切削後の口腔内洗浄
- d 歯肉縁上の歯垢除去

▶ 歯科診療補助

No.20



選択肢考察

- 写真の装置はスリーウェイシリンジである。
- × a 根管内の乾燥にスリーウェイシリンジを用いると、根尖の皮下組織に気腫が生じるため使用してはならない。
 - b エアを吹きかけ、熱したワックスの冷却に用いる。
 - c スプレーの場合、切削片の口腔内洗浄に用いられる。
 - × d スリーウェイシリンジでは歯肉縁上の歯垢除去はできない。

正解 b、c

〔問題 93〕 ラテックス製グローブ装着時の写真(別冊午後 No.21)を別に示す。
写真のグローブを装着して扱おうと硬化阻害を生じるのはどれか。1つ選べ。

- a 寒天印象材
- b 石膏印象材
- c 合成ゴム質印象材
- d アルジネート印象材

▶ 歯科診療補助

No.21



選択肢考察

- ラテックス製グローブに含まれる硫黄化合物は合成ゴムの硬化を阻害する。
- c 合成ゴム質印象材は硫黄化合物により硬化が阻害される。

正解 c

〔問題 94〕 無歯顎症例の精密印象採得に用いられる非弾性印象材はどれか。1つ選べ。

- a 寒天印象材
- b シリコーンゴム印象材
- c モデリングコンパウンド
- d 酸化亜鉛ユージノール印象材

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

印象の対象が無歯顎の場合、非弾性印象材を使用する方法がある。非弾性印象材には印象用石膏、印象用ワックス、酸化亜鉛ユージノール、モデリングコンパウンドがある。

- × a 寒天印象材は、寒天・アルジネート連合印象法で用いられる。
- × b シリコーンゴム印象材は個人トレーおよび個歯トレーを用いた精密印象採得に用いる。
- × c モデリングコンパウンドは非弾性印象材で無歯顎の概形印象採得に用いられる。
- d 酸化亜鉛ユージノール印象材は非弾性印象材で無歯顎の精密印象採得に用いられる。

正解 d

DH26:P807

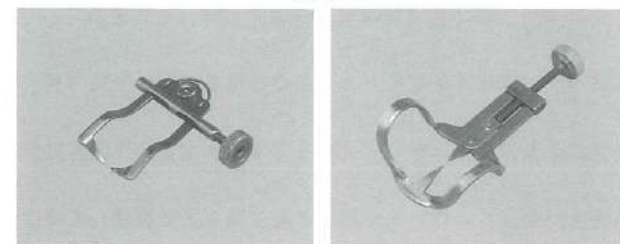
〔問題 95〕 歯間分離の写真(別冊午後 No.22)を別に示す。

歯間分離で牽引の原理を利用するのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

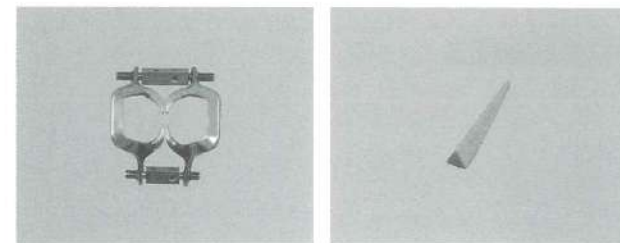
▶ 歯科診療補助

No.22



①

②



③

④

歯間分離には即時歯間分離法と緩徐歯間分離法がある。即時歯間分離法には、くさび分離型のセパレーターと牽引型のセパレーターの二種類がある。

- × a ①はエリオット型歯間分離器である。くさびの原理を利用した即時歯間分離法で、臼歯部に応用される。
- × b ②はアイボリー型歯間分離器である。くさびの原理を利用した即時歯間分離法である。
- c ③はフェリアー型歯間分離器である。牽引の原理を利用した即時歯間分離法である。
- × d ④はウェッジである。くさびの原理を利用した即時歯間分離法である。

正解 c

DH26:P827

【問題 96】 60歳の男性。3年前から心臓ペースメーカーを装着している。転倒による上顎前歯の破折を訴えて来院した。初診時の口腔内写真(別冊午後 No.23)を別に示す。行えない検査はどれか。1つ選べ。

- a 温度診
- b 動揺度測定
- c 歯髄電気診
- d エックス線検査

▶ 歯科診療補助

No.23



選択肢考察

心臓ペースメーカーを装着した患者に、歯髄電気診や超音波など電気を使用した器具を用いるのは不適切である。

- a 温度診は歯髄の生死を診査し、心臓ペースメーカーを装着した患者にも行える。
- b 動揺度測定は受傷後の歯の脱臼を診査し、心臓ペースメーカーを装着した患者にも行える。
- × c 電気歯髄診断器などの電気を使用する器材は、心臓のペースメーカーに影響を与える可能性があるため行えない。
- d エックス線検査は受傷後の破折の位置を確認し、心臓ペースメーカーを装着した患者にも行える。

正解 c

DH 26:P 305

【問題 97】 32歳の男性。上顎前歯部の審美障害を主訴として来院した。口腔内写真(別冊午後 No.24 A)と処置に際し準備した器具(別冊午後 No.24 B)を別に示す。5年前に抜髄処置を受けたという。漂白処置をすることになった。

処置方針の決定の際に準備するのはどれか。1つ選べ。

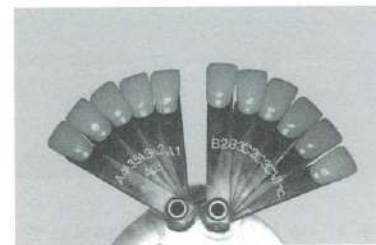
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.24 A

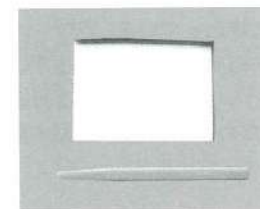


B



①

②



③

④

選択肢考察

無髄歯に対して漂白処置はウォーキングブリーチ法を行う。髄腔内から象牙細管を介し漂白剤が作用するため、確実に効果が高い特徴をもつ。

- a ①はシェードガイドである。漂白処置方針の決定の際、基準となるシェードガイドを用いて、対象歯との色差を確認する。
- × b ②はコンポジットレジン修復に用いる照射器である。コンポジットレジン等による緊密な仮封時に使用する。
- × c ③は紙練板とプラスチックスパチュラである。髄腔開拓を経て過ホウ酸ナトリウムと過酸化水素水の練和に用いる。
- × d ④はホームブリーチ法で用いるカスタムトレーである。

正解 a

DH 26:P 301

【問題 98】 65歳の男性。右側臼歯部の咀嚼障害を主訴として来院した。検査の結果、上顎右側第一小臼歯の欠損に対しブリッジを製作することになった。ブリッジの写真(別冊午後 No.25 A)と治療過程のある操作の写真(別冊午後 No.25 B)を別に示す。

- 次に行う処置で考えられるのはどれか。1つ選べ。
- a 咬合調整
 - b ろう付け用コア採得
 - c 隣接面接触関係の調整
 - d 支台歯形成面の仮着材の除去

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

写真Bは適合検査材で内面の適合状態を確認しており、均一な厚さの適合検査材が観察され、適合状態は良好である。ブリッジの調整手順は①隣接面接触状態の確認、②辺縁部・内面の適合状態の確認、③咬合調整、④仮着あるいは合着である。

- a 内面の適合状態に問題ないことが確認されたため、次に咬合調整を行う。
- × b 支台装置とポンティック部分はすでに連結されており、ろう付けは終わっている。
- × c 適合検査材で内面の適合状態を確認しているため、隣接面の接触関係の調整はすでに終わっている。
- × d プロビジョナルレストレーション除去後、まず、支台歯形成面の仮着材の除去を行う。支台歯の清掃を行った後にブリッジを試適し調整するため、支台歯形成面の仮着材の除去は終わっている。

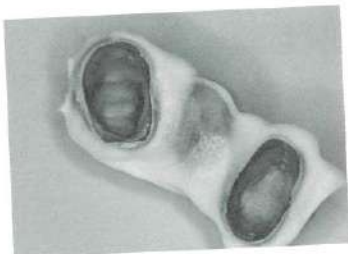
正解 a

DH 26:P 408

No.25 A



B



【問題 99】 液成分にポリアクリル酸を主成分とするのはどれか。2つ選べ。

- a 接着性レジンセメント
- b グラスアイオノマーセメント
- c 酸化亜鉛ユージノールセメント
- d ポリカルボキシレートセメント

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- × a 接着性レジンセメントはMMA系とコンポジットレジン系に分類される。MMA系の液成分はMMA(メチルメタクリレート)で、コンポジットレジン系は多官能性モノマーが含まれる。
- b グラスアイオノマーセメントは、アルミノシリケートガラスが粉末に、液にポリアクリル酸を使用している。合着用セメントは、酸性の水溶液と塩基性の粉末で構成されている。酸性の水溶液にはポリアクリル酸やリン酸が用いられ、ポリアクリル酸はリン酸よりも中性に近く、歯質との接着性がある。
- × c 酸化亜鉛ユージノールセメントは、粉末には酸化亜鉛が使用されており、液にユージノールが使用されている。
- d ポリカルボキシレートセメントは、酸化亜鉛が粉末成分として使用され、液にはポリアクリル酸を使用している。

正解 b d

DH 26:P 298

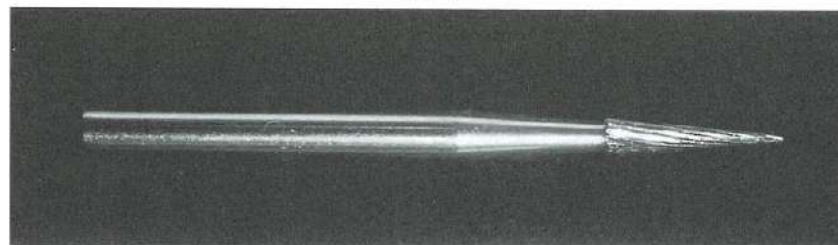
【問題 100】 回転式器具の写真(別冊午後 No.26)を別に示す。

用途はどれか。1つ選べ。

- a う蝕除去
- b 髓室開拓
- c メタルインレーの除去
- d コンポジットレジンの形態修正

▶ 歯科診療補助

No.26



選択肢考察

- × a う蝕除去はラウンドタイプのスチールバーを用いる。
- × b 髓室開拓は先端がストレートタイプのダイヤモンドポイントで行う。
- × c メタルインレーの除去は切削用カーバイドバーで行う。
- d 写真のバーは研磨用(仕上げ用)カーバイドバーである。主に支台歯形成時のマージンの仕上げや、コンポジットレジン修復の形態修正に用いられる。

正解 d

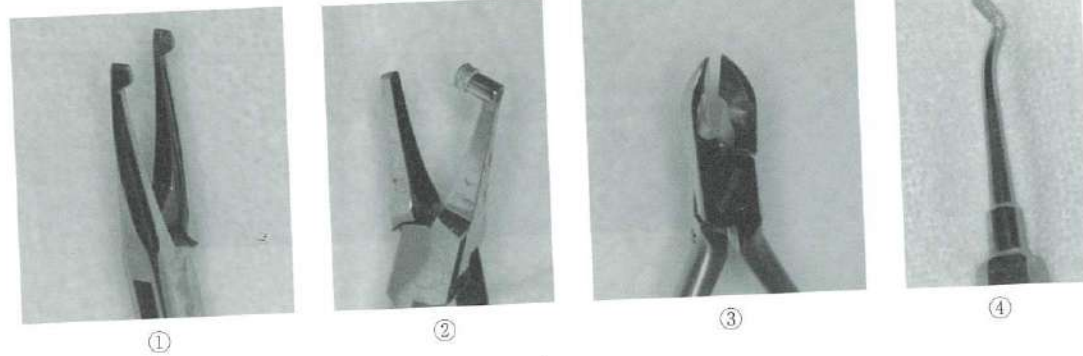
DH 26:P 838

[問題 101] 矯正器具の写真(別冊午後 No.27)を別に示す。
ブラケットにワイヤーを装着するとき使用するのどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.27



選択肢考察

- a ①はホウブライヤーである。結紮線の結紮に用いる。
- × b ②はバンドリムービングプライヤーである。バンドの撤去に用いる。
- c ③はピンアンドリガチャーカッターである。結紮線の切断に用いる。
- × d ④はバンドプッシャーである。バンドを歯に適合するのに用いる。

正解 a, c

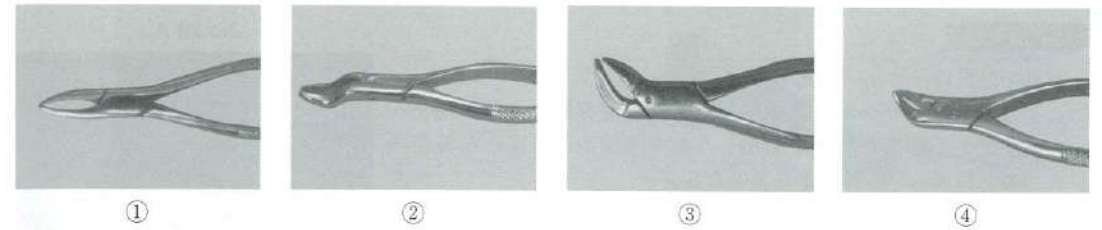
DH 26:P 897

[問題 102] 抜歯鉗子の写真(別冊午後 No.28)を別に示す。
上顎大白歯の抜去に使用するのどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.28



選択肢考察

- × a ①は上顎前歯用である。
- b ②は2か所で屈曲したバイアングルで、上顎大白歯用である。
- × c ③は下顎前歯用である。
- × d ④は1か所で屈曲したモノアングルで、下顎大白歯用である。

正解 b

DH 26:P 857

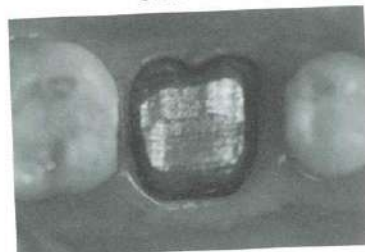
【問題 103】 40歳の女性。下顎左側第一大臼歯に全部金属冠を製作することになった。支台歯形成後の口腔内写真(別冊午後 No.29 A)と印象採得前に行った処置の写真(別冊午後 No.29 B)を別に示す。

この処置の目的はどれか。1つ選べ。

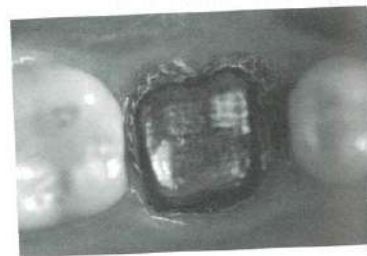
- a 歯肉辺縁の整形
- b 歯肉辺縁の消毒
- c 印象材の硬化促進
- d マージンラインの明示

▶ 歯科診療補助

No.29 A



B



選択肢考察

写真の処置は歯肉圧排である。

- d マージンラインとは、修復物と歯牙の境界線であり、適合が悪いと隙間に細菌が繁殖しう蝕や歯周病の原因となるため、精確な印象採得が必要となる。

DH26:P832

正解 d

要点

● 歯肉圧排の目的

- ① 歯肉縁下の歯面の検査を容易にする
- ② 歯肉縁下に及ぶ窩洞形成を容易にする
- ③ 歯肉縁下の修復を容易にする
- ④ 歯肉縁下の印象採得を容易にする

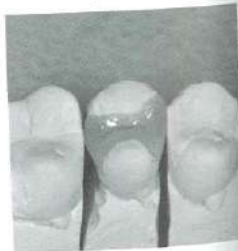
【問題 104】 修復物の写真(別冊午後 No.30)を別に示す。

合着時に使用する器具はどれか。2つ選べ。

- a 光照射器
- b シェードガイド
- c ラバーダムクランプ
- d 仕上げ用スチールバー

▶ 歯科診療補助

No.30



選択肢考察

- a 光照射器は、レジンセメントやボンディング材を重合させるために必要である。
- × b シェードテイキングは、印象採得時に行う。
- c ラバーダムによって術野を防湿し、確実な接着を得る。
- × d スチールバーでコンポジットレジン进行を切削することはできない。

DH26:P822

正解 a, c

【問題 105】 一次救命処置(BLS)の回復体位例を図に示す。

①



②



③



④



正しい体位はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- b 回復体位は、意識はないが自発呼吸が保たれている傷病者に対して行う体位管理で、気道が確保されるように頭部をやや後屈させ、口は下向きにして開口させる。

正解 b

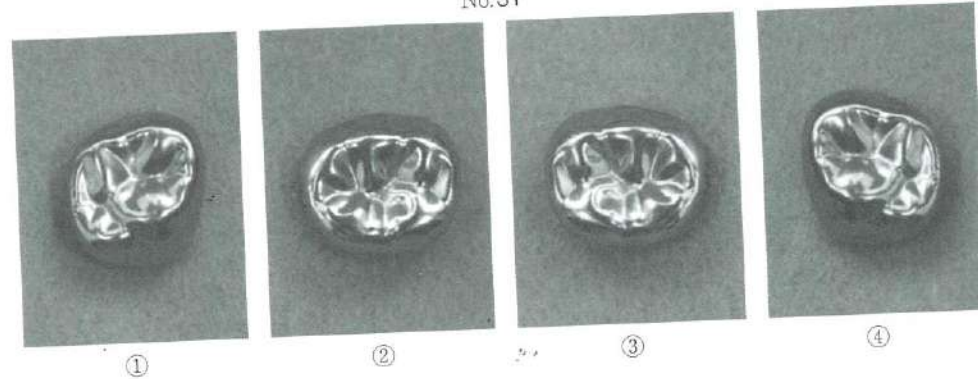
[問題 106] 8歳の女児。上顎右側第一乳臼歯のう蝕治療のため来院した。歯冠崩壊が著しいため、乳歯用既製冠による修復処置を行うことになった。既製金属冠の写真(別冊午後 No.31)を別に示す。

使用するのどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

▶ 歯科診療補助

No.31



選択肢考察

- a ①は上顎右側乳臼歯用である。
- × b ②は下顎左側乳臼歯用である。
- × c ③は下顎右側乳臼歯用である。
- × d ④は上顎左側乳臼歯用である。

正解 a

DH 26:P884

[問題 107] あるスクリーニング検査の写真(別冊午後 No.32)を別に示す。この検査法の説明を示す。

喉頭隆起および舌骨部にそれぞれ指腹をあて、唾液を連続して嚥下するように指示する。① 間で何回嚥下ができるかを観察する。② 未満であれば、嚥下障害の可能性が高いと判断する。

に入る語句の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- ① ②
- a 30秒——2回
- b 30秒——3回
- c 1分——2回
- d 1分——3回

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- b 写真のスクリーニング検査は反復唾液嚥下テスト(RSST)である。喉頭隆起および舌骨部にそれぞれ指腹をあて、唾液を連続して嚥下するように指示する。30秒間で何回嚥下ができるかを観察する。3回未満であれば、嚥下障害の疑いがある。

正解 b

DH 26:P557

No.32



[問題 108] 検査機器の写真(別冊午後 No.33)を別に示す。この機器を用いて行う検査はどれか。1つ選べ。

- a 口臭
- b 舌圧
- c 口唇閉鎖
- d 口腔湿潤度

▶ 歯科診療補助

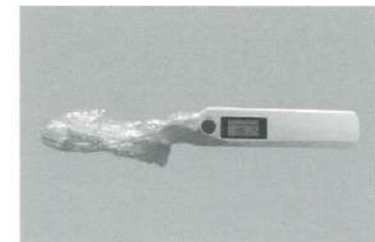
選択肢考察

- × a 口臭検査にはガスクロマトグラフィなどを用いる。
- × b 舌圧は舌圧測定器を用いて測定する。
- × c 口唇閉鎖はオーラルディアドコキネシスによって評価する。
- d 写真は口腔水分計(ムーカス®)である。舌背粘膜の湿潤度を測定する。

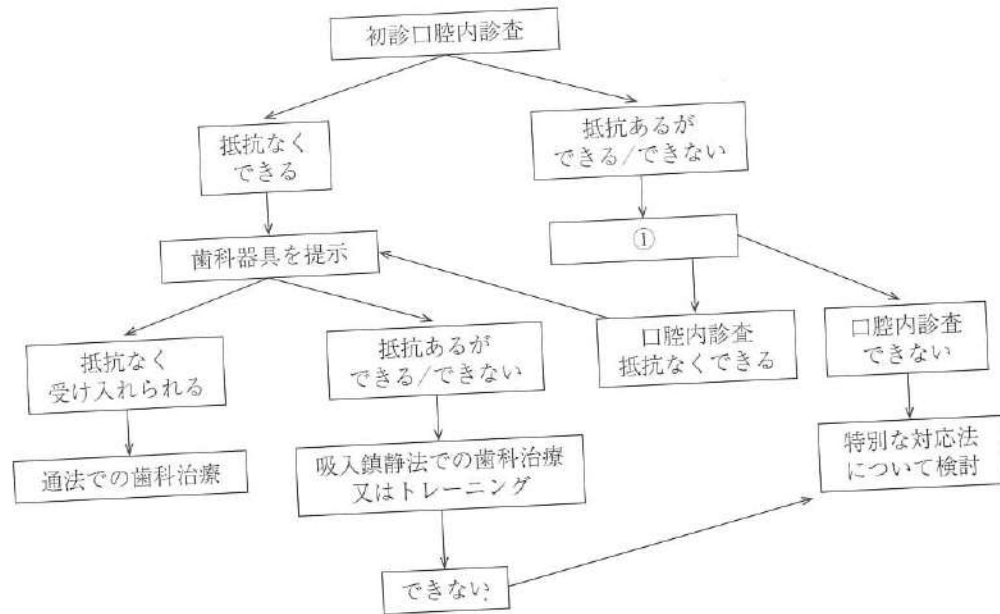
正解 d

DH 26:P554

No.33



〔問題 109〕 神経発達症患者の初診からの治療の流れの図を示す。



- ①に該当する注意点として正しいのはどれか。2つ選べ。
- a 治療時は刺激が少ない環境に配慮する。
 - b できなかったことを中心に指摘し反省を促す。
 - c 恐怖心や不安を軽減するために、段階的に治療内容を進める。
 - d 予告なく治療の内容を変更し、柔軟な対応力を身につけさせる。

▶ 歯科診療補助

選択肢考察

- ①に該当するのはトレーニングである。
- a 気が散るものは排除し、光・音などの感覚過敏を考慮した対応が必要である。
 - × b 正の強化をし、できた行動を評価し、成功体験を積ませる。
 - c 治療への順応を段階的に進め、安心感と協力が得られやすくする。
 - × d 見通しのなさは不安や混乱を招くので、計画や準備は入念に行う。

正解 a, c

DH 26:P 889

〔問題 110〕 摂食嚥下障害が疑われる患者のスクリーニングテスト中の写真(別冊午後 No.34)を別に示す。

行われているスクリーニングテストで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 喘息患者に行える。
- b クエン酸を使用する。
- c 不顕性誤嚥のスクリーニングテストである。
- d 1分間で4回咳が生じれば陰性と診断する。

▶ 歯科診療補助

No.34



行われているスクリーニングテストは咳テストである。

- × a 咳テストは咳を誘発する検査であるため喘息患者には行うことができない。
- b 咳誘発物質であるクエン酸を生理食塩水で溶解した溶液をネブライザーを用いて口から吸入させる。
- c 咳テストは不顕性誤嚥のハイリスク患者をスクリーニングする目的で用いられている。
- × d 1分間で5回咳が生じれば陰性(正常)と判断し、吸入を中止する。4回以下の場合を陽性(不顕性誤嚥の疑い)と判断する。

正解 b, c

歯科衛生士国家試験 全国総合模擬試験

352



日本医歯薬研修協会

<https://www.ishiyaku-k.com>

東京校

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 8-1-15 サンライズビル

TEL 03-5358-9211

FAX 03-5358-9212

名古屋校

〒453-0014

愛知県名古屋市市中村区則武 1-1-7

NEWNO 名古屋駅西 2F

TEL 052-526-1489

FAX 052-526-1490

大阪校

〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田 1-3-1

大阪駅前第1ビル 9F

TEL 06-4797-3516

FAX 06-4797-3517

東京校



名古屋校



大阪校

